

NTR REVENGE

ネトリベンジ

revenge

03
ROUND

原作

マサイ
STORY MASAI

漫画

奇仙
MANGA KISEN





もくじ

CONTENTS

第14話

chapter NO.

ウワサ

003

PAGE

第15話

chapter NO.

服従の口火

019

PAGE

第16話

chapter NO.

全霊の奉仕

043

PAGE

第17話

chapter NO.

はじめての経験

063

PAGE

第18話

chapter NO.

凋落した女

079

PAGE

第19話

chapter NO.

ある昼休みに

099

PAGE

第20話

chapter NO.

俺のモノになれ

117

PAGE

第21話

chapter NO.

暗躍

133

PAGE

第22話

chapter NO.

NTR動画

151

PAGE

単行本特別収録

NTREVENGE エピソード“水野”大親友の「大」が示す人間関係の薄っぺらさについて

168

第14話

ウワサ









5 月 26 日

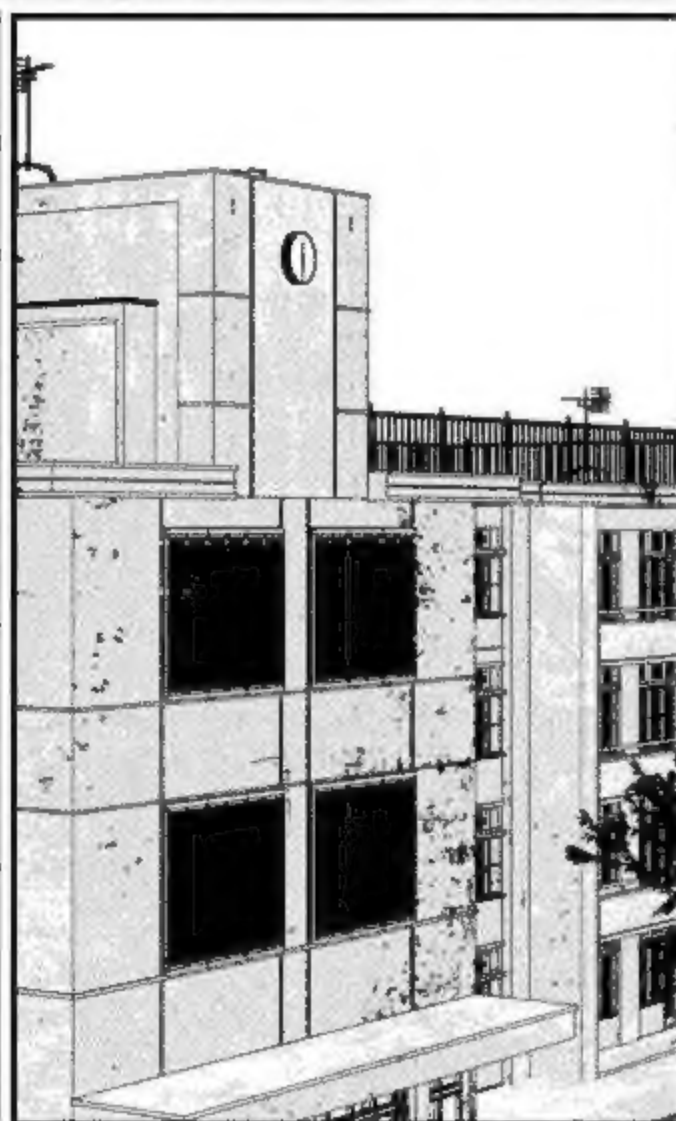
氏名	速水 梓
年齢	17
職業	
住居	

速水梓 17歳 事件の直前から学校を休んでいる。学校へは母親から連絡あり。引きこもっているとのこと。

速水梓 17歳 事件の直前から学校を休んでいる。学校へは母親から連絡あり。引きこもっているとのこと。

桜庭宗一とは隣家で幼少期から交友あり

...







それは俺もSNSで見た事がある

実は竹内が犯人でいじめの復讐として

211:名無しの轟さん:
水野と関戸はもう死んでる
てか○された

水野の
関戸と
水野と関戸を
ブツ殺して逃げてるに
違いないって投稿だ

に復讐したのがイジメられていた女子の竹内
犯人
ん:
竹内って失踪した一人の?

轟さん:
愚性皆無なんだが(笑)

結構
噂になってんだよ
それが一番あり得るって

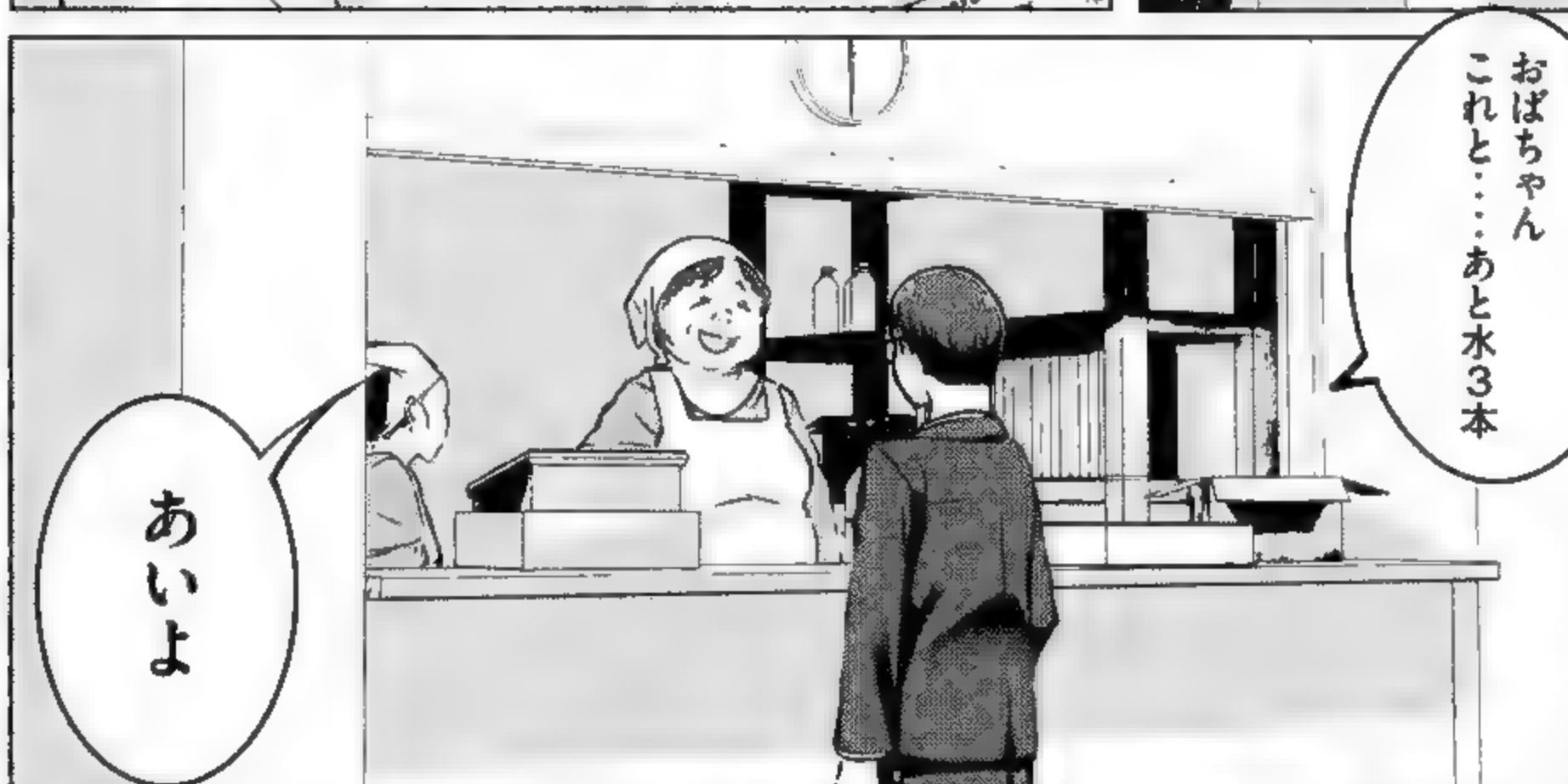
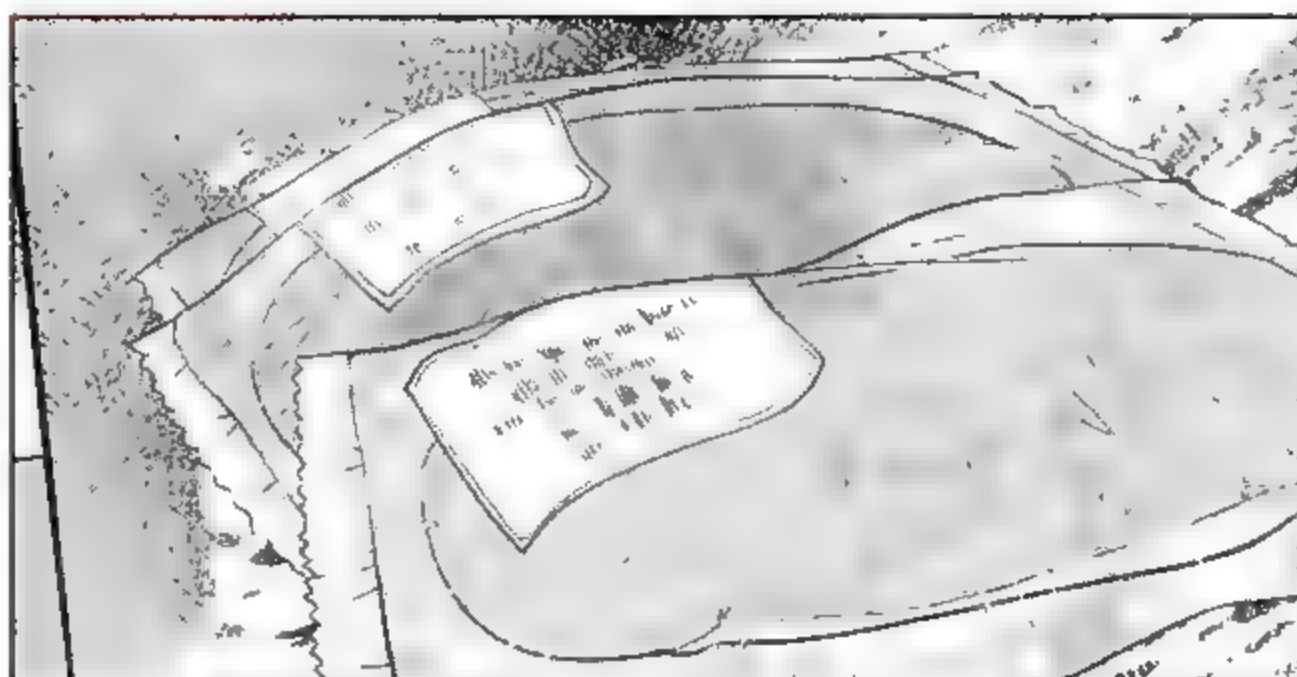
美玖ちゃんと陽菜の
関係が悪かったってのは
知ってる奴も多いしな

他人事みたいに言うなよ..
お前も当事者だろうが

……
利用してみるか

……だが:
それは面白い

攪乱ぐらい
にはなるな



あいよ

おばちゃん
これと...あと水3本



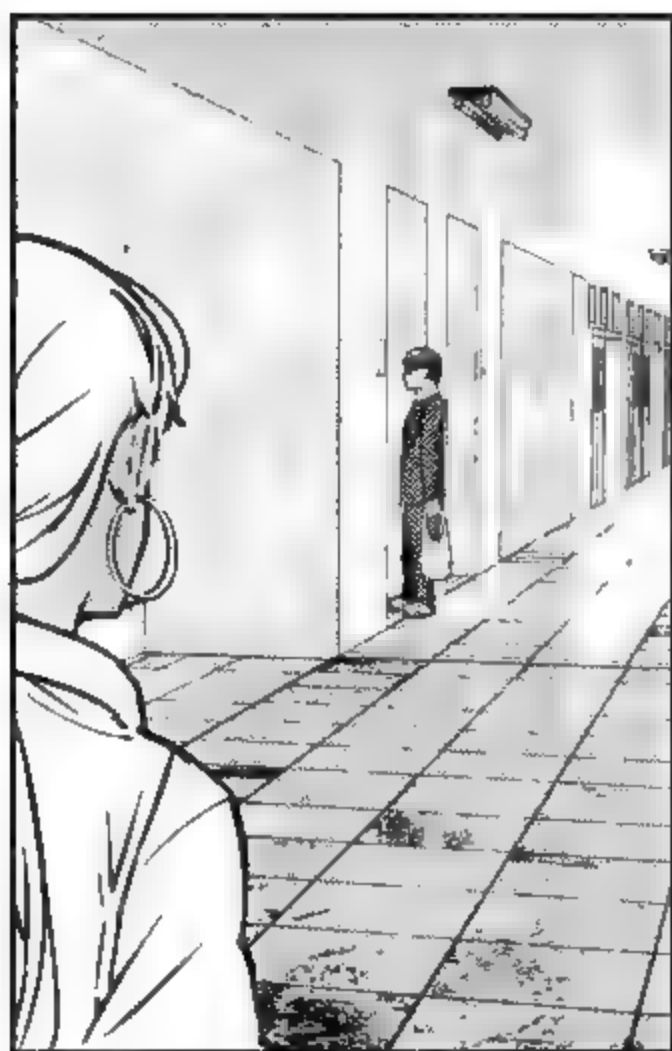
最近の若い子も
大変だねえ

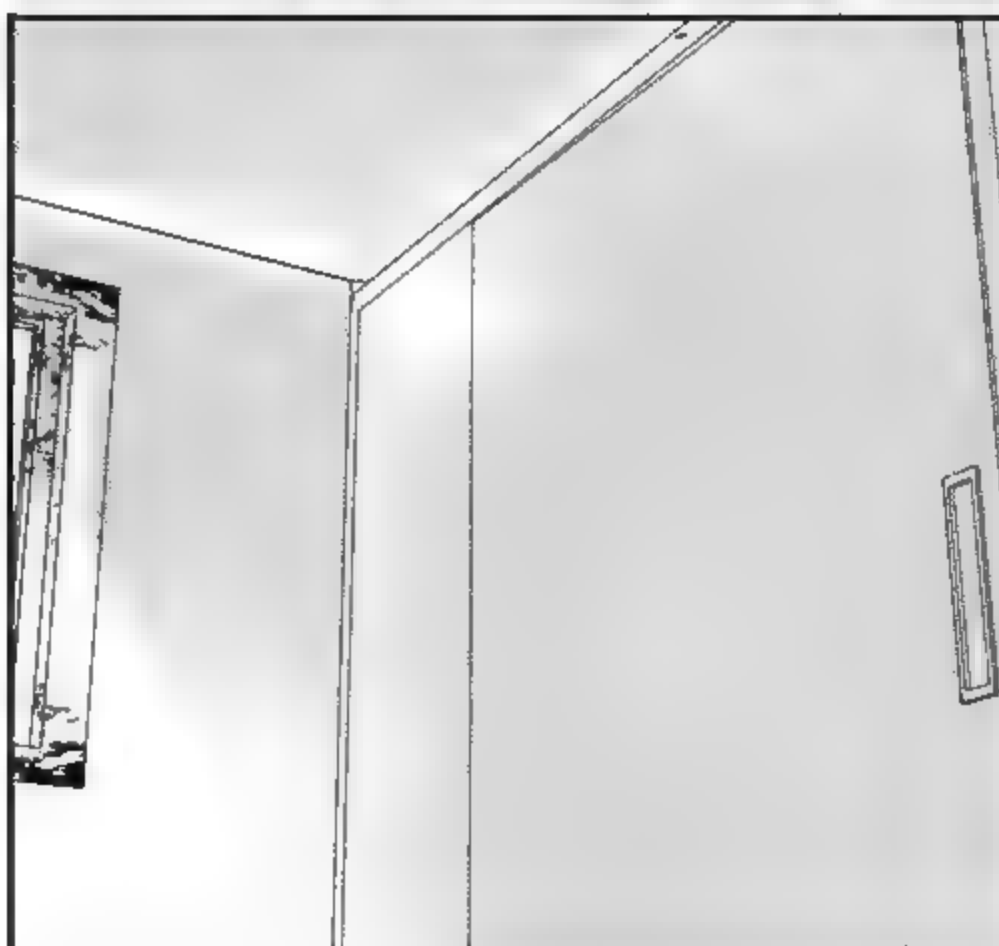
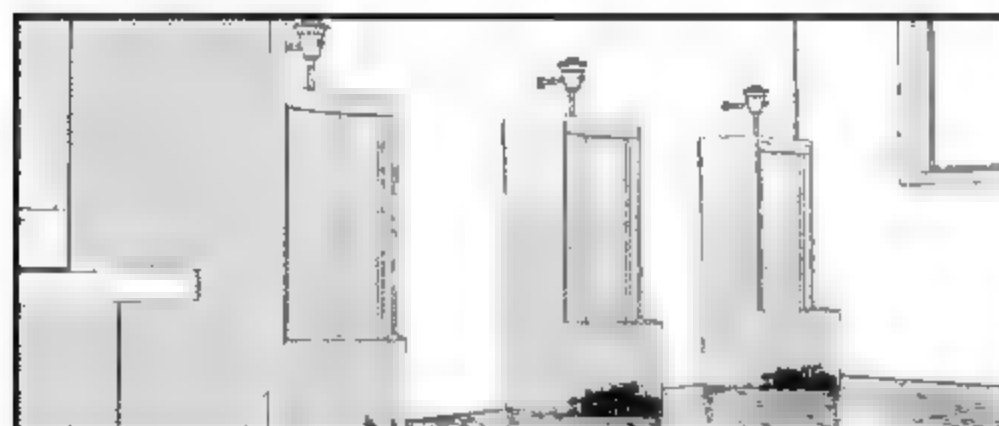
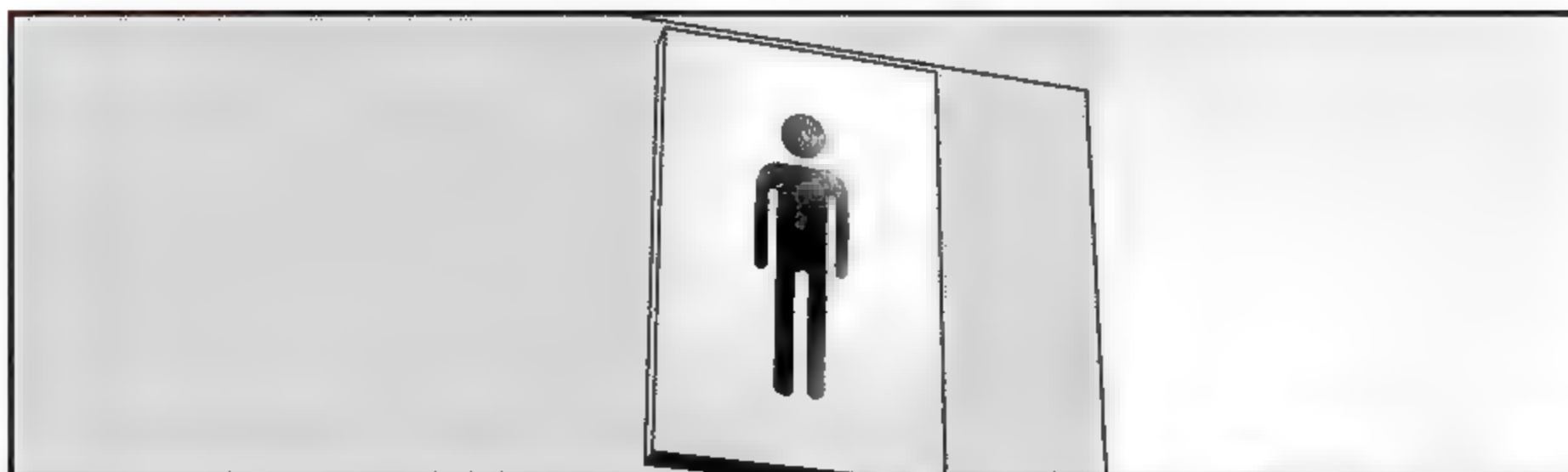
おばちゃん
これちよーだい！

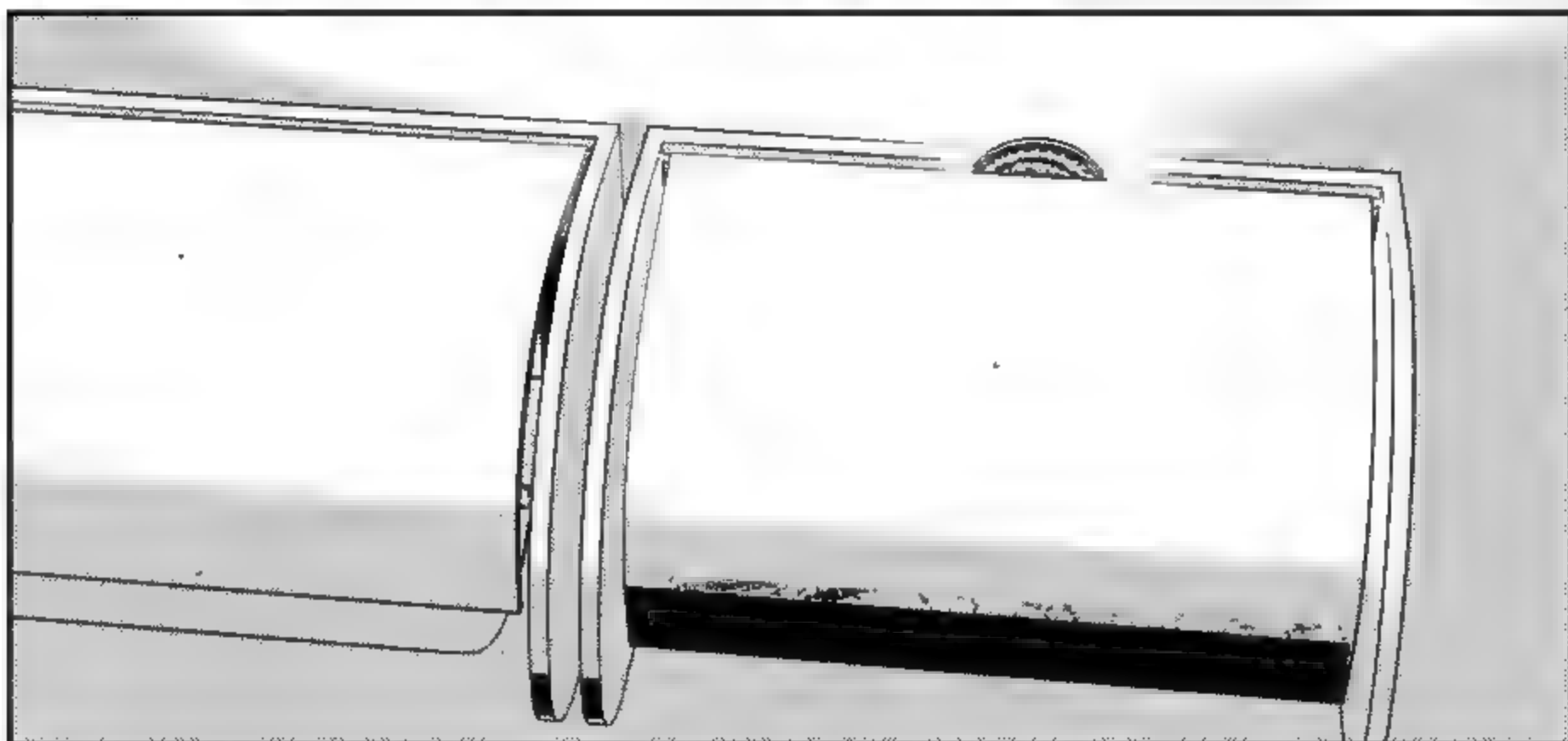


あの子ずいぶん
沢山^{たくさん}買ってくねえ

あれだよあれ...
パシリ^{パシリ}っての？
やんちやな子に
使われてんのよお

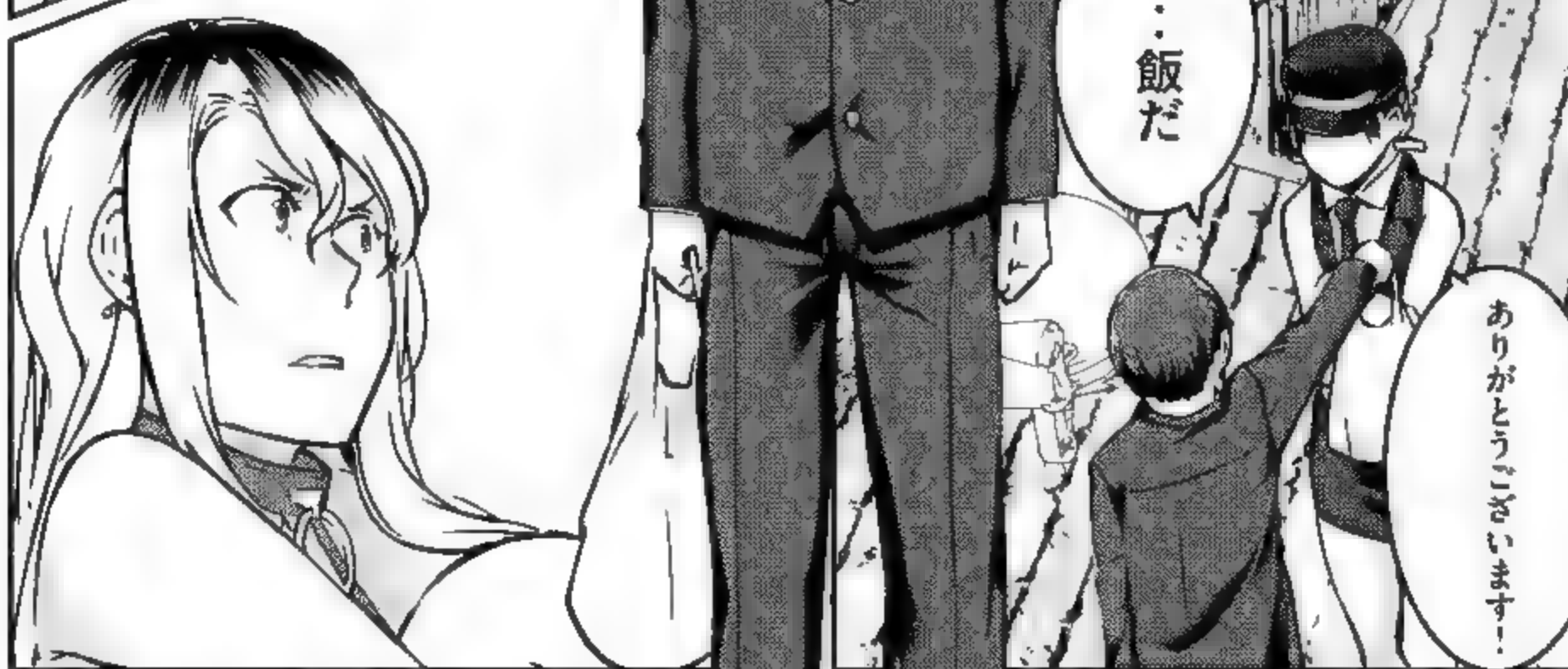








桜庭君
おかえりなさい！

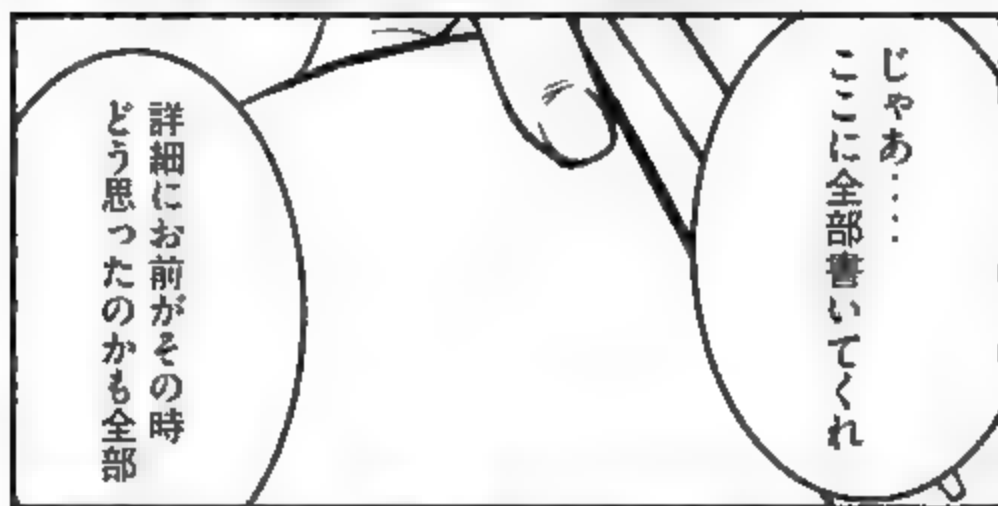


・・・
飯だ

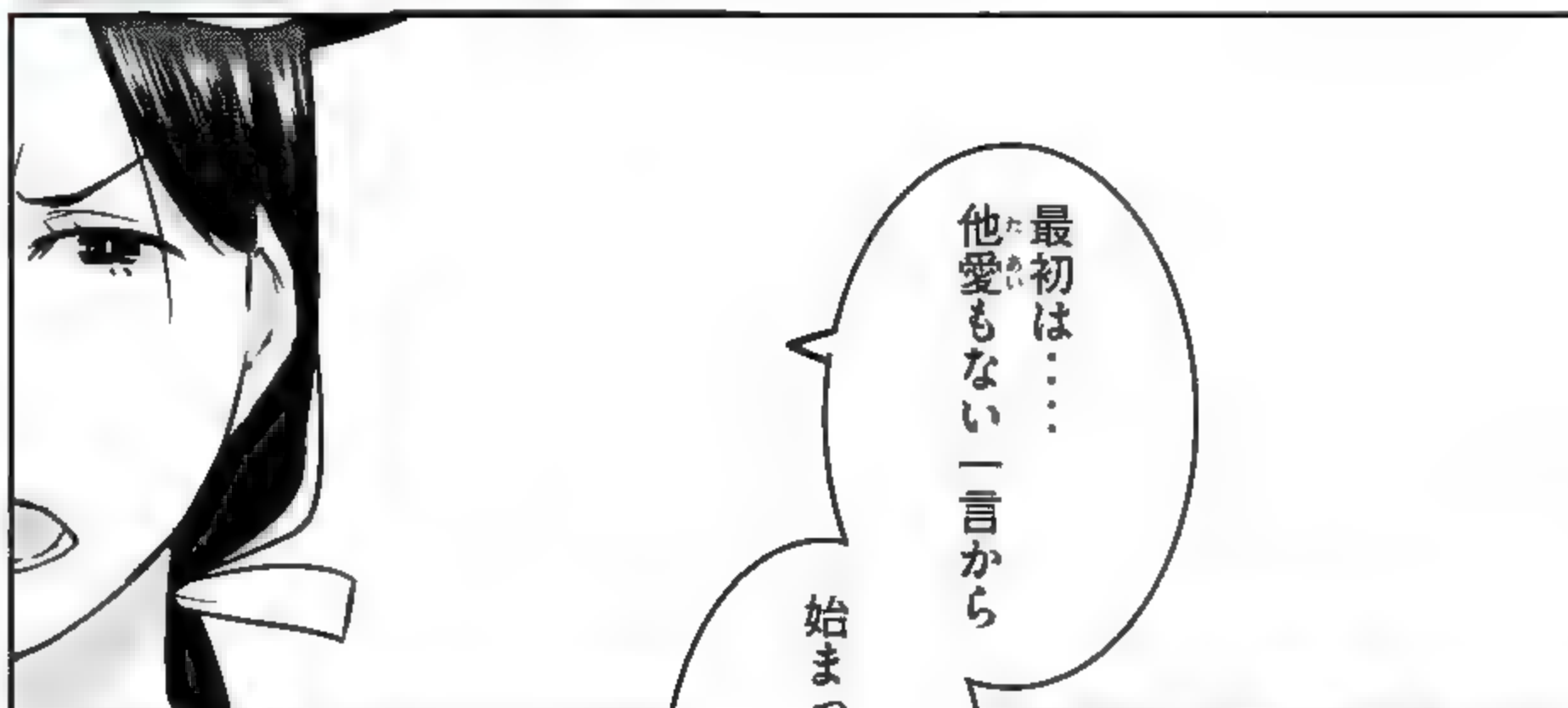
ありがとうございます！







第15話 服従の口火



最初は……
他愛もない一言から

始まったのよね……



絶対いけるって
美玖もフォトグラ
始めちゃいなよ！

えーでも……

美玖可愛いんだからさ
絶対人気出るって！

あはは……

そ・そうかな？

やっちやいなって
もしかしたら
水野さんより

人気出ちゃう
かもよ？

竹内さん

フォトグラ始めるの？



本当!
お願いしていいの?

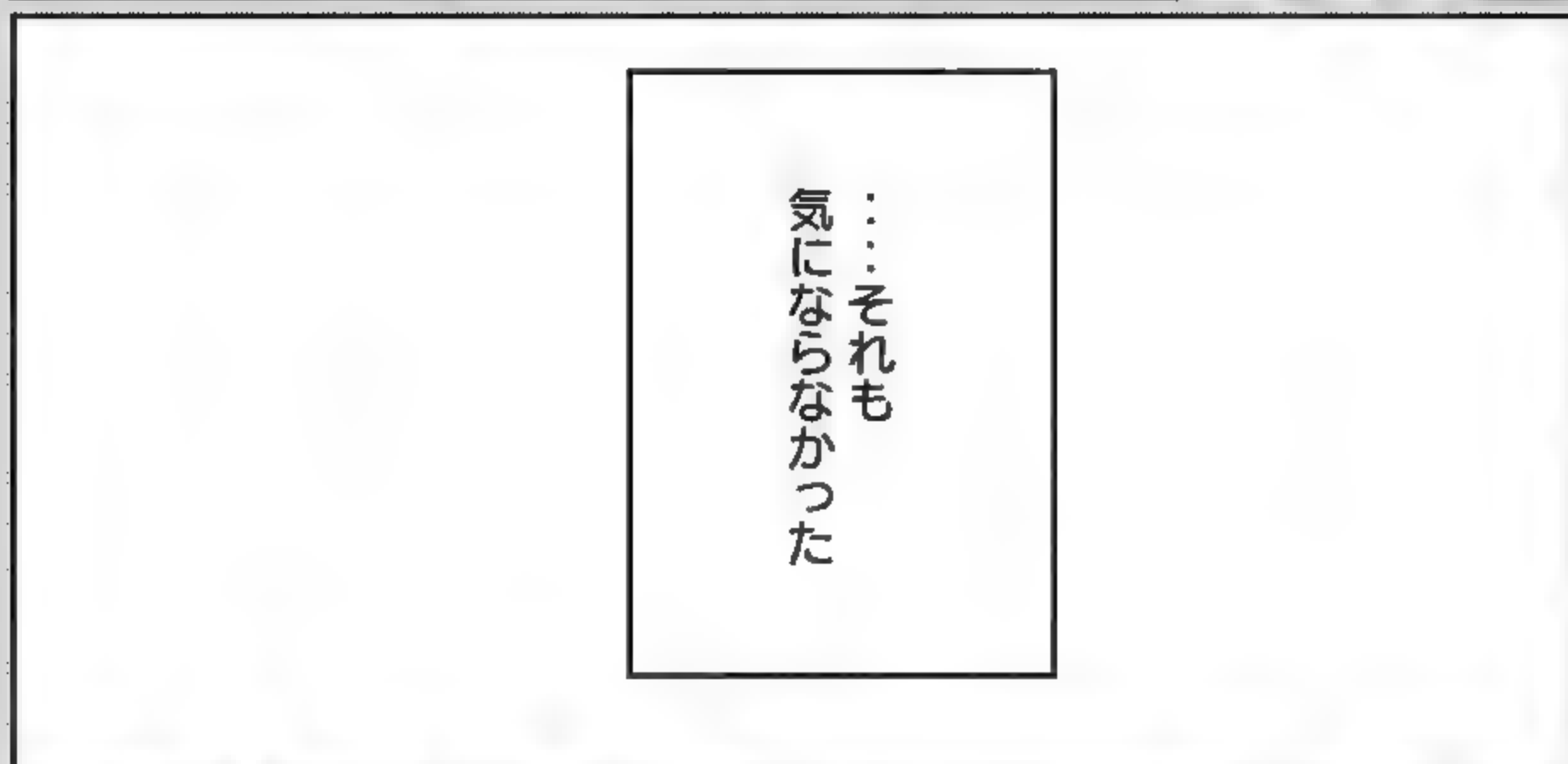
じゃあ

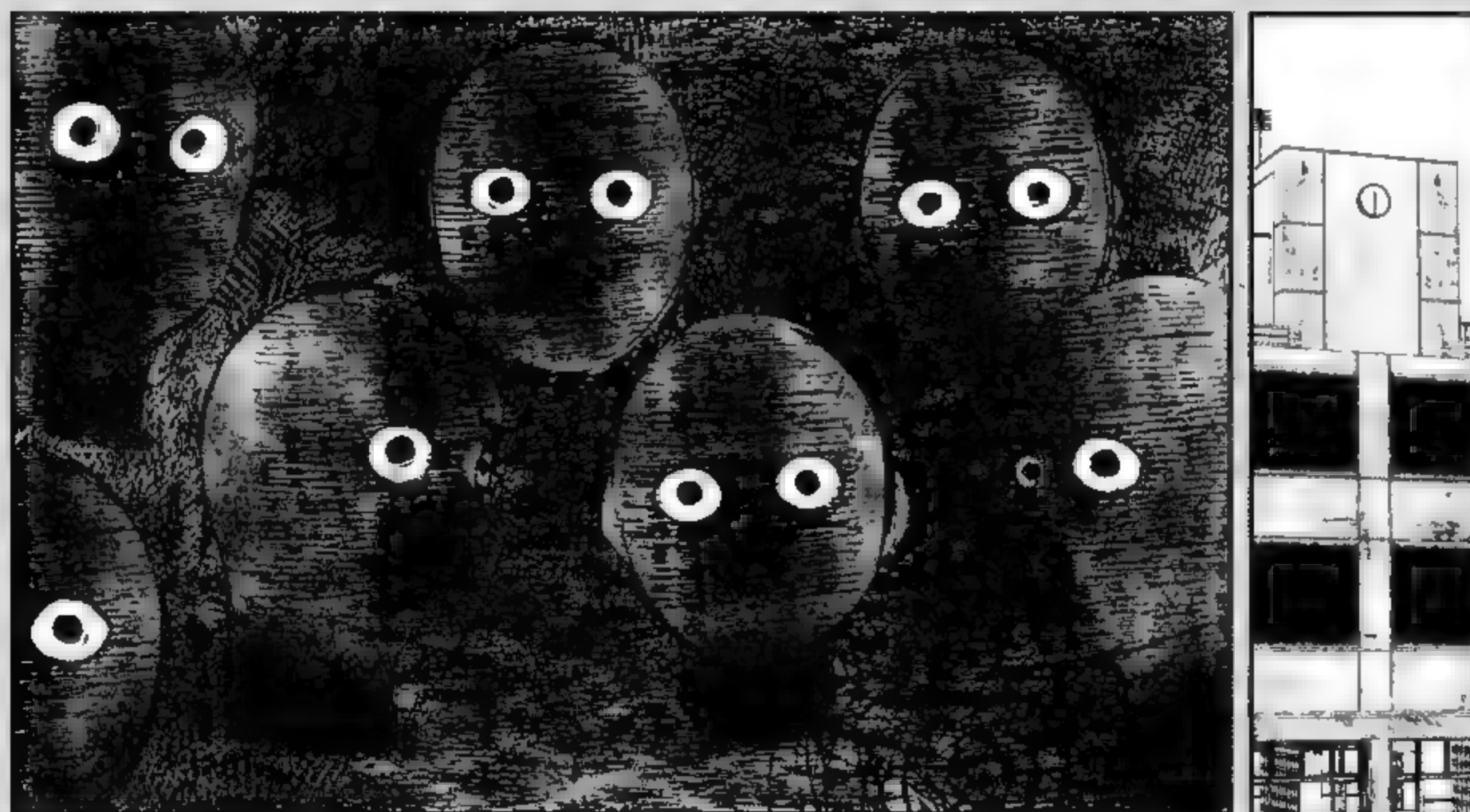
私でよければいろいろ
教えるけど?

...私は浮^うかれた

水野さんと
仲よくなれるかも

うん!
もちろん!!





美玖♡パパ募集@裏垢
#パパ募集 #P活



何…これ…？

パパ募集 大人3
DM・連絡ください♡
電話番号 XXX-XXXX-XXXX

乗っ取られた？

miku_t

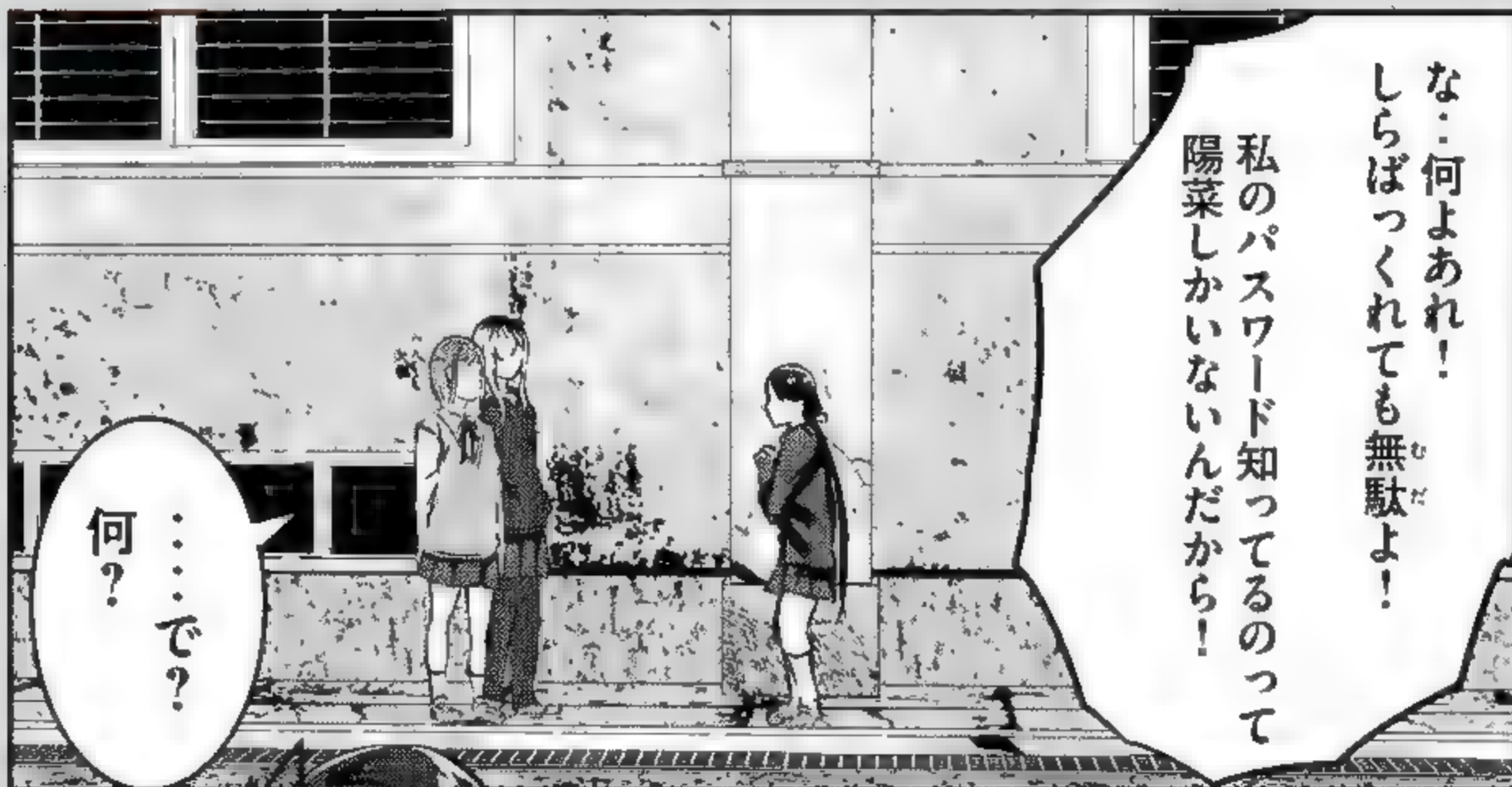
パスワードが間違ってます

ログイン出来ない！

陽菜



いやあああああ！

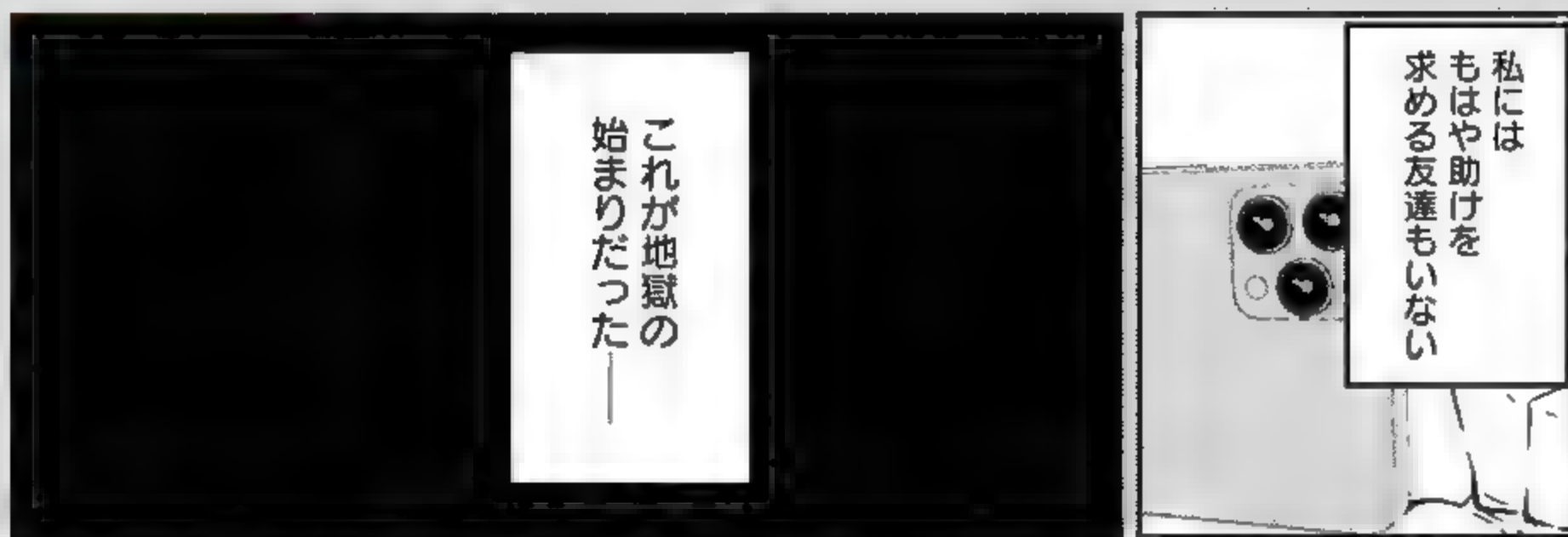


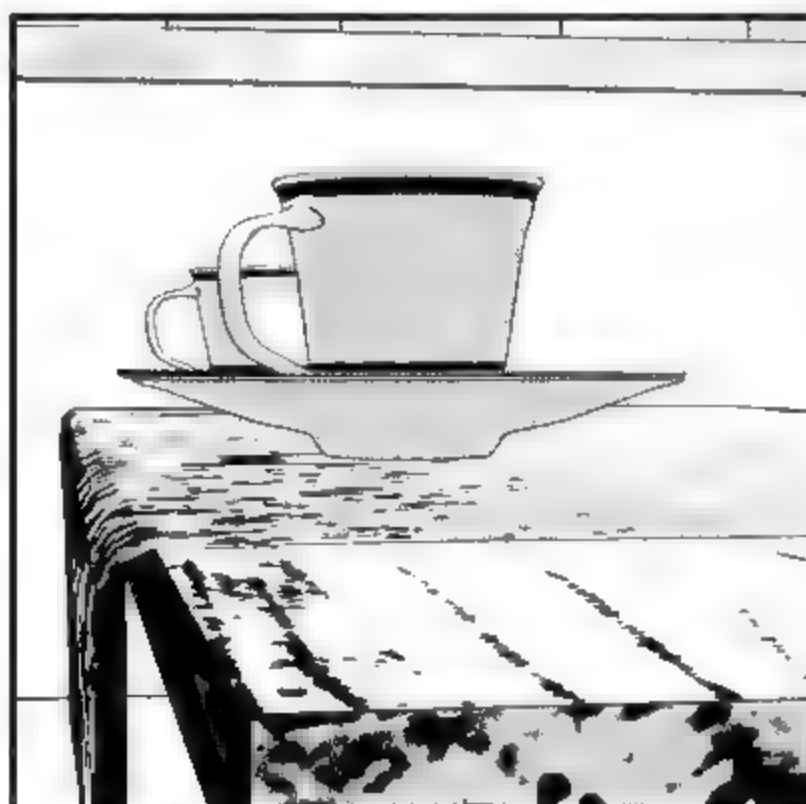
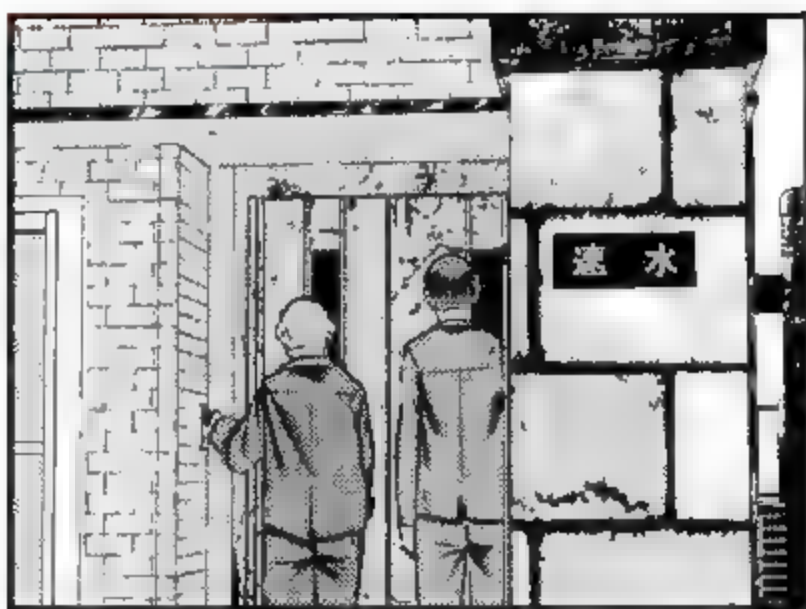


ムカつくから……
気持ちよくなったというので
どん底に落としてやるうと思ってたの！

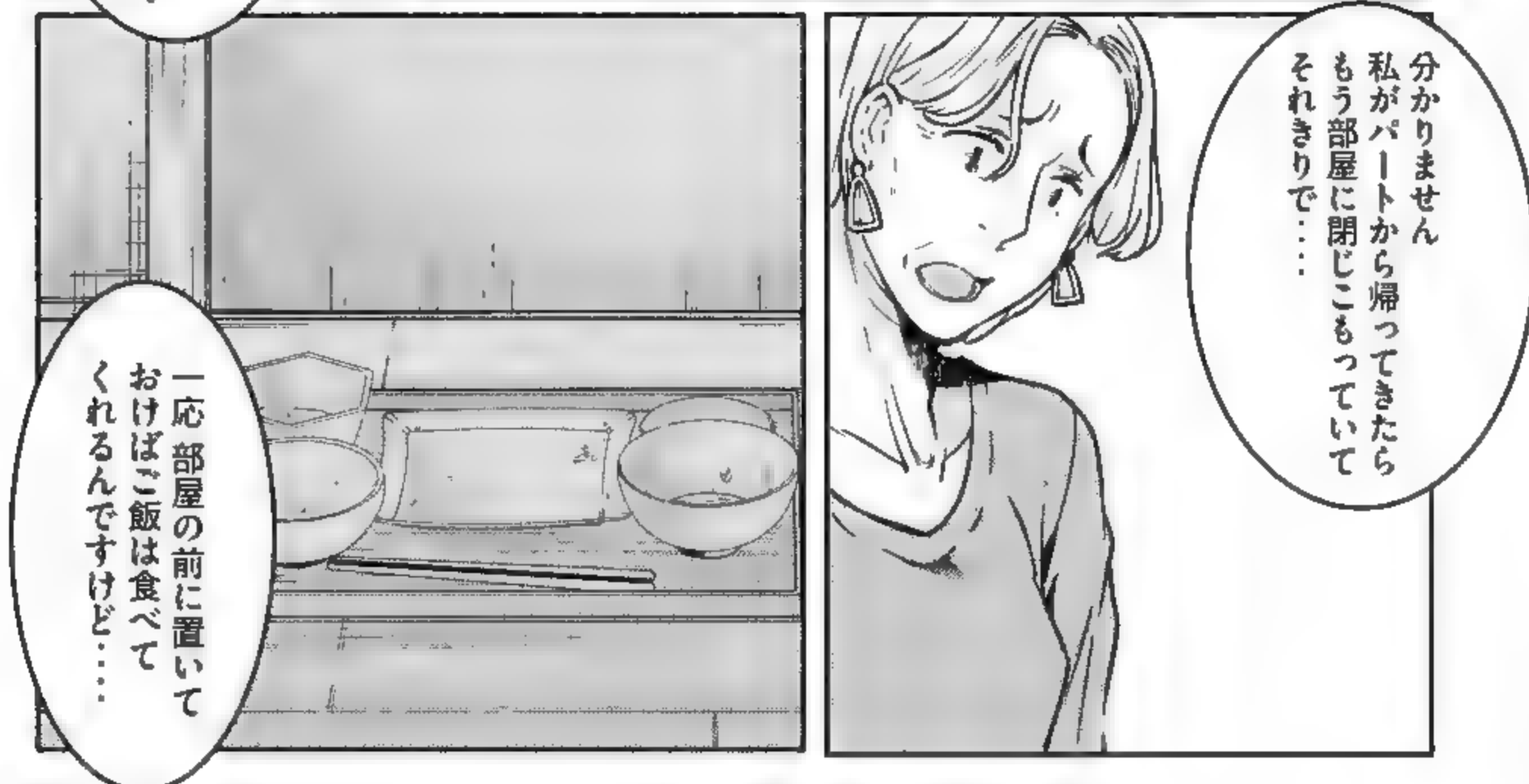


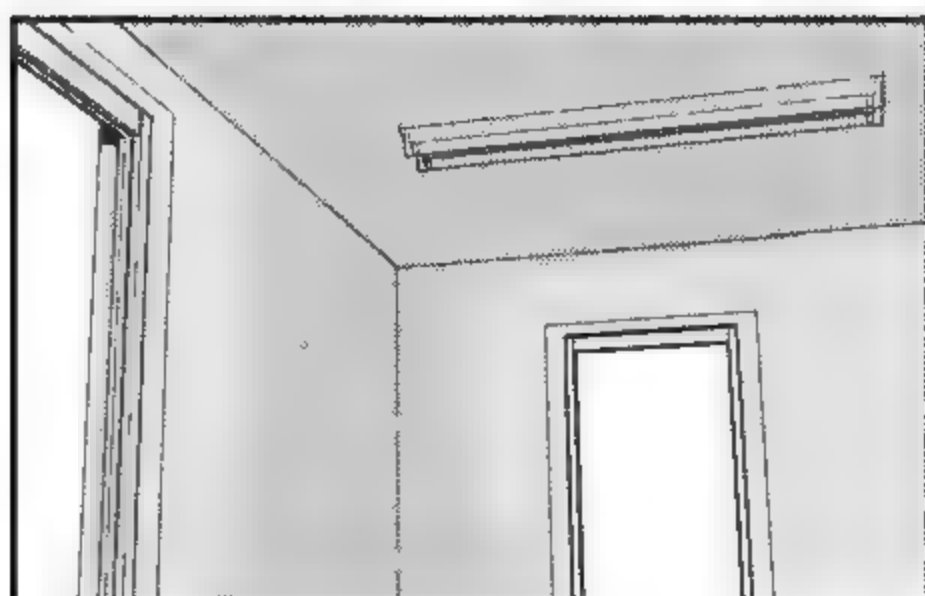
はい！
一丁あがりってね……
あはは！！

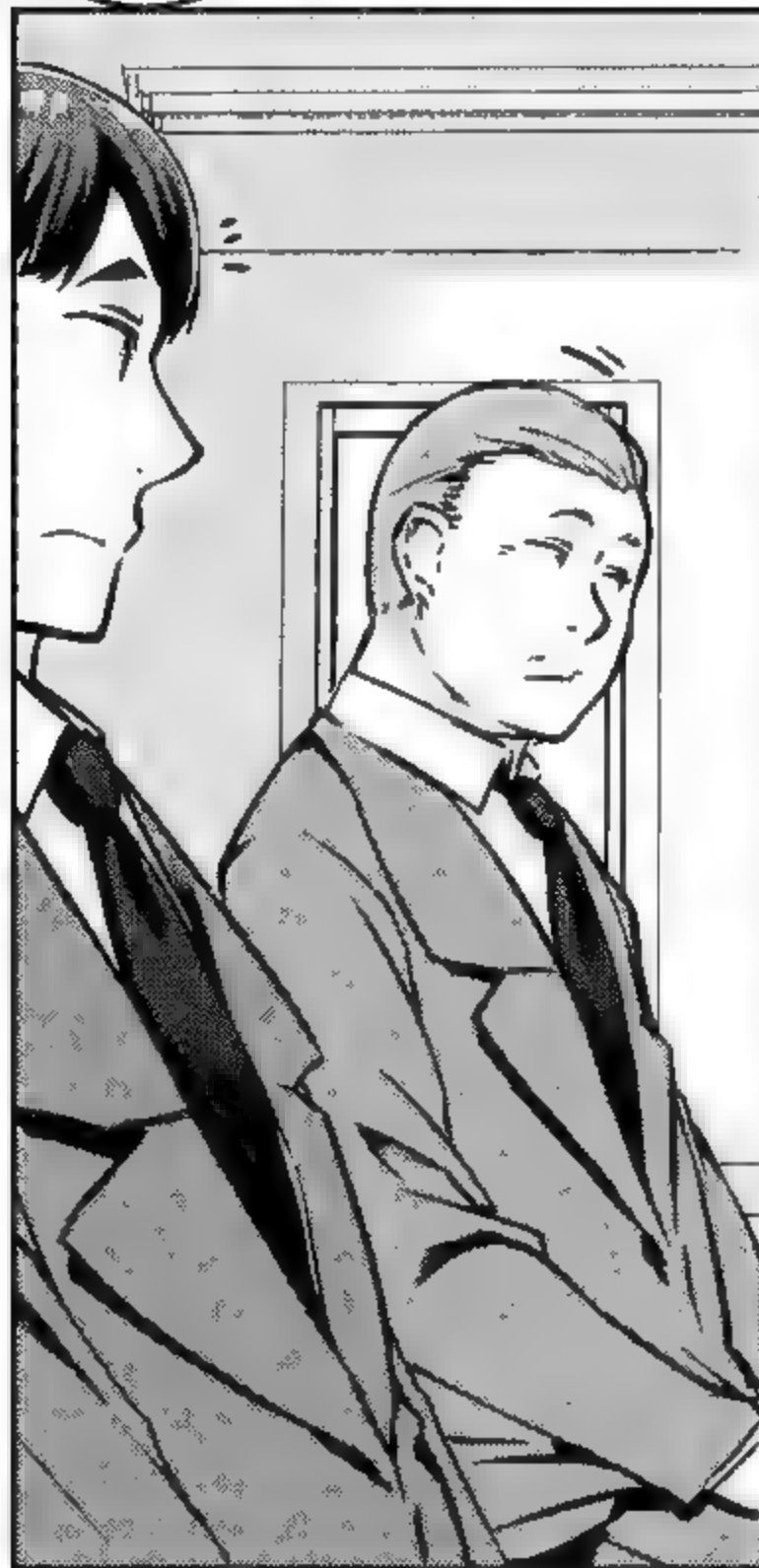






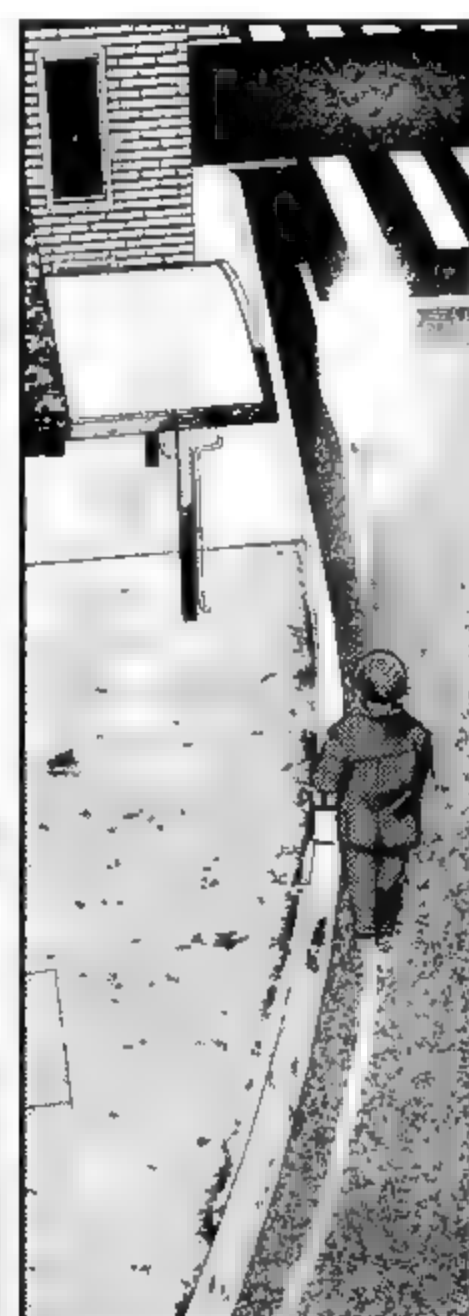
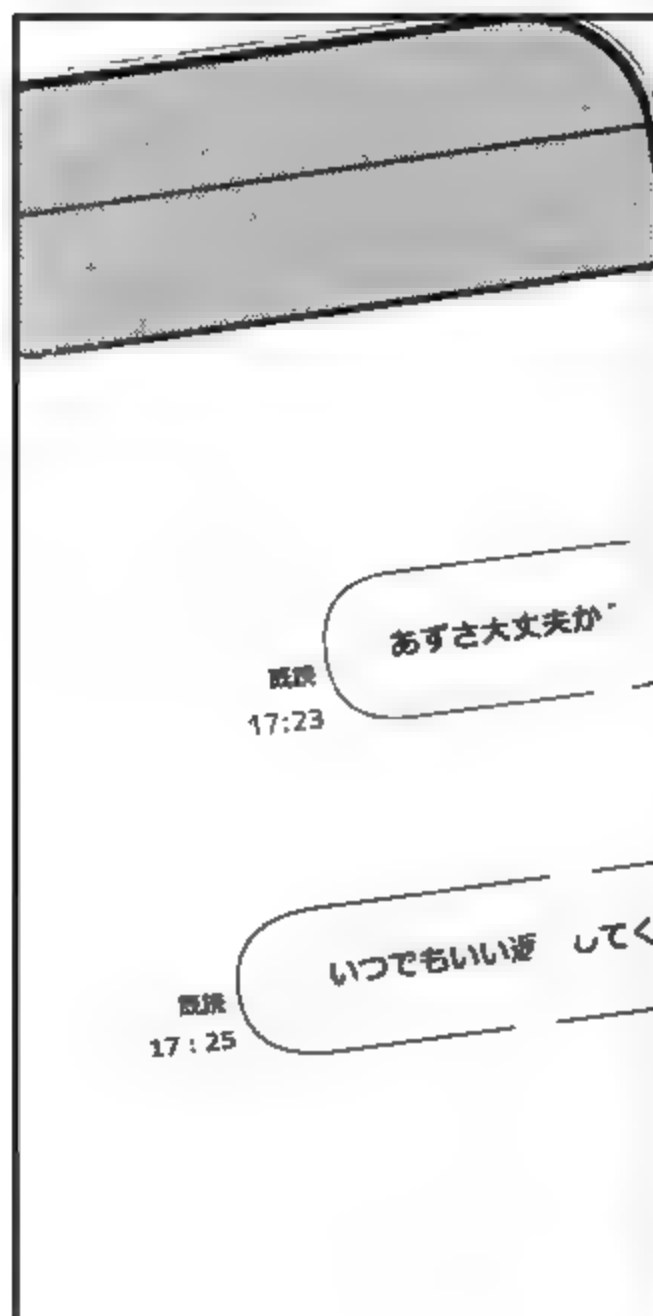
















梓さんのお母さん……
梓ちゃんが引きこもった原因

桜庭君が何か
知ってそうな事を
言ってたんだけど？

……確実に俺を
怪しんでる

なんだよ……あの刑事

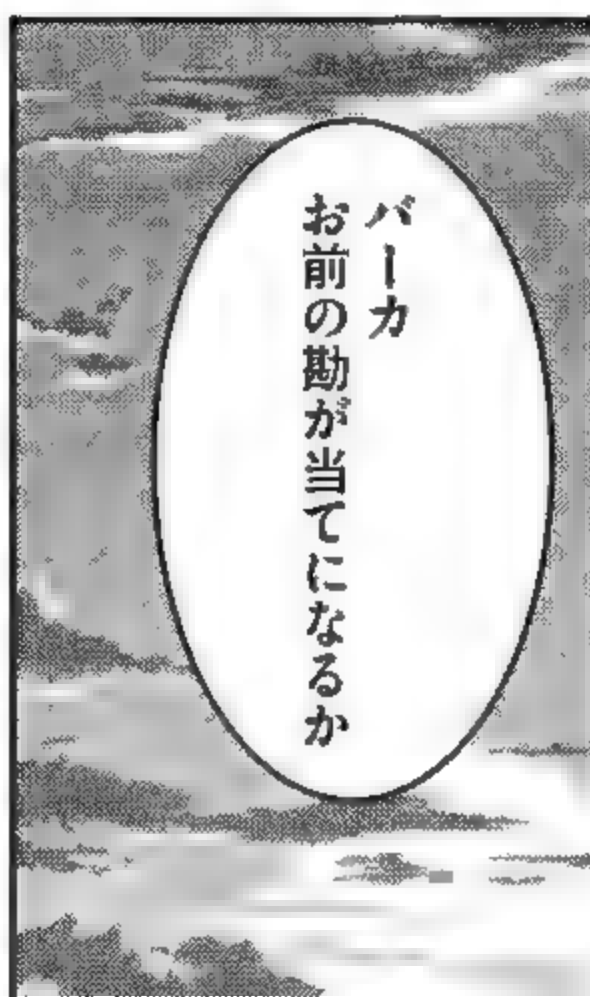
し……知りませんよ！
じゃあ僕はこれで！

早く手を
打たないと……

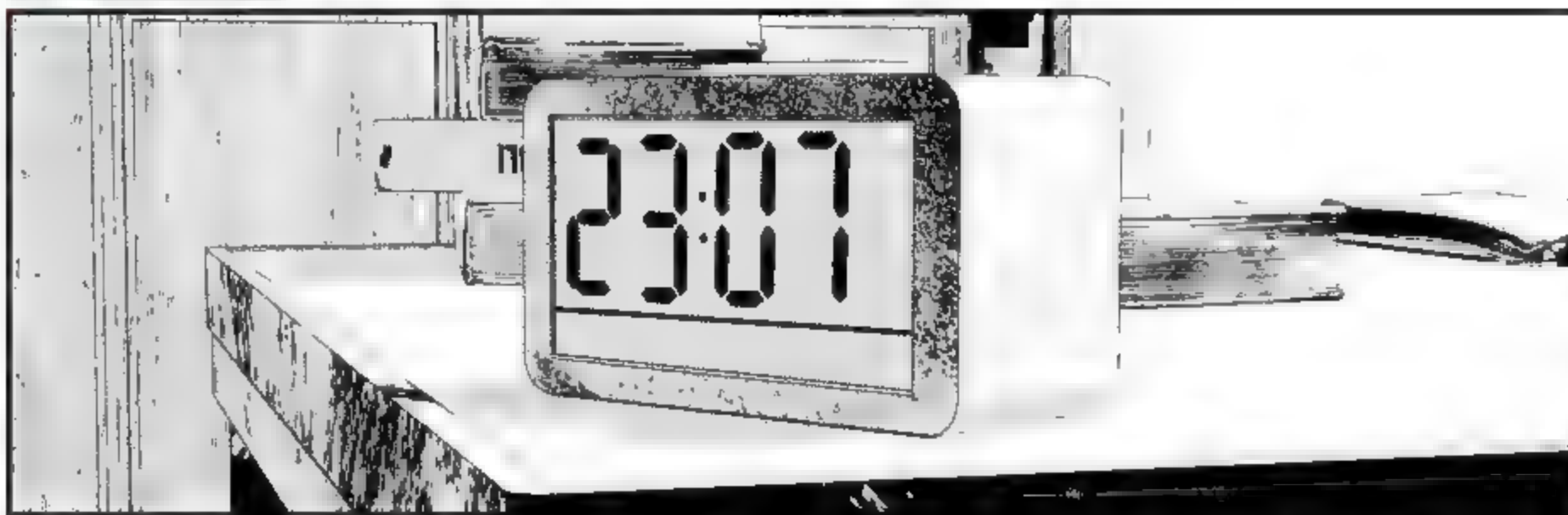
うーん……あの慌てっぷり
先輩の勘も馬鹿に出来ないっスね
彼……なんか知ってるっぽいつス

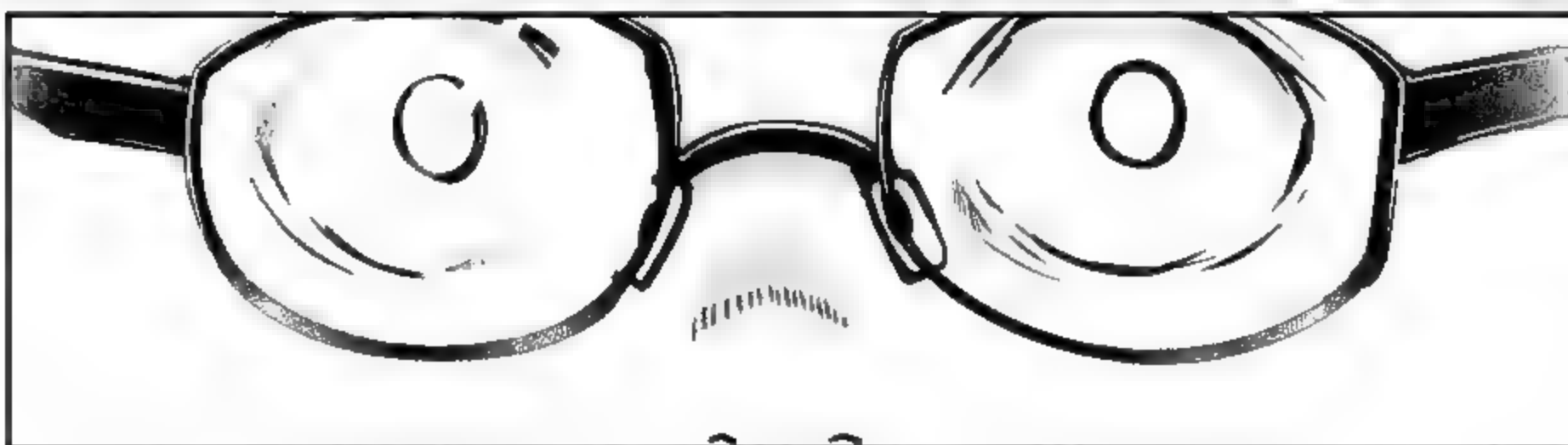
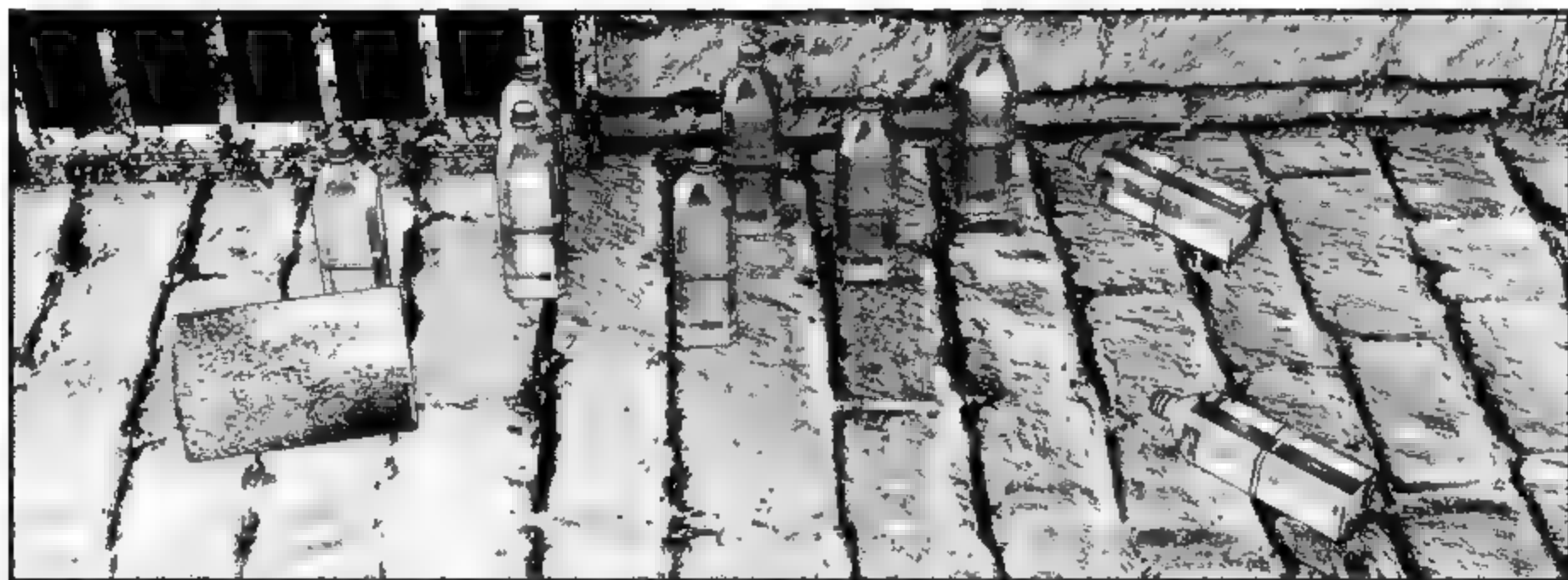
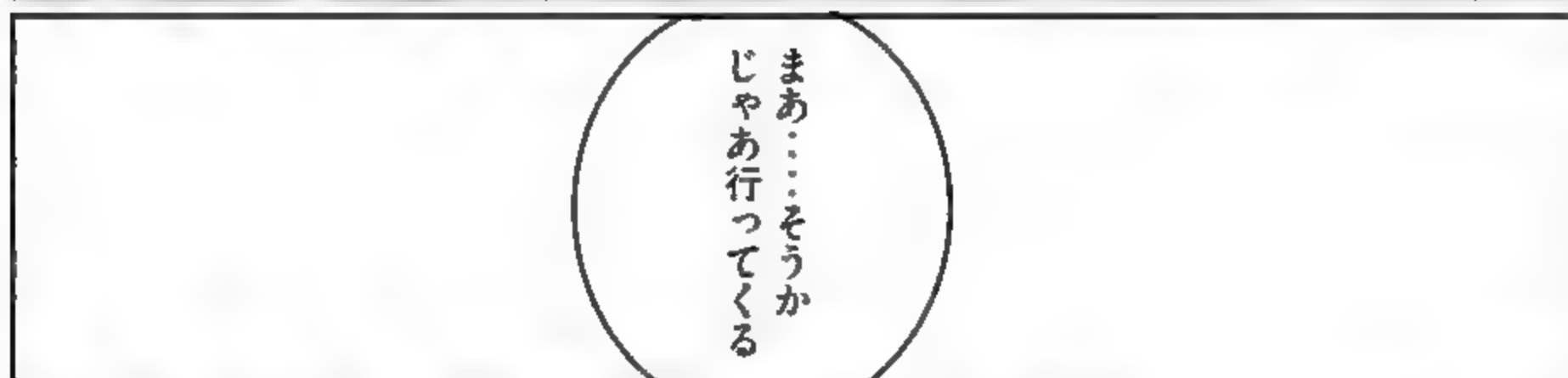
やり過ぎだ……馬鹿





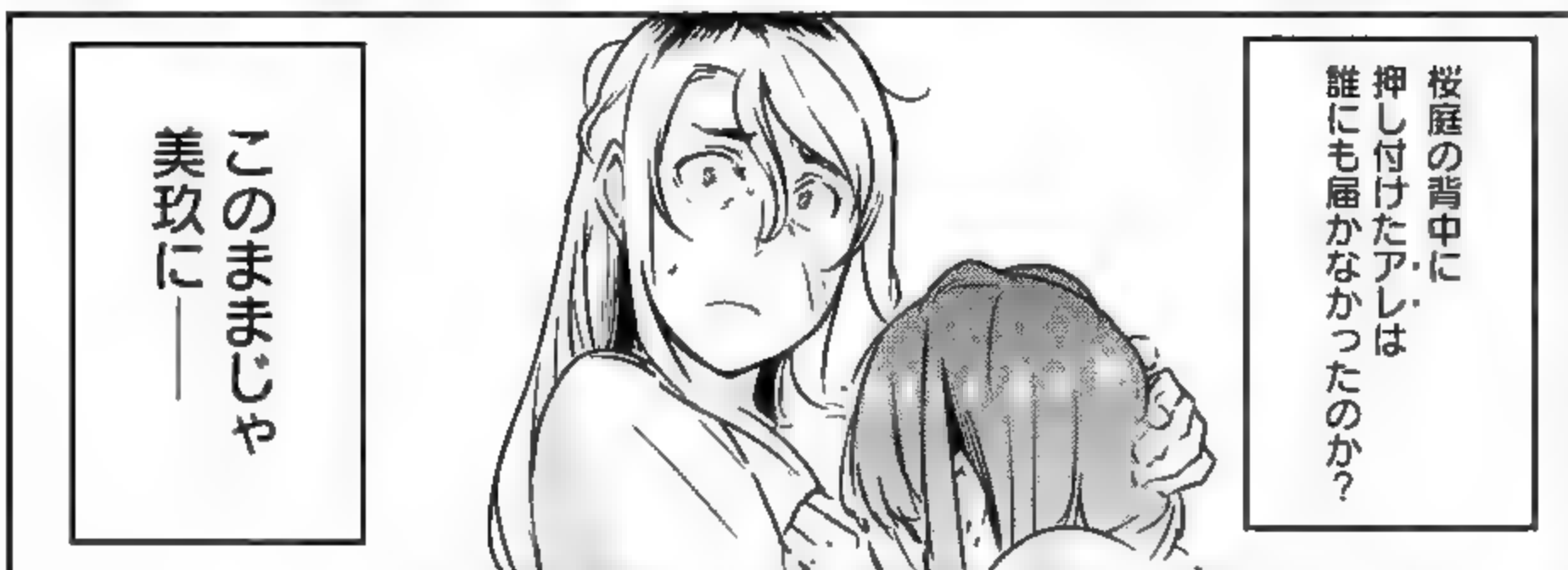
第16話 全霊の奉仕













もう…手段なんて
選んでられない

あいつに……

桜庭に取り入るしか

あ……



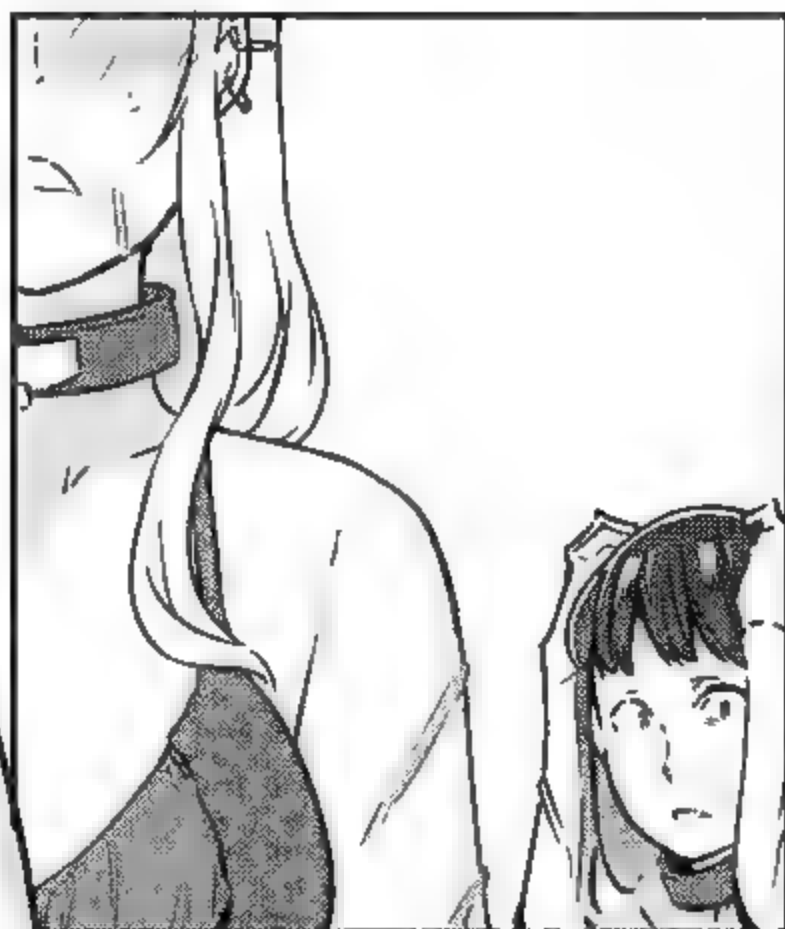
あたしも……

あ……



見ててね……

桜庭君……





桜庭君が入ってくる…
あああああ！

ヤバイ…
竹内さんの中

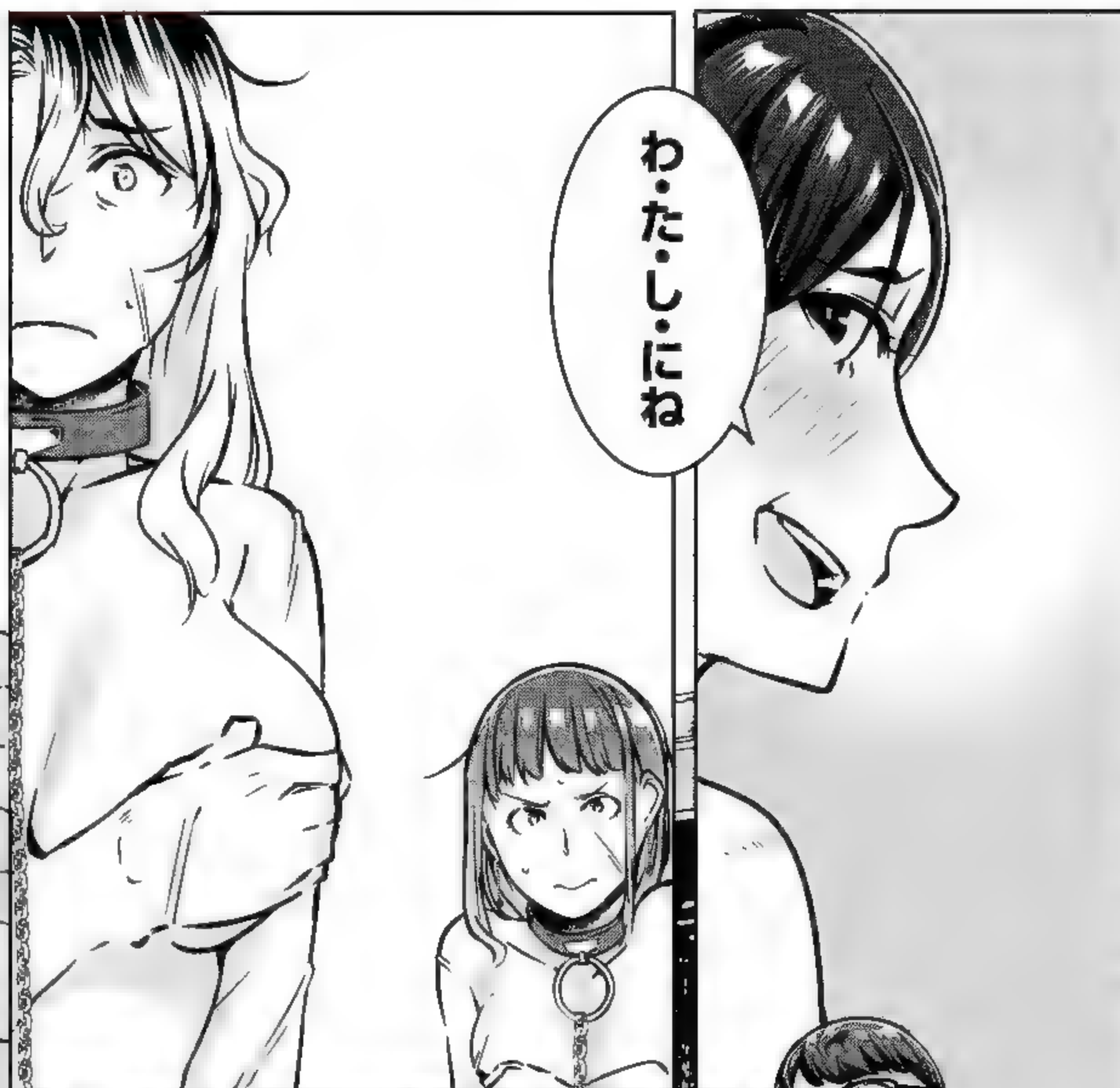
はあはあ…全部入ったよ

あつたかくてうおいて
締め付けてくる…！！

……ああ







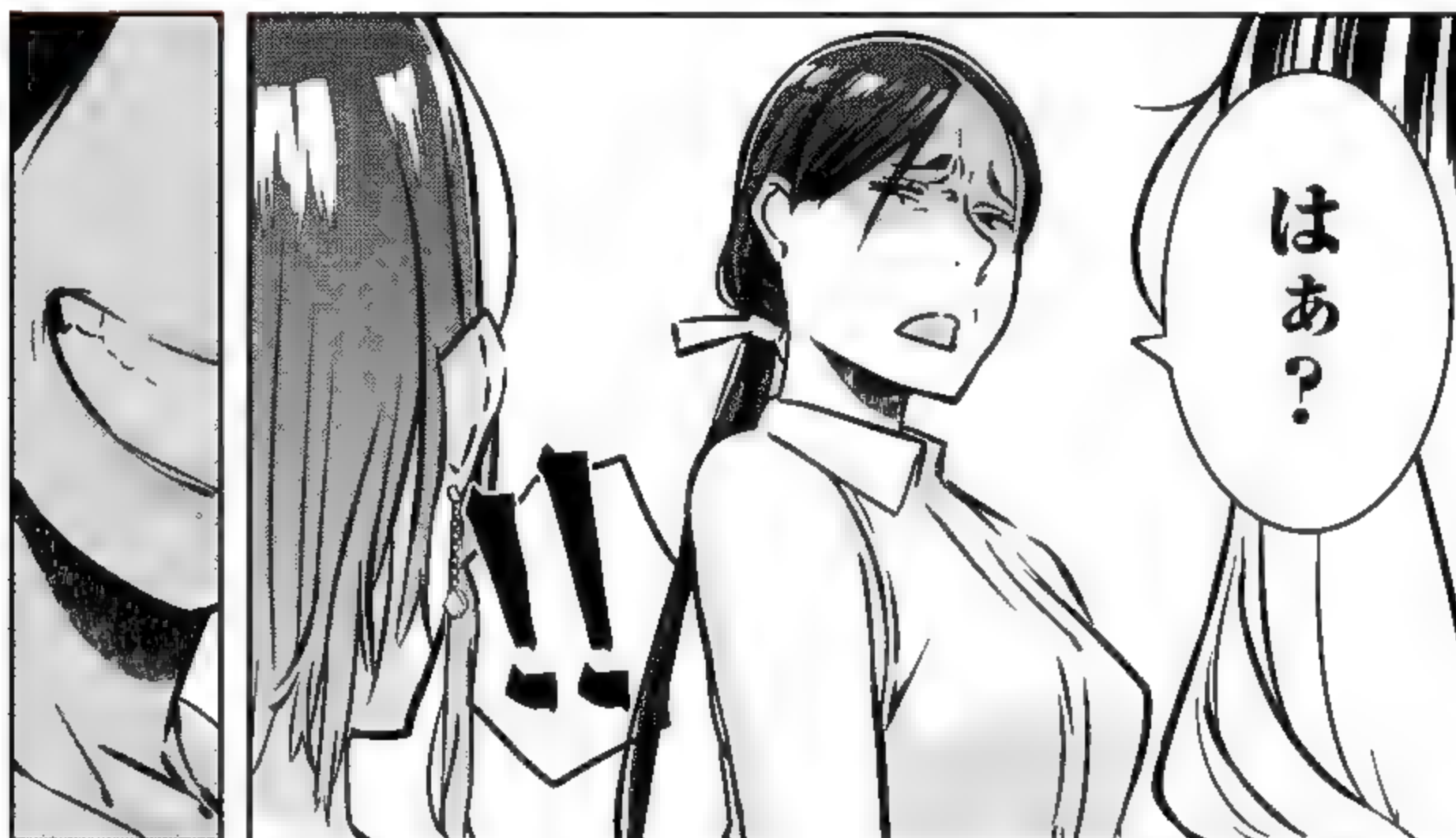
わ・た・し・に・ね

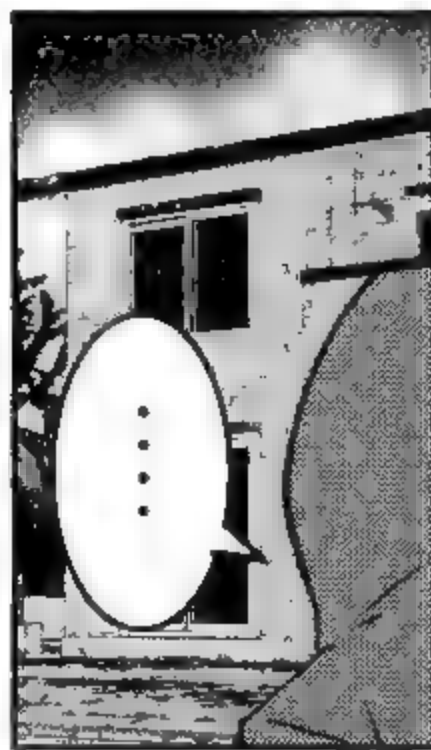
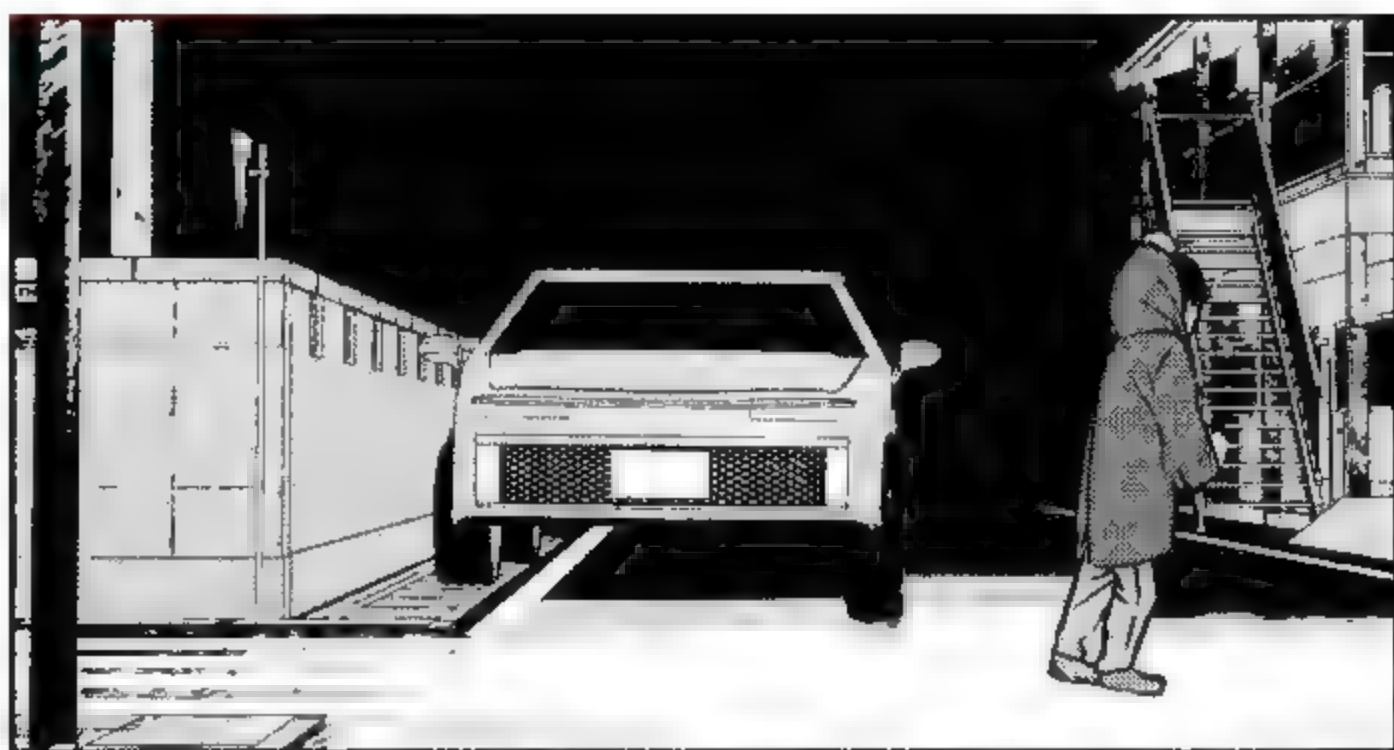


お前には……
何かご褒美を
やらないとな

んっ……
綺麗にするね



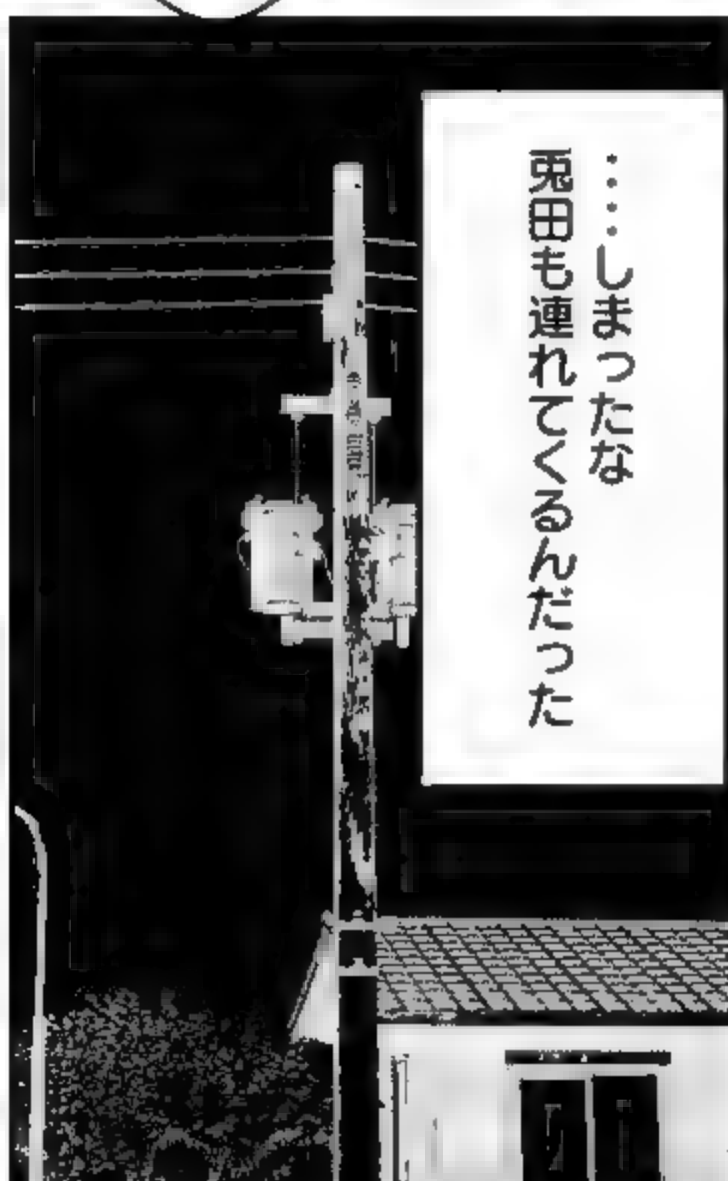
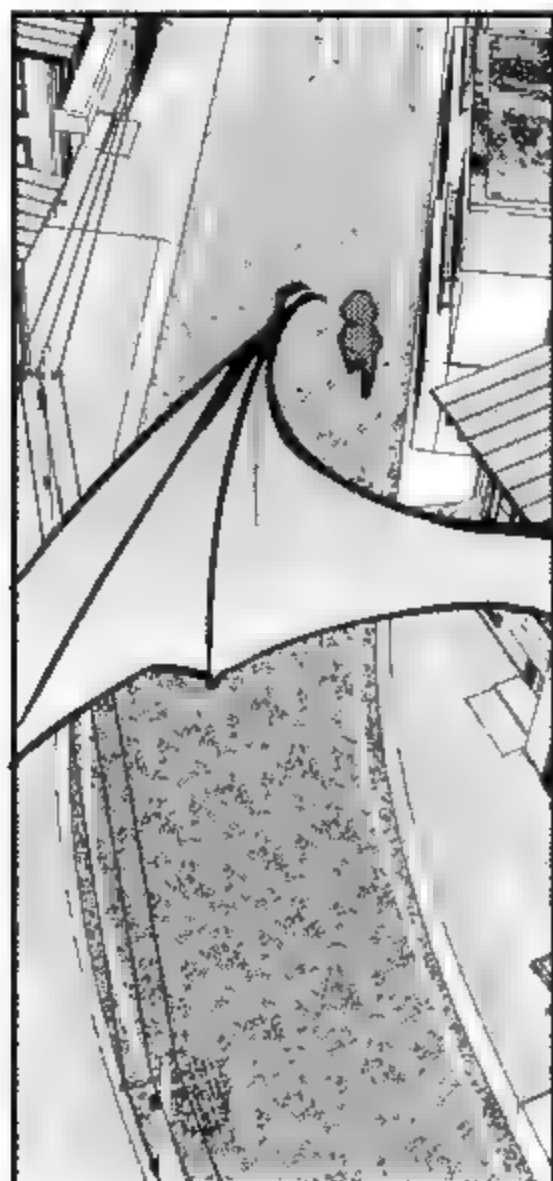




追うか？
いや……校庭と彼女がグルで
俺をこの場から引き剥がそうと
している可能性もある

引きこもってるって娘か？
こんな時間になんか？

あれは……



……しまったな
兎田も連れてくるんだった





千秋が
モタモタしてるから…

あん？
何がだよ！

もっと早く桜庭に
取り入ってくれてればさ…
逃げるチャンス出来たのに

美玖じゃ逃げれても
警察呼んだりしてくんない
かもしれないじゃん

お前？ お前って何？
私は彼氏がいるんだってば

人のせいにすんなっての
お前がやればよかっただろ

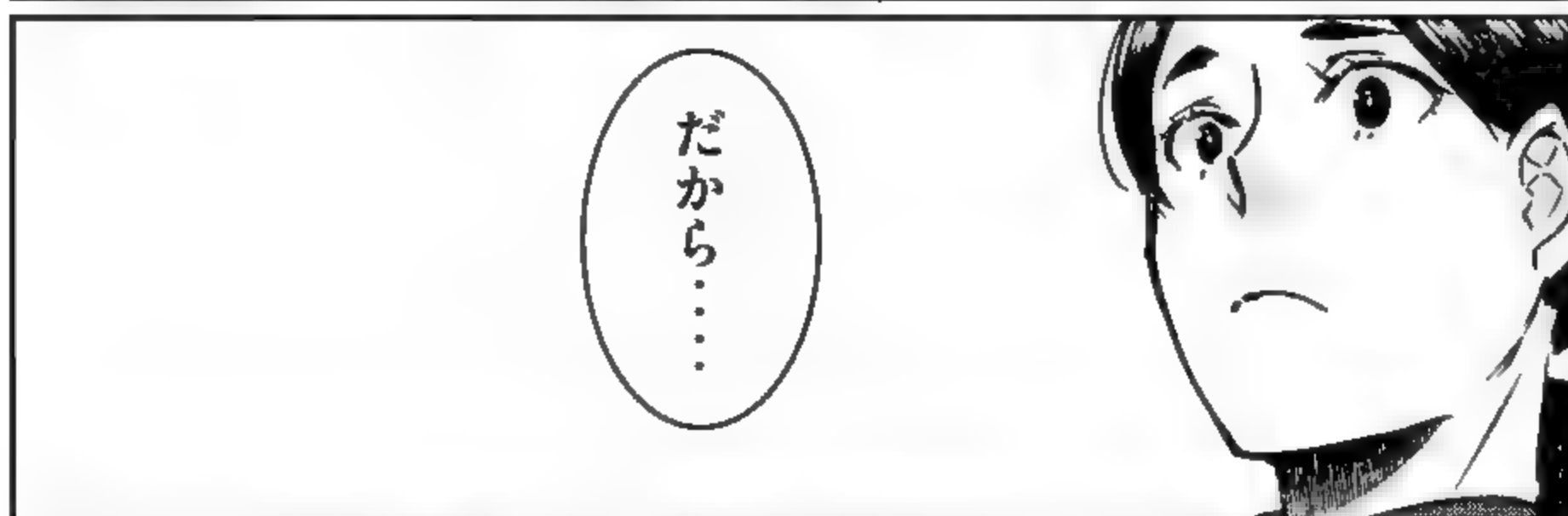
ああ？

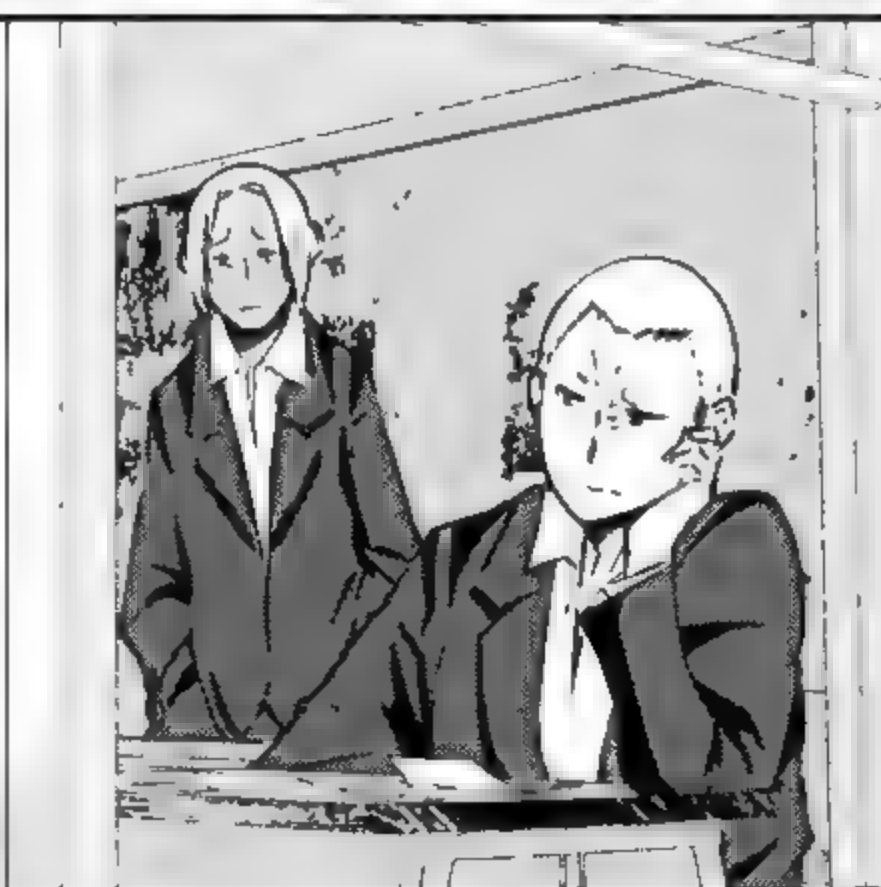


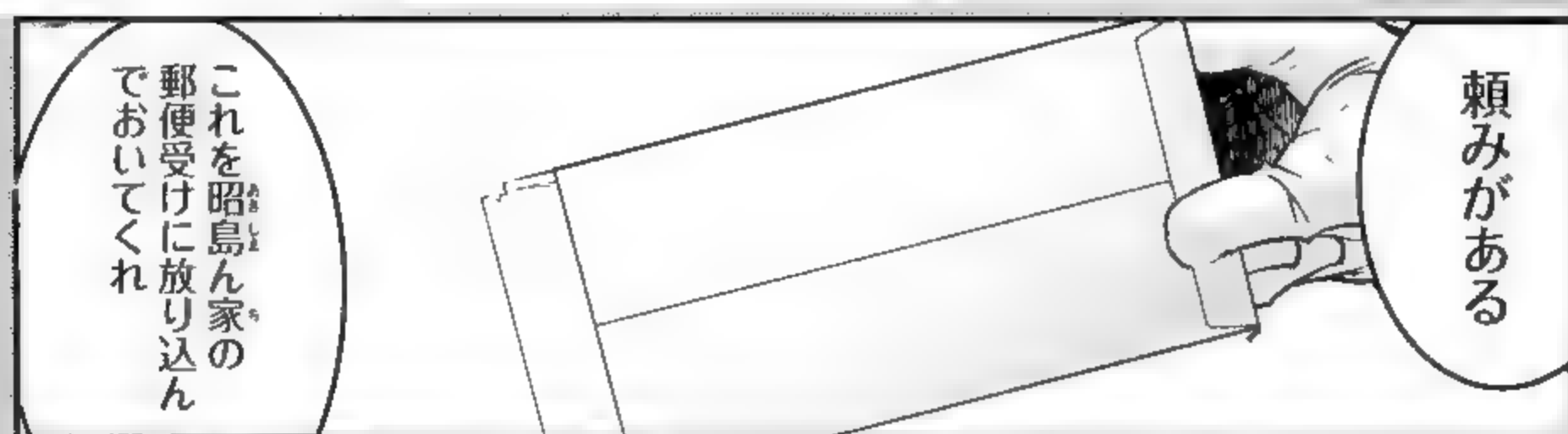
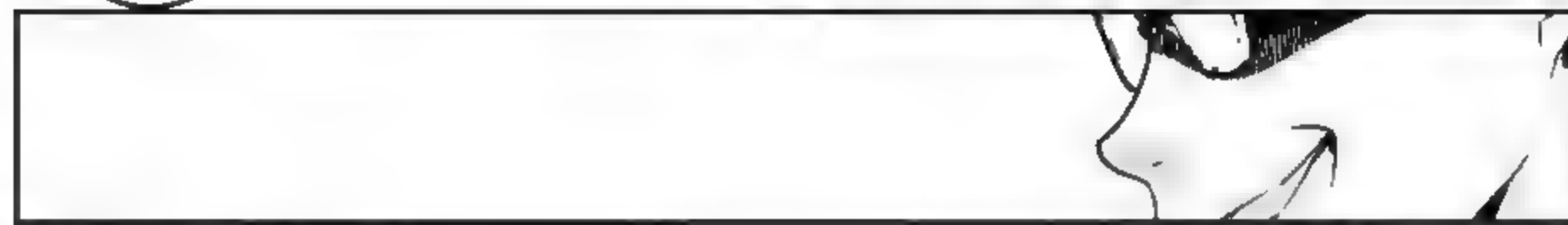
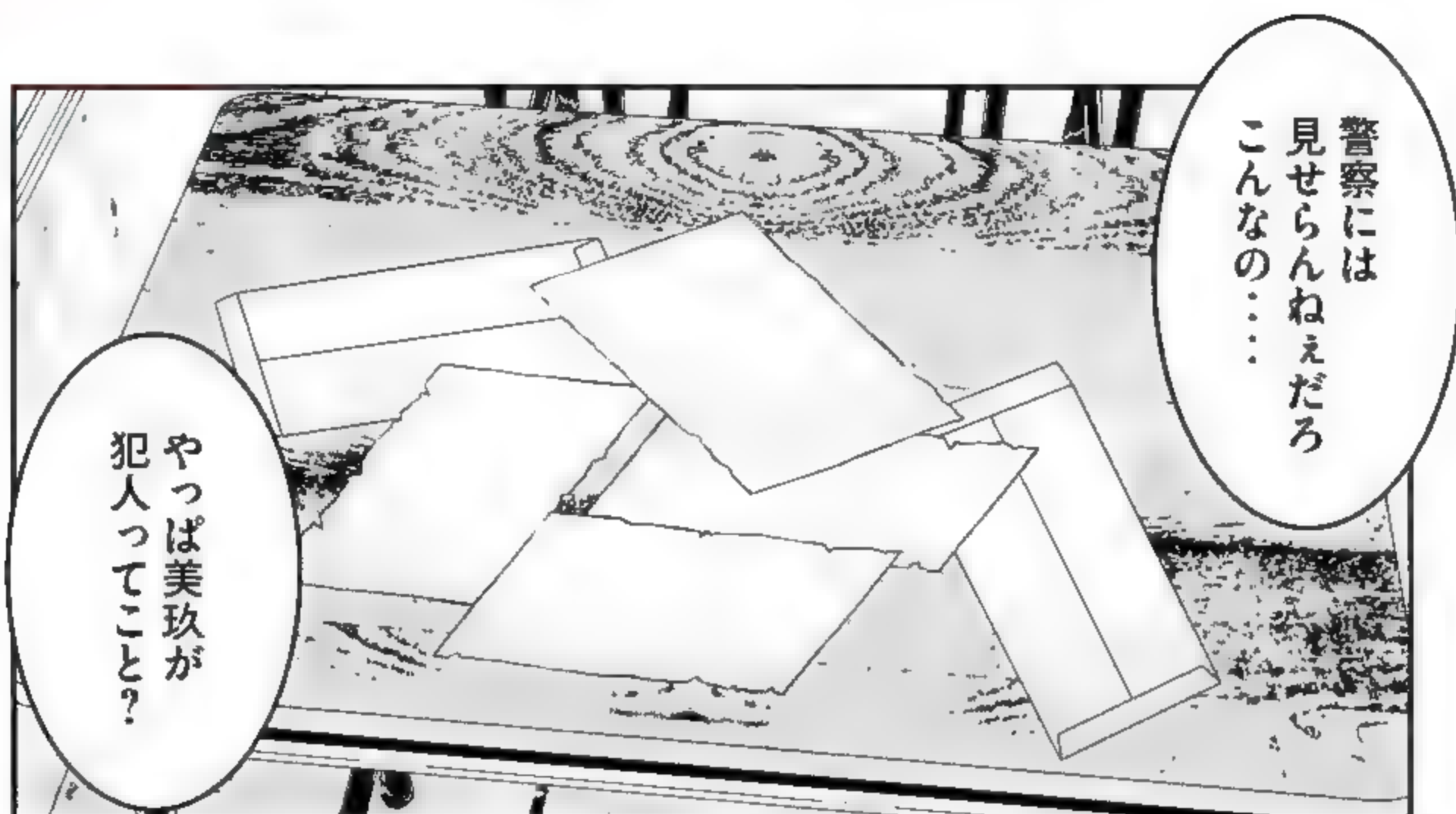


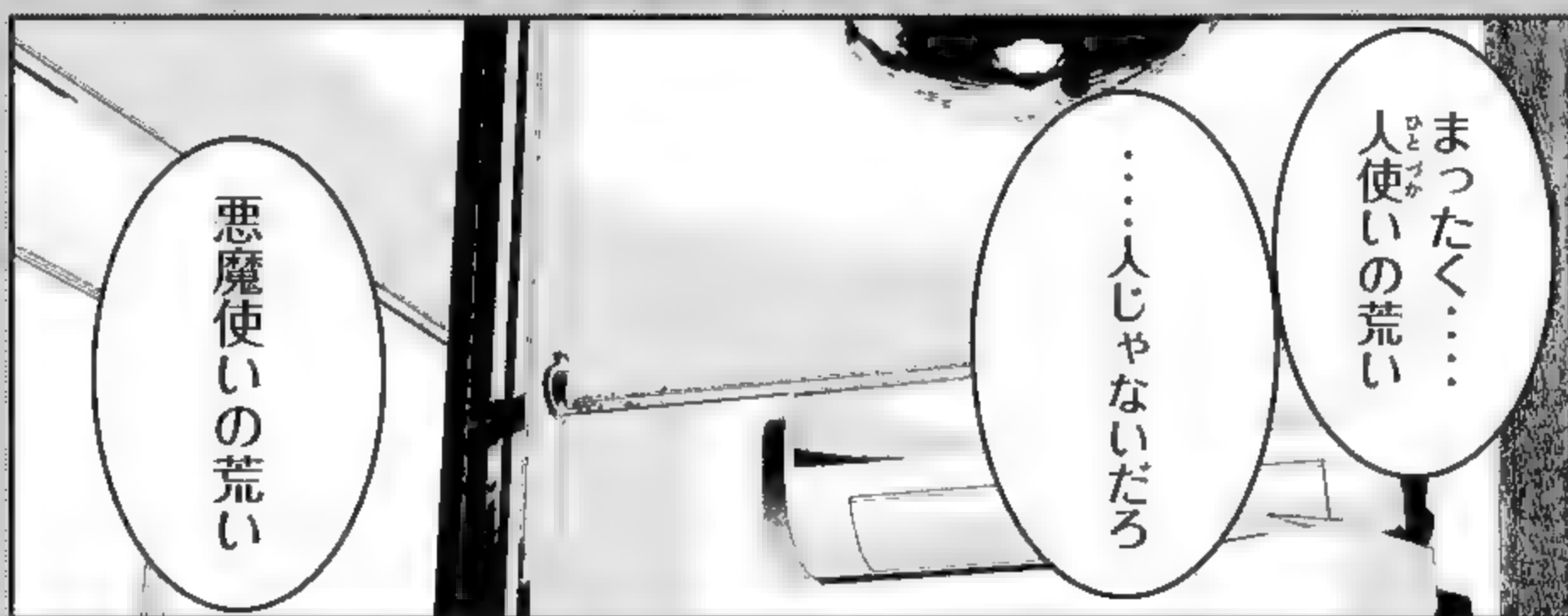
ズルいだろ

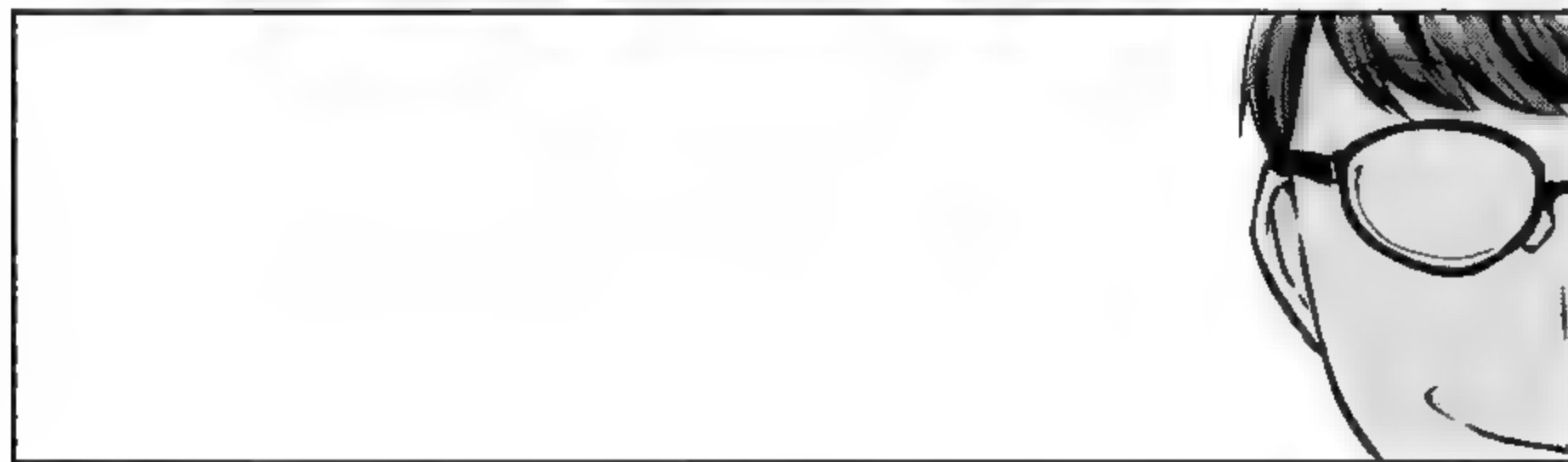
第17話 はじめての経験





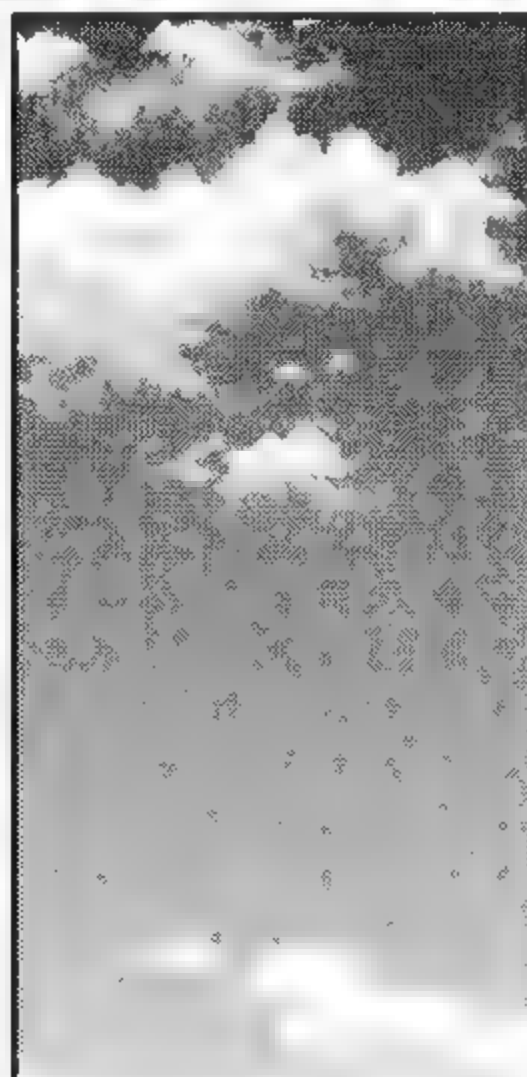


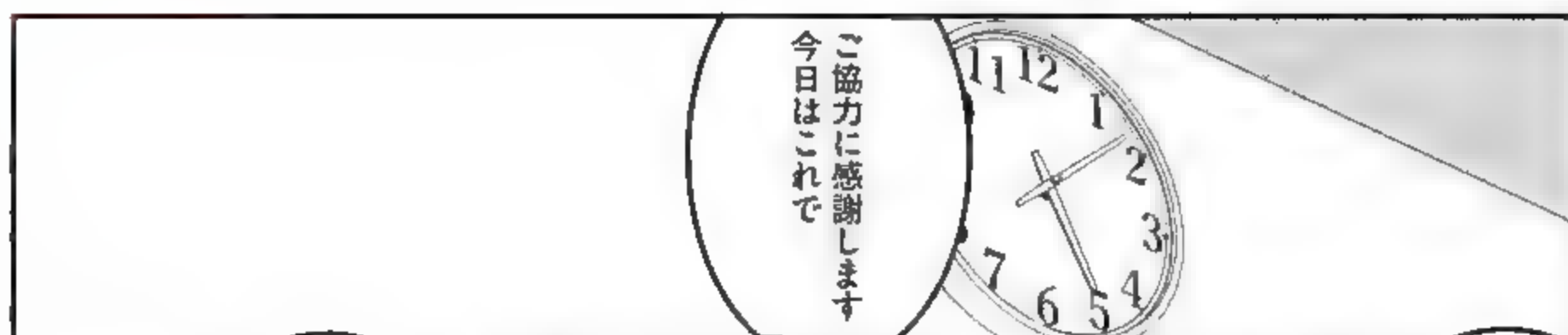


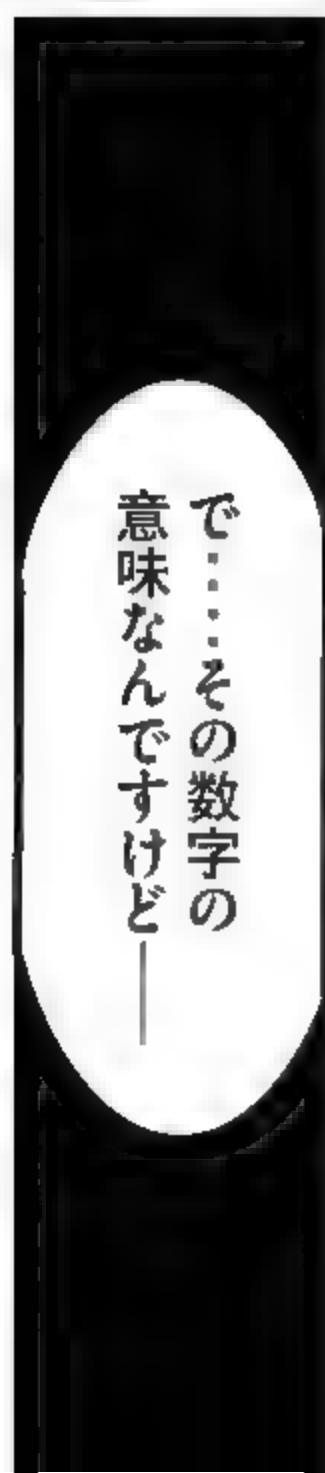




そりや言えないよな？
自分に火の粉が
飛んでくるんだから















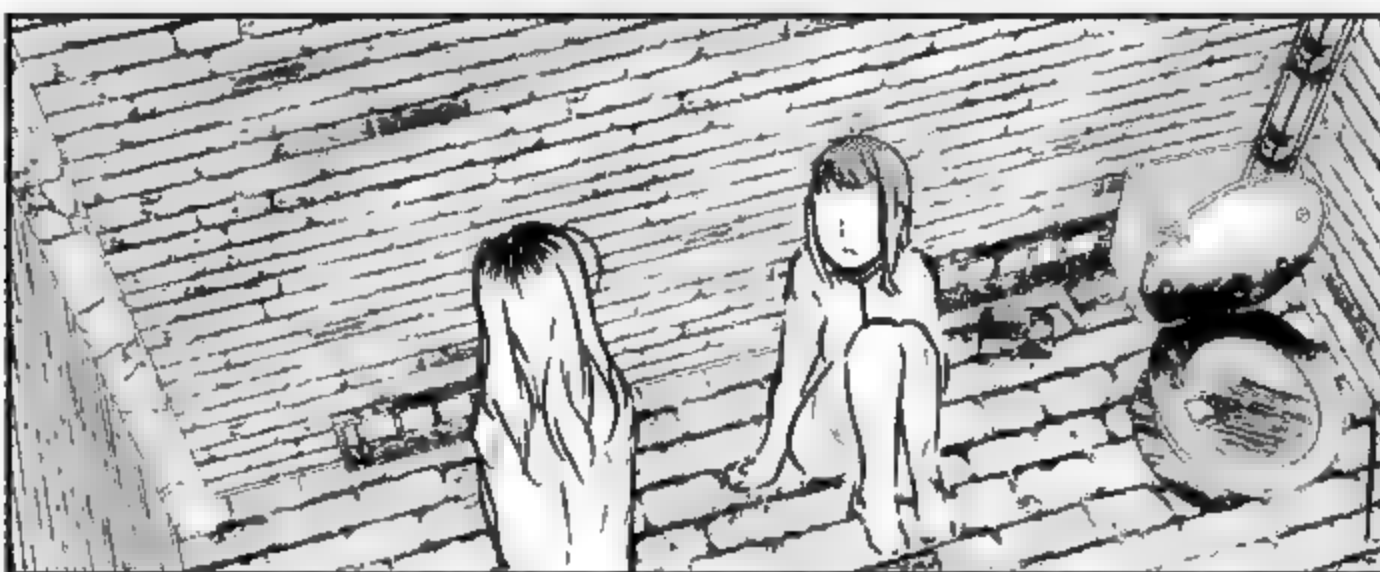
むぐっ!?

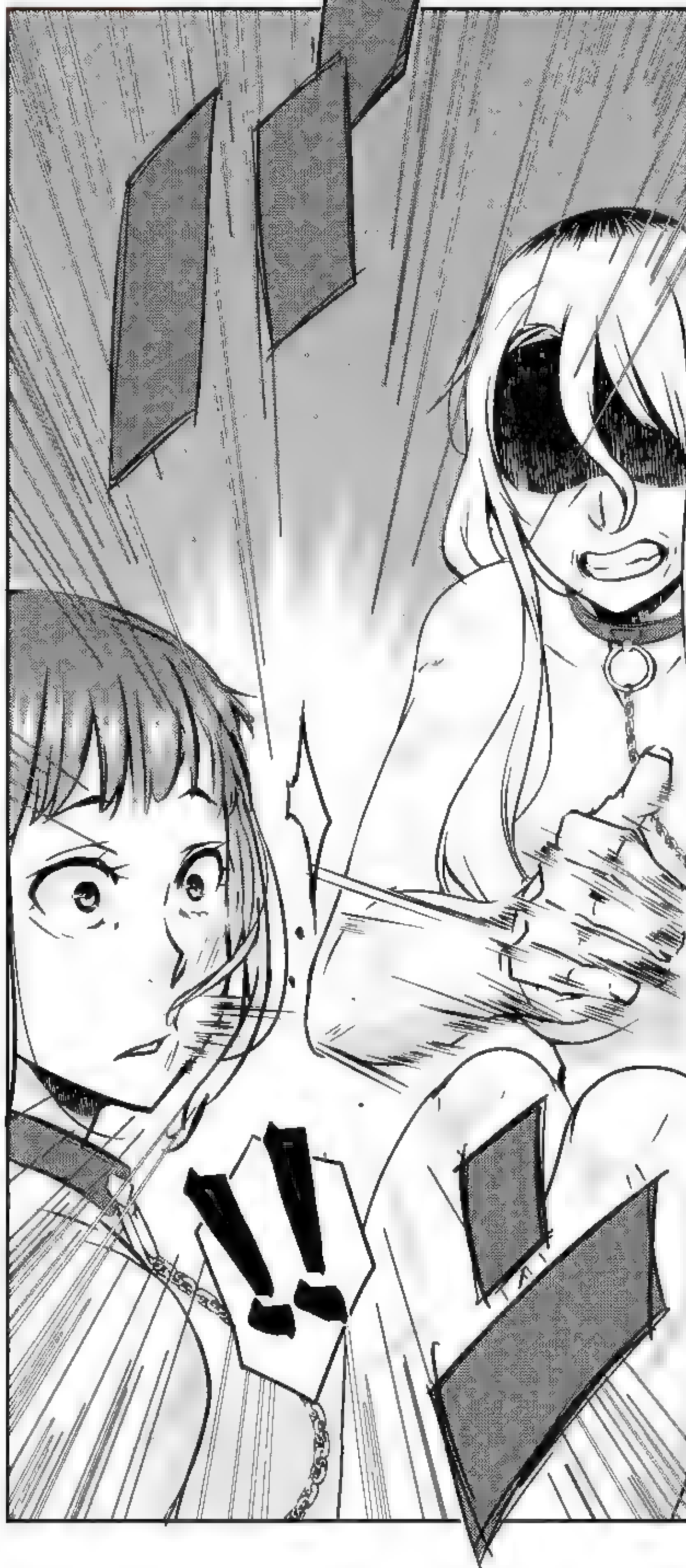
ズッ!

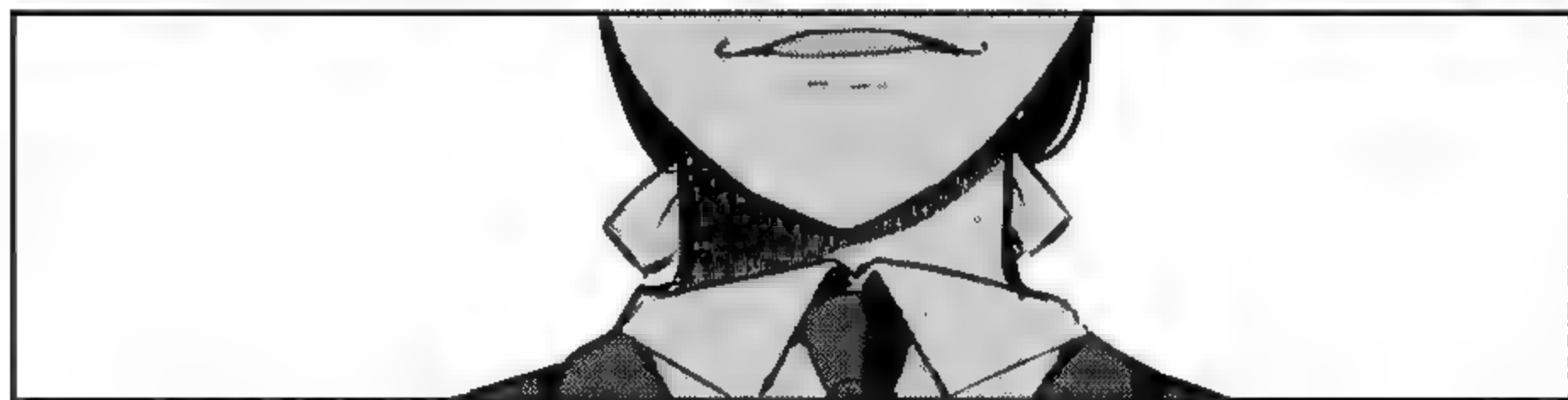
ズッ!ズッ!ズッ!

あの関戸が
俺のモノを睨てる……

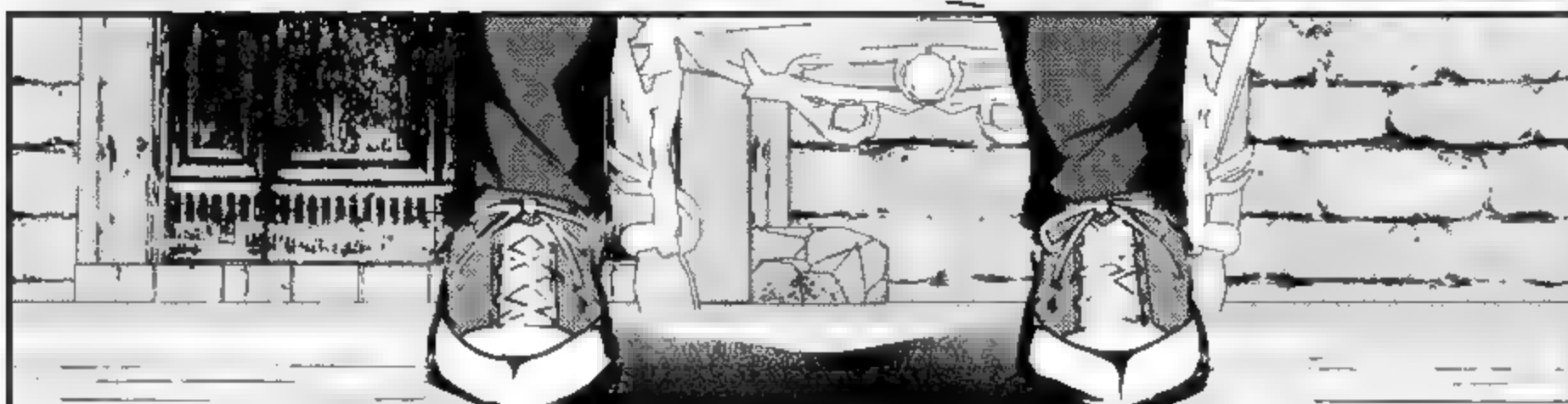
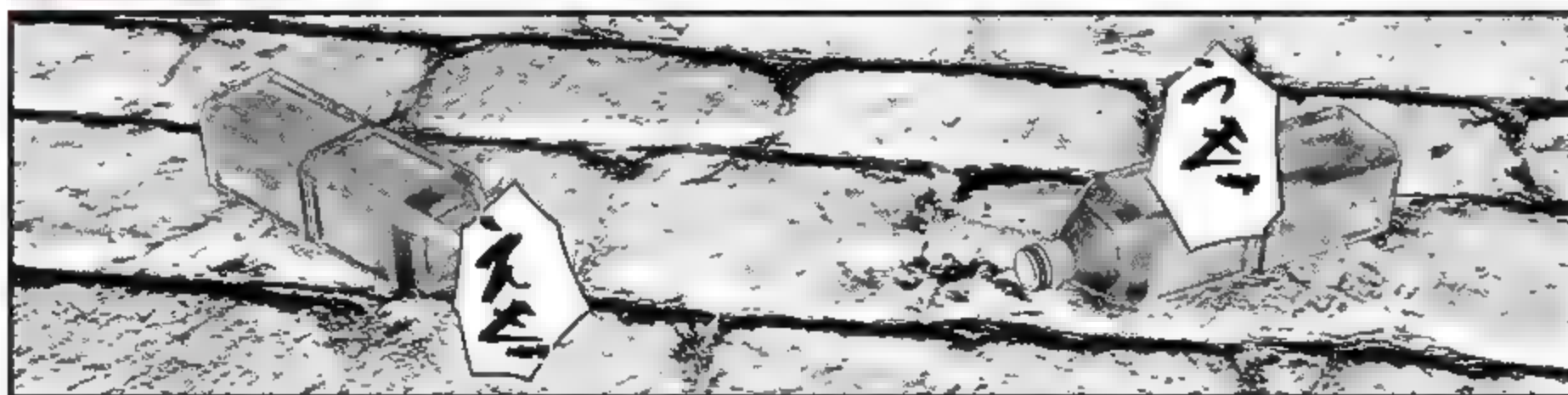




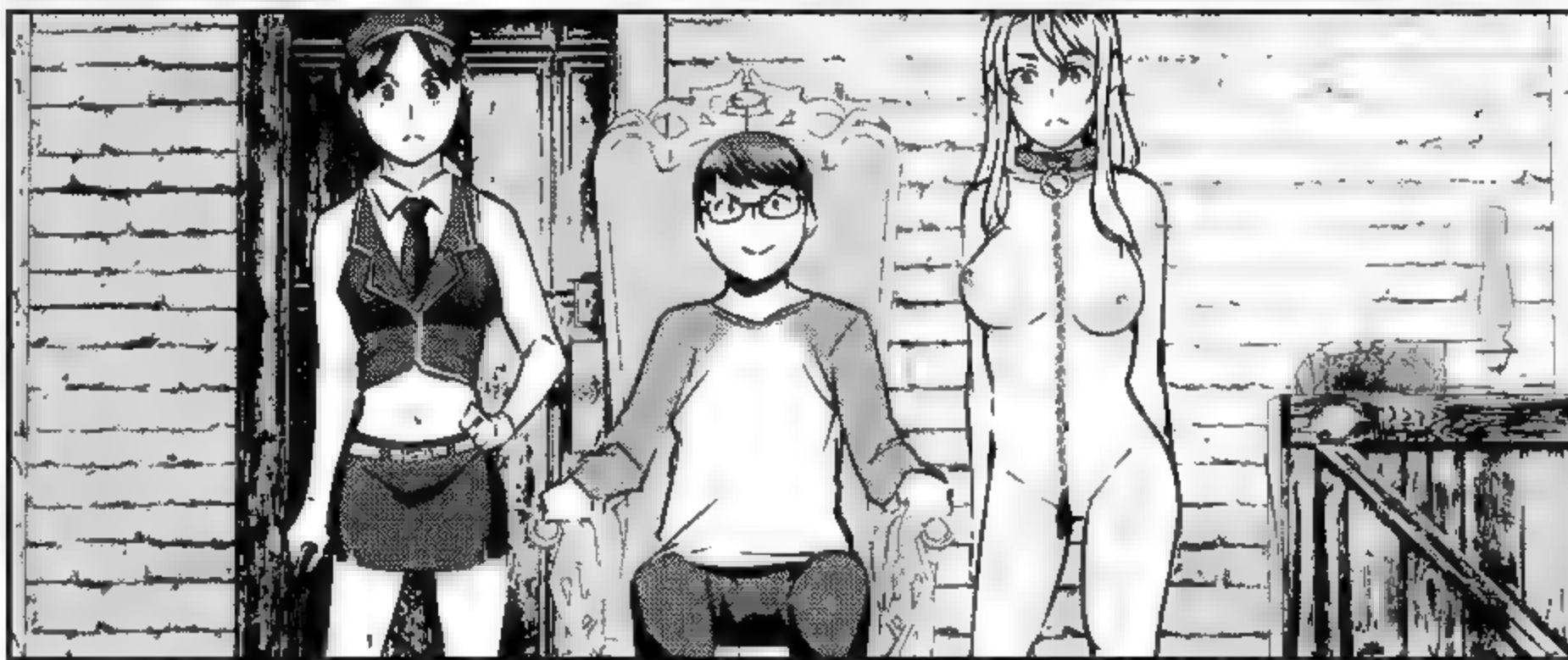


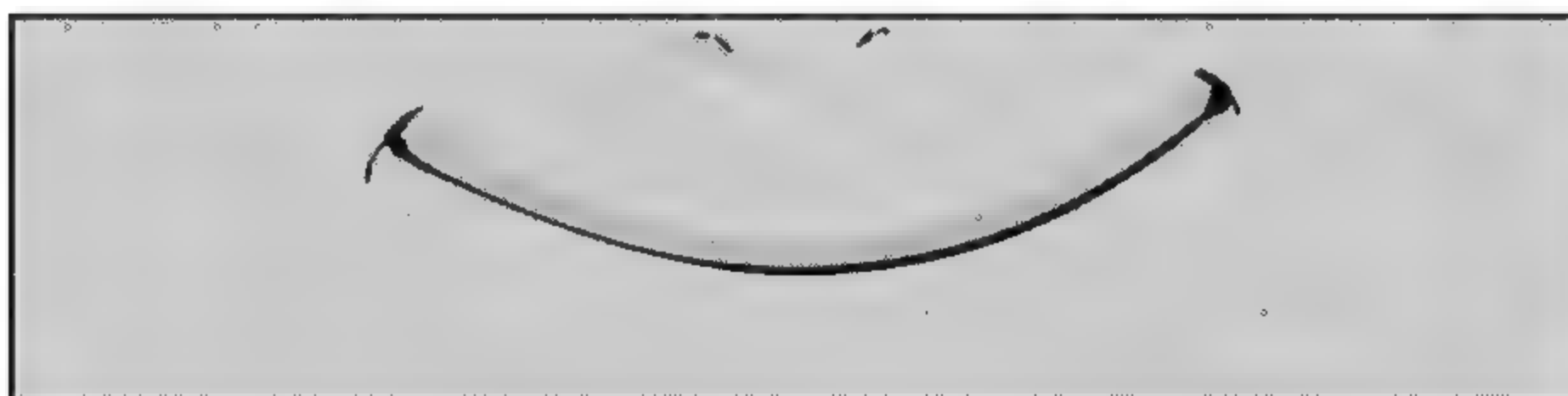


第18話 凋落した女







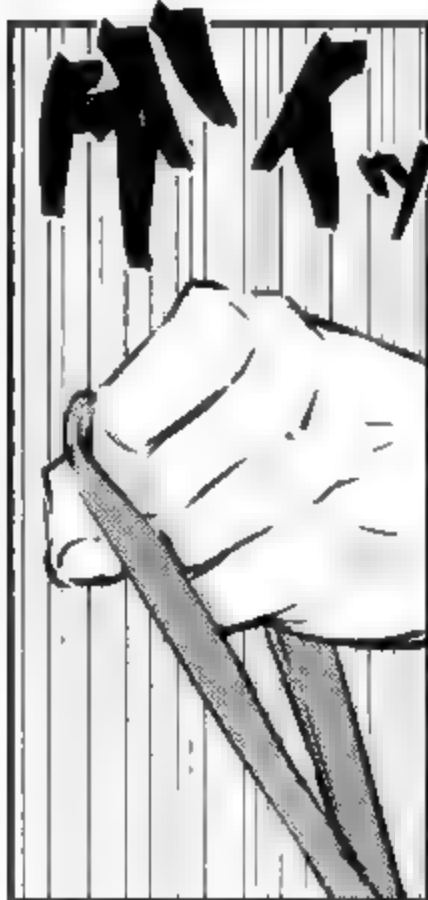
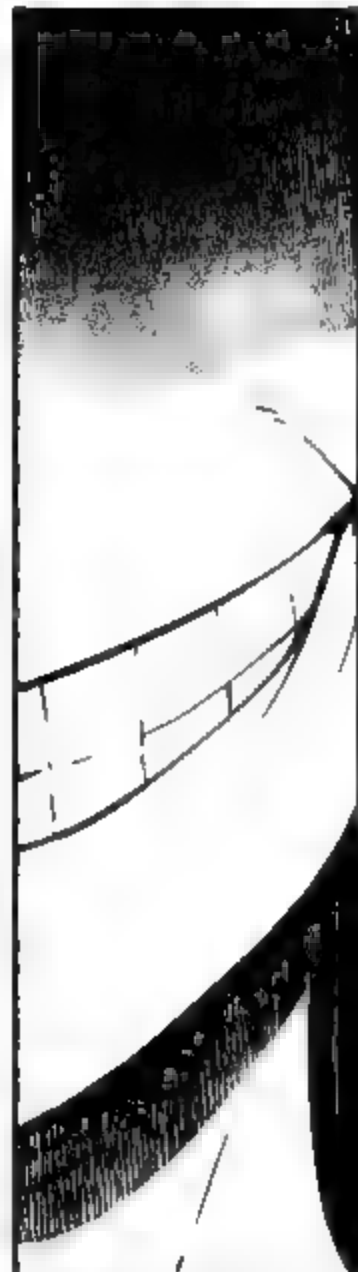
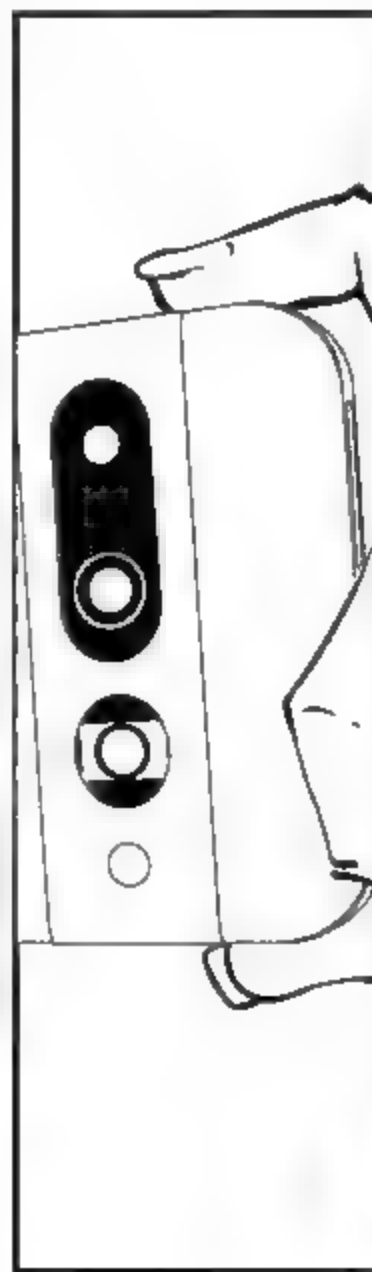




実は…こういうものを
用意してるんだ

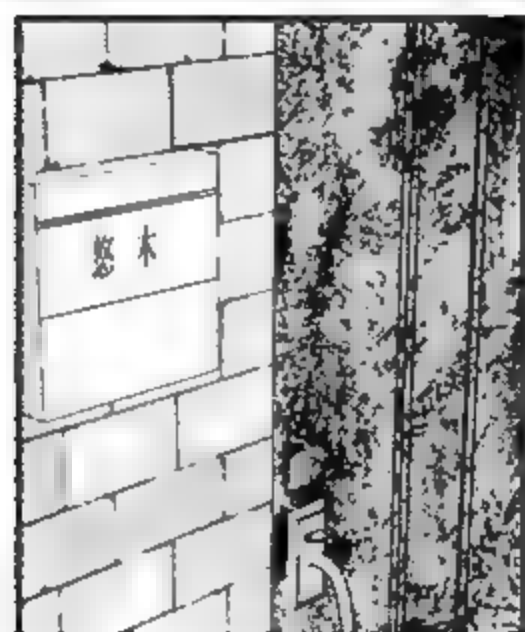
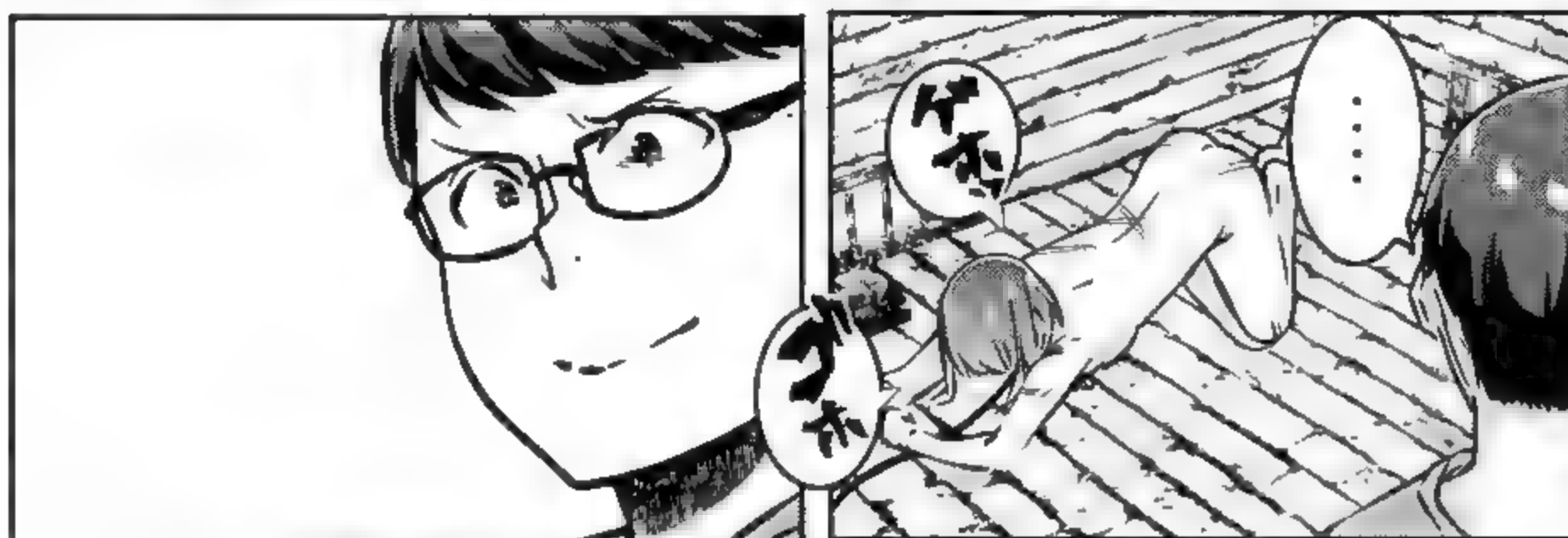
流出したら社会的に死ぬ
動画撮ってあげる……
だったよな？

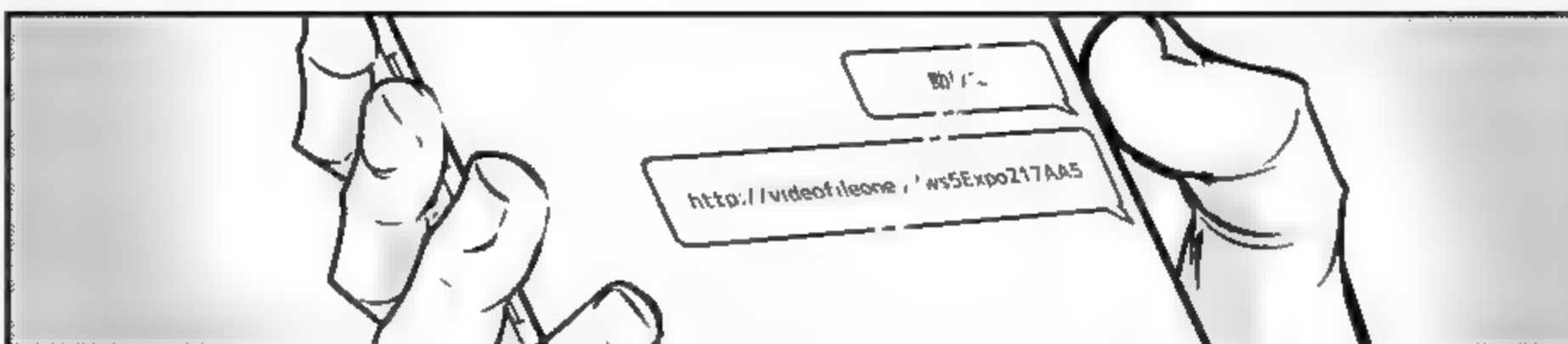
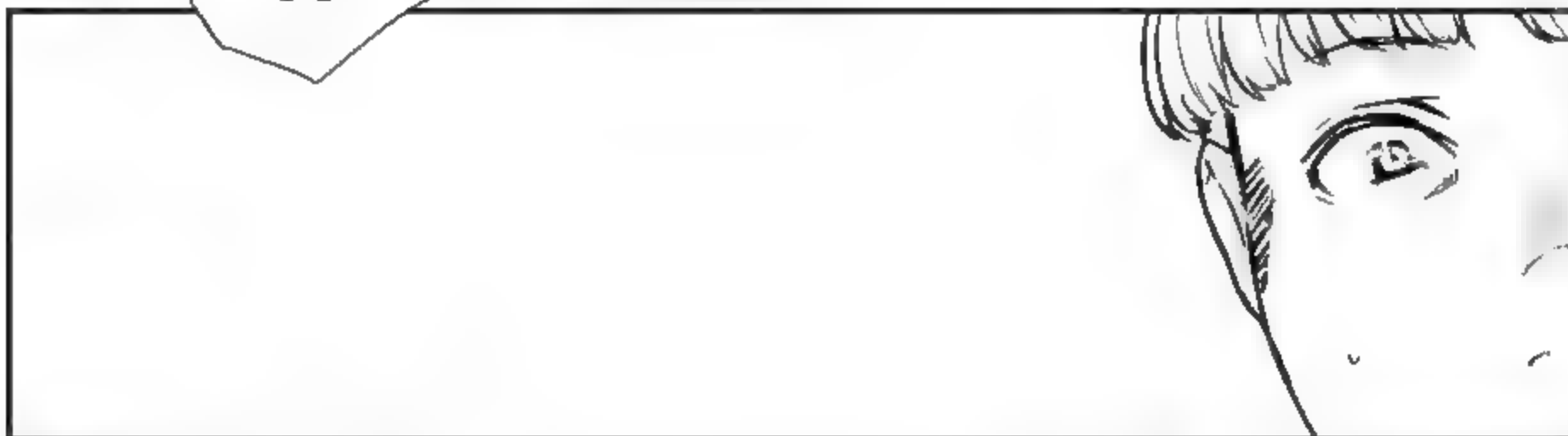
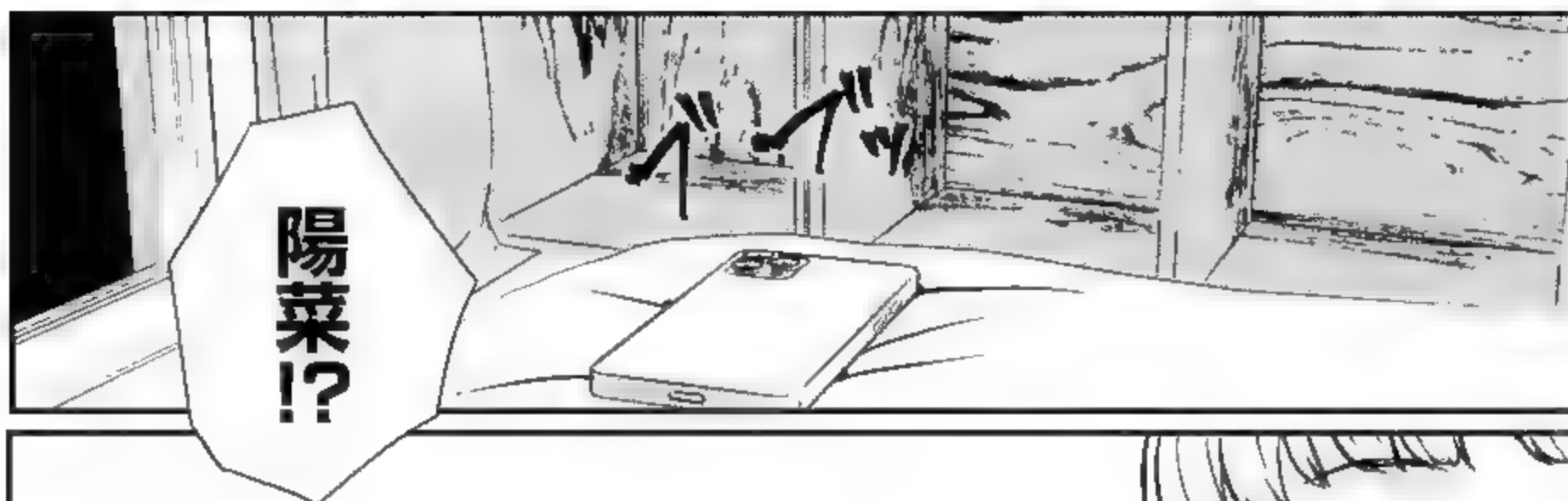
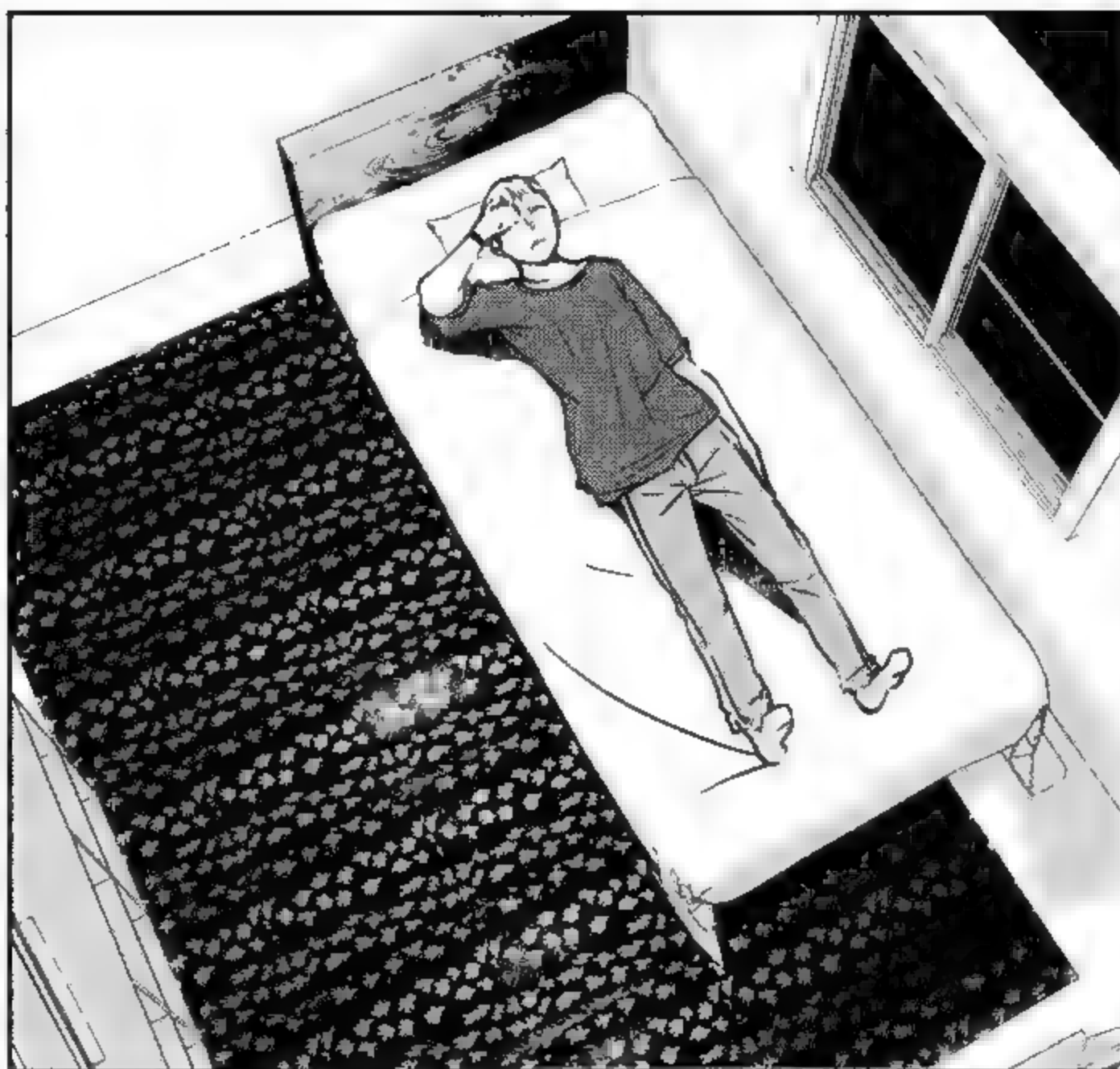






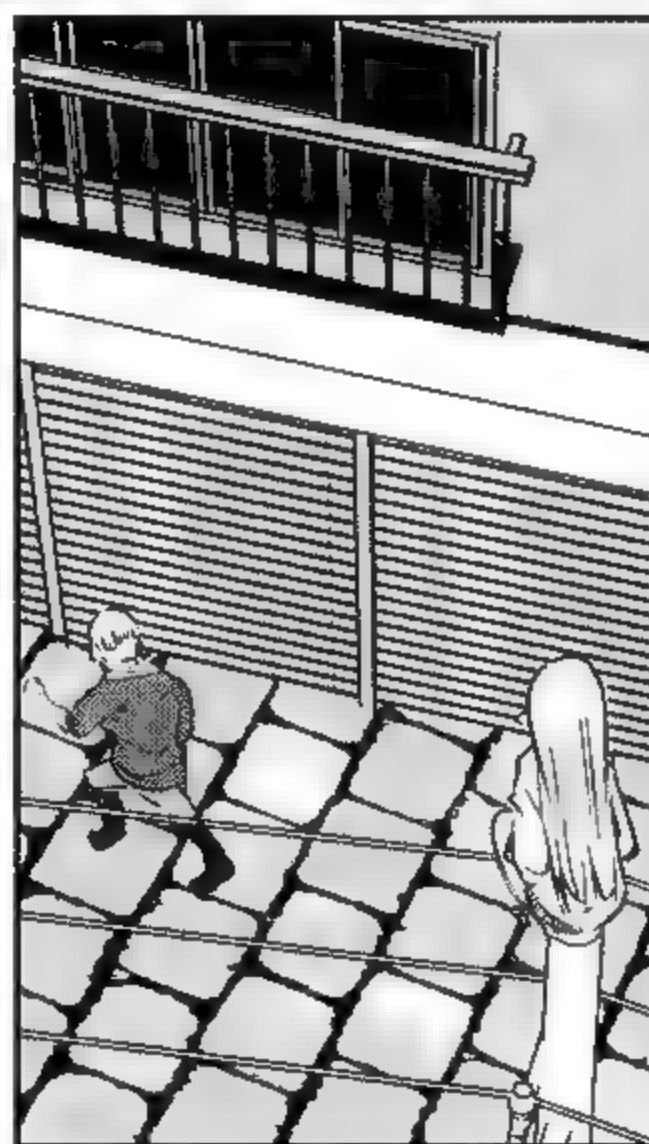
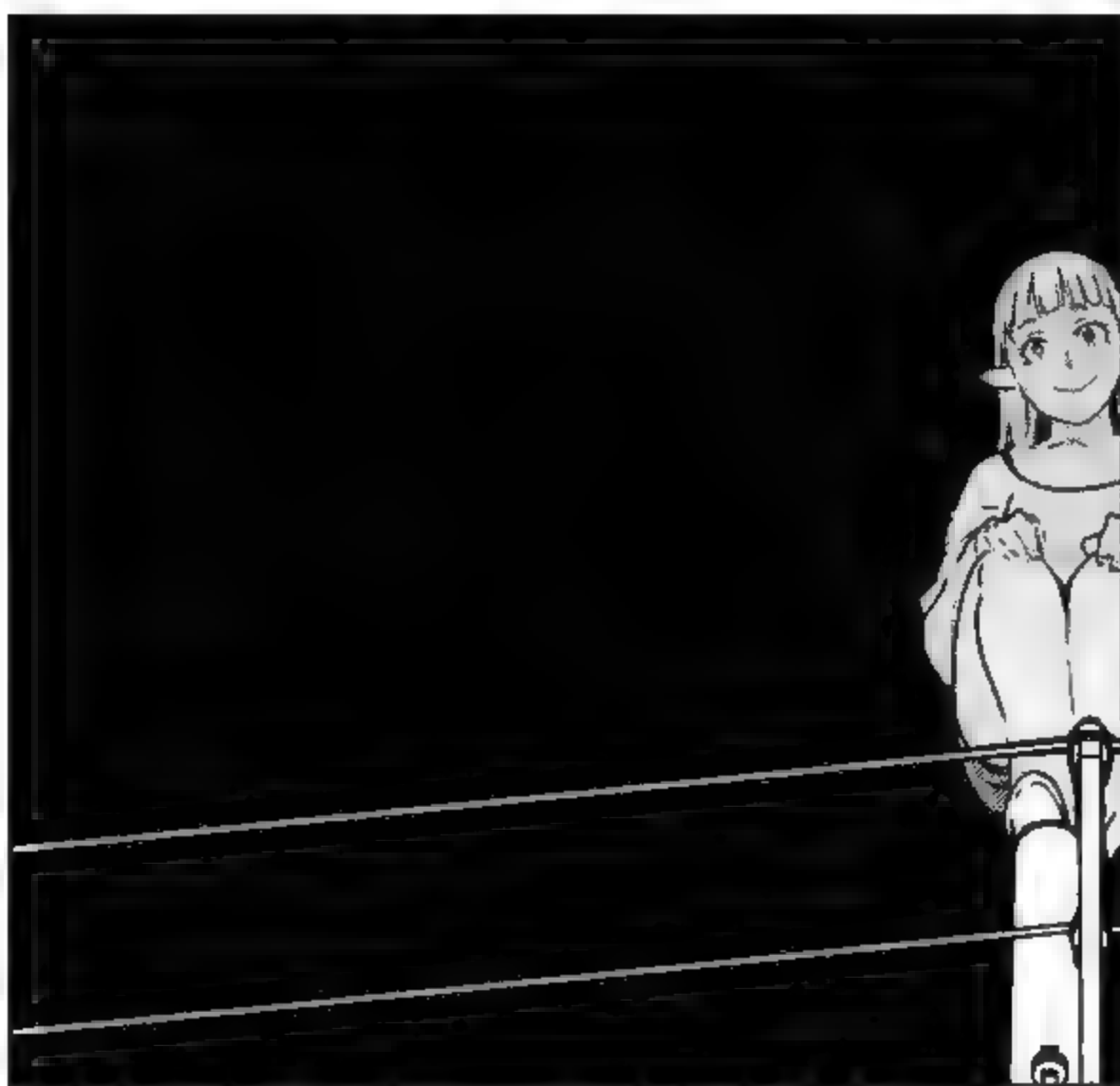
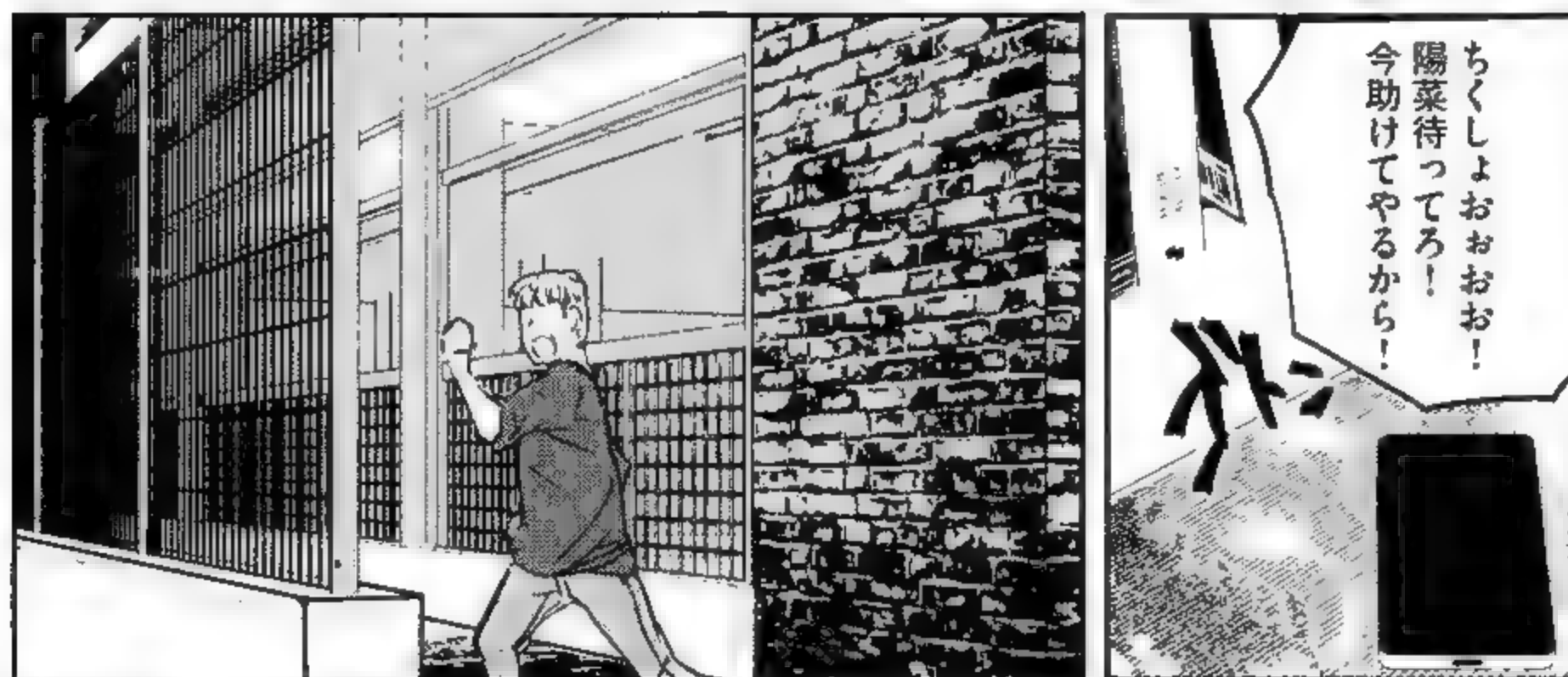


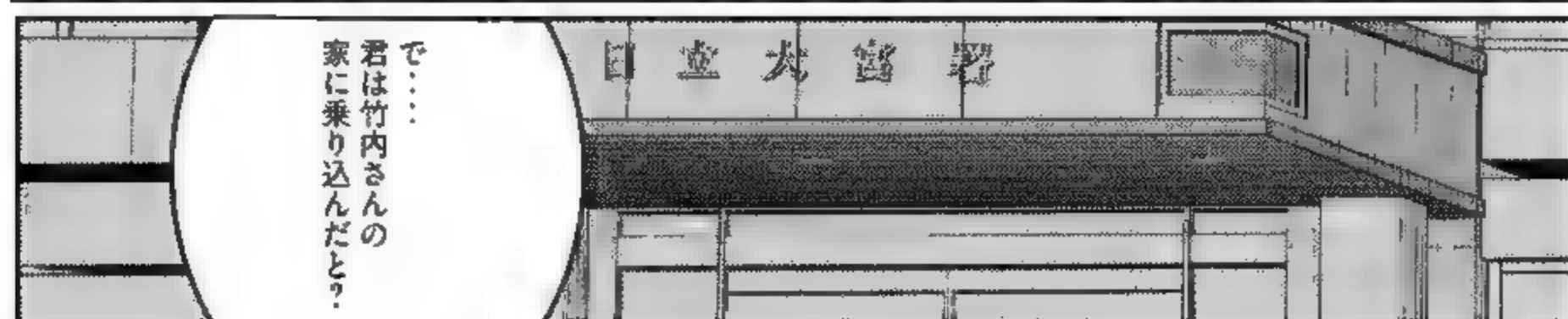
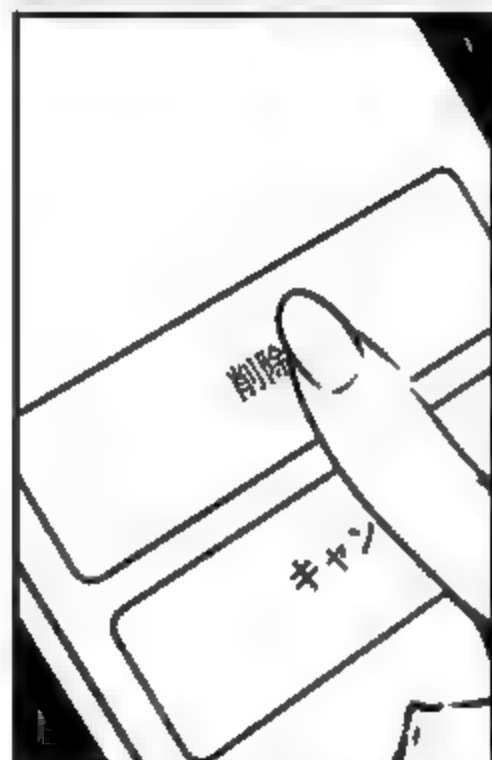


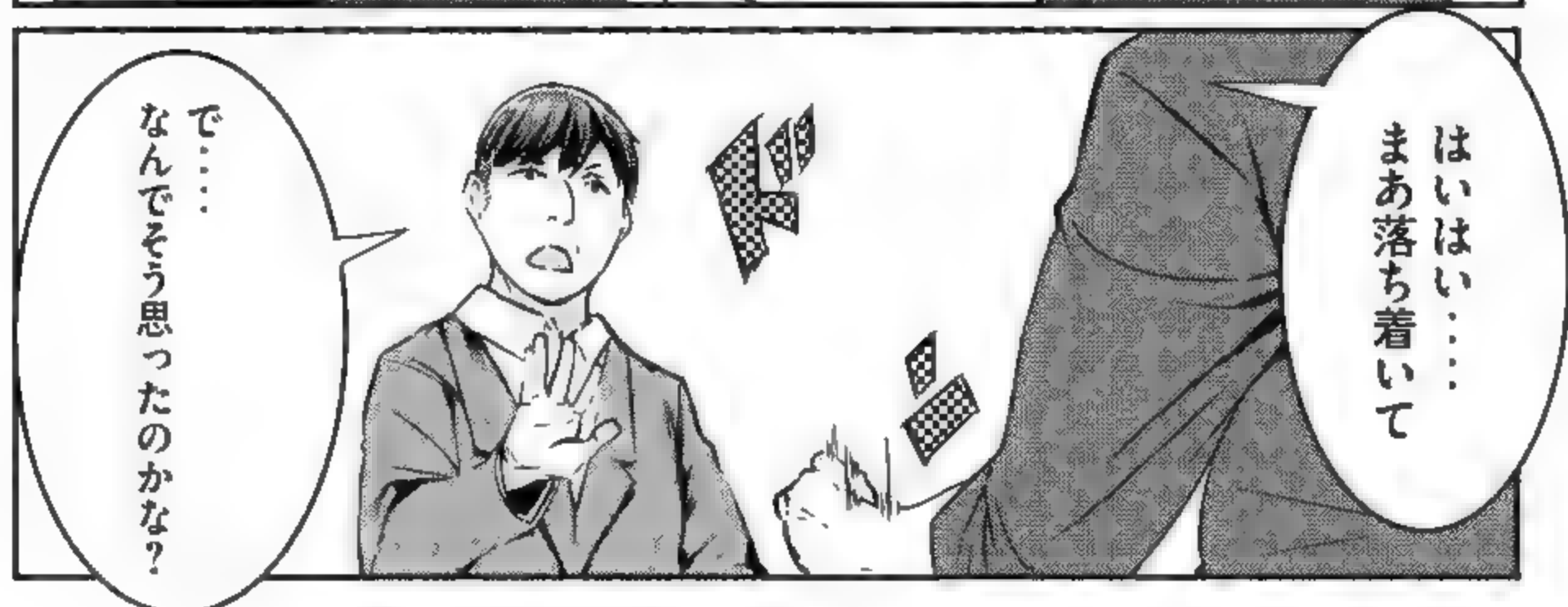




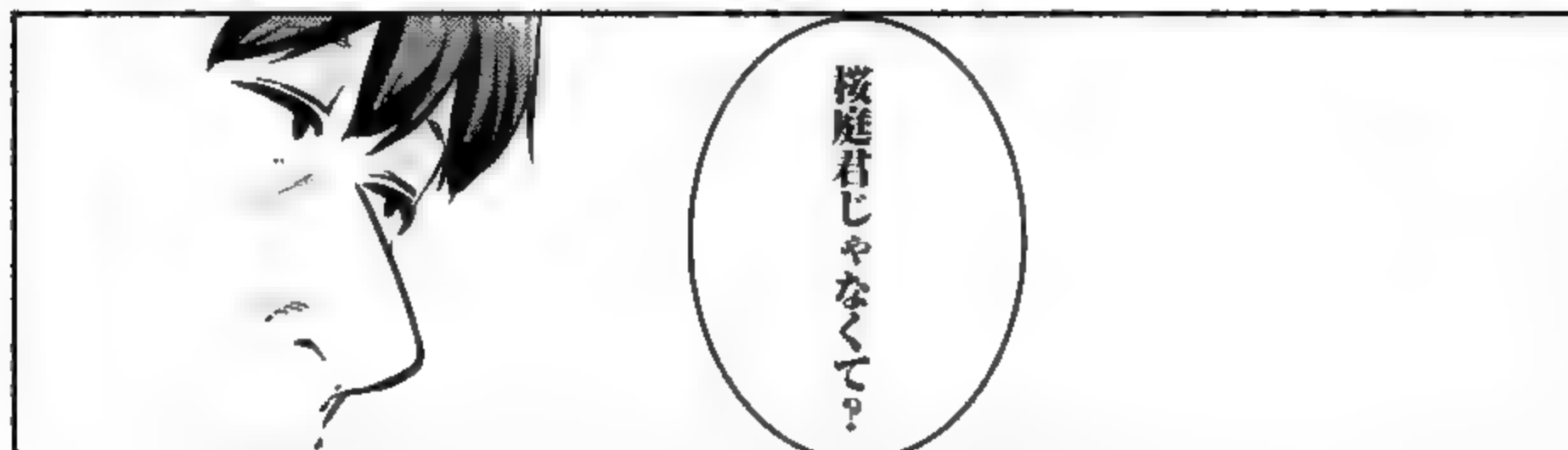






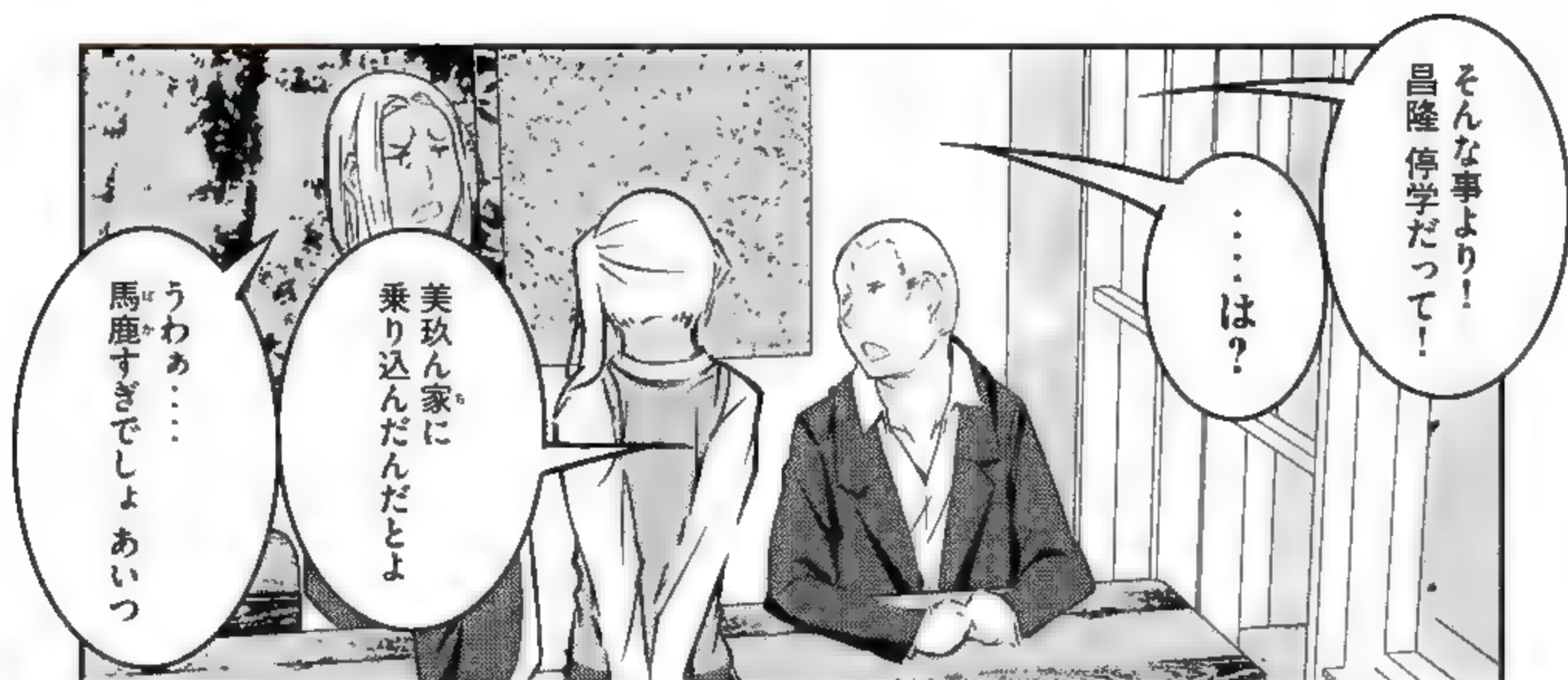




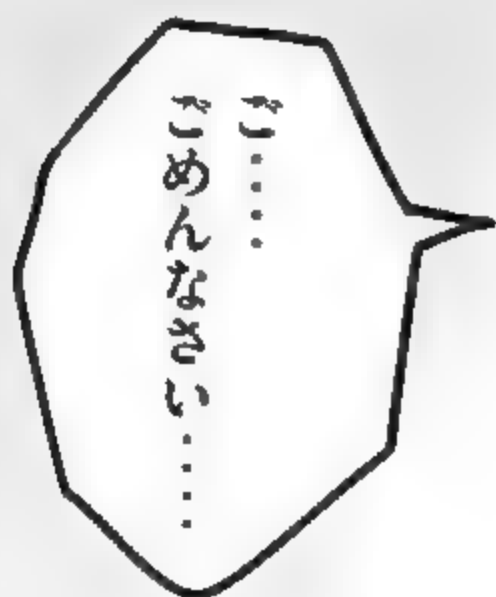
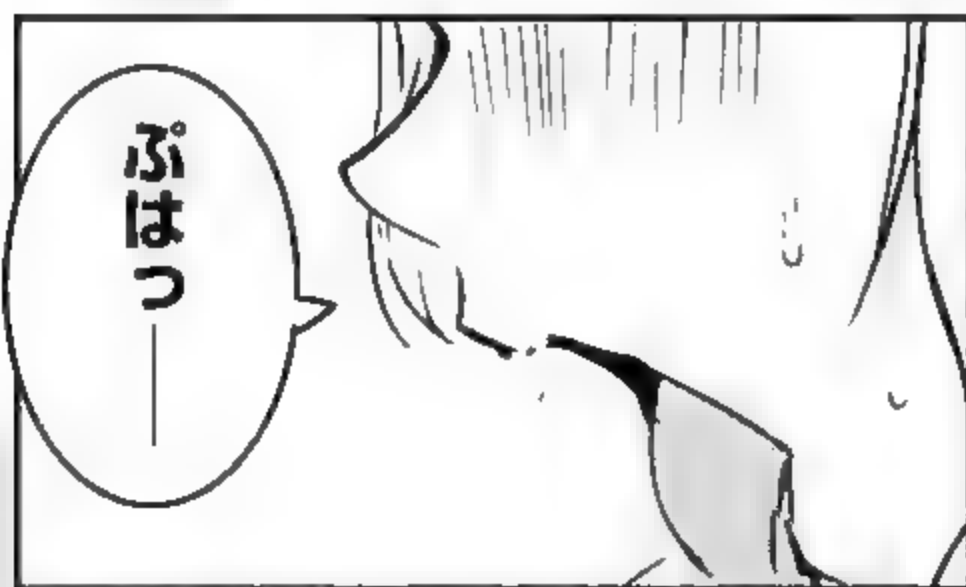








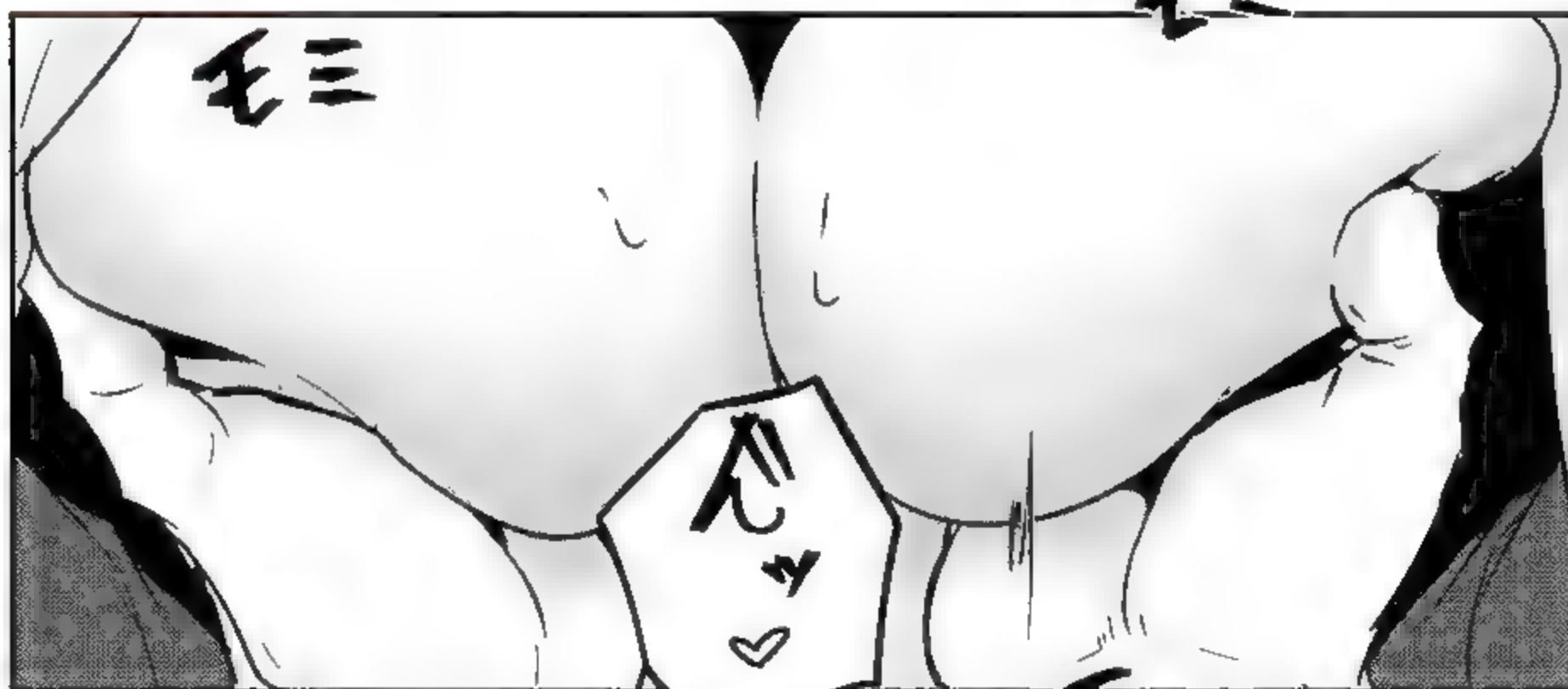






毛三

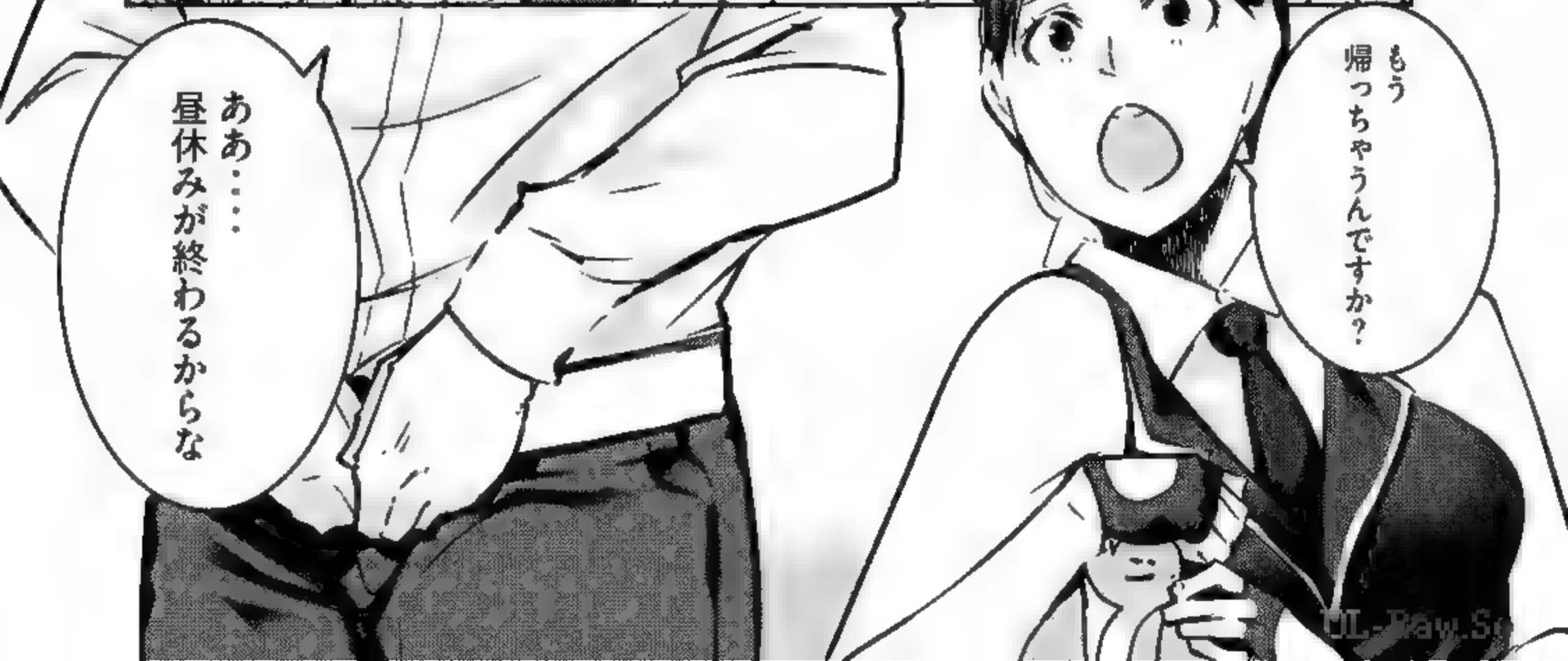
毛三



毛三









大分衰弱してるな...



馬鹿だから
あいつ

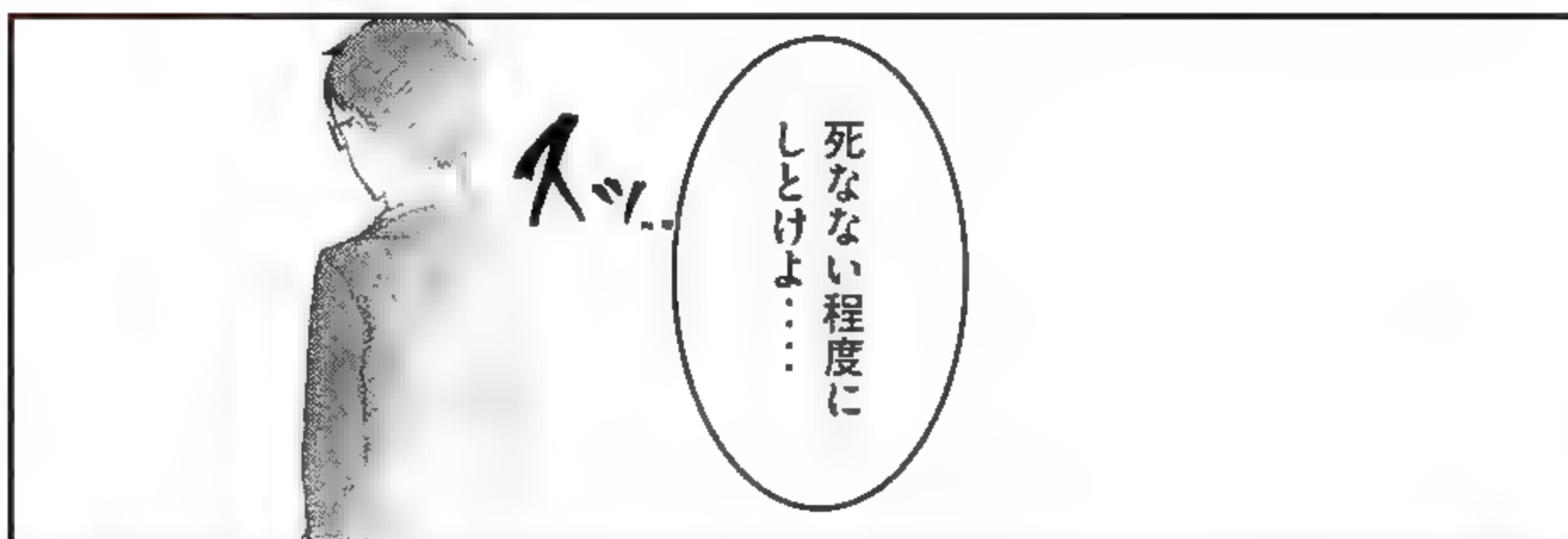
まあ...
大した被害はなかった
みたいだから安心しろ

お前が
水野を拉致してると
思い込んだみたいだな

え!?
な...なんで...

そういえば...
竹内さんの家に
悠木が乗り込んだってさ













でしょうね



決定的な証拠でも
出てこない限り

ならないね……それに
取り調べにも応じてくれてるし
逮捕状を請求しても……
まあ取れないだろうね



だが——
君が犯人だと

確信する
材料にはなった



証拠はこれから
捜^させばいい





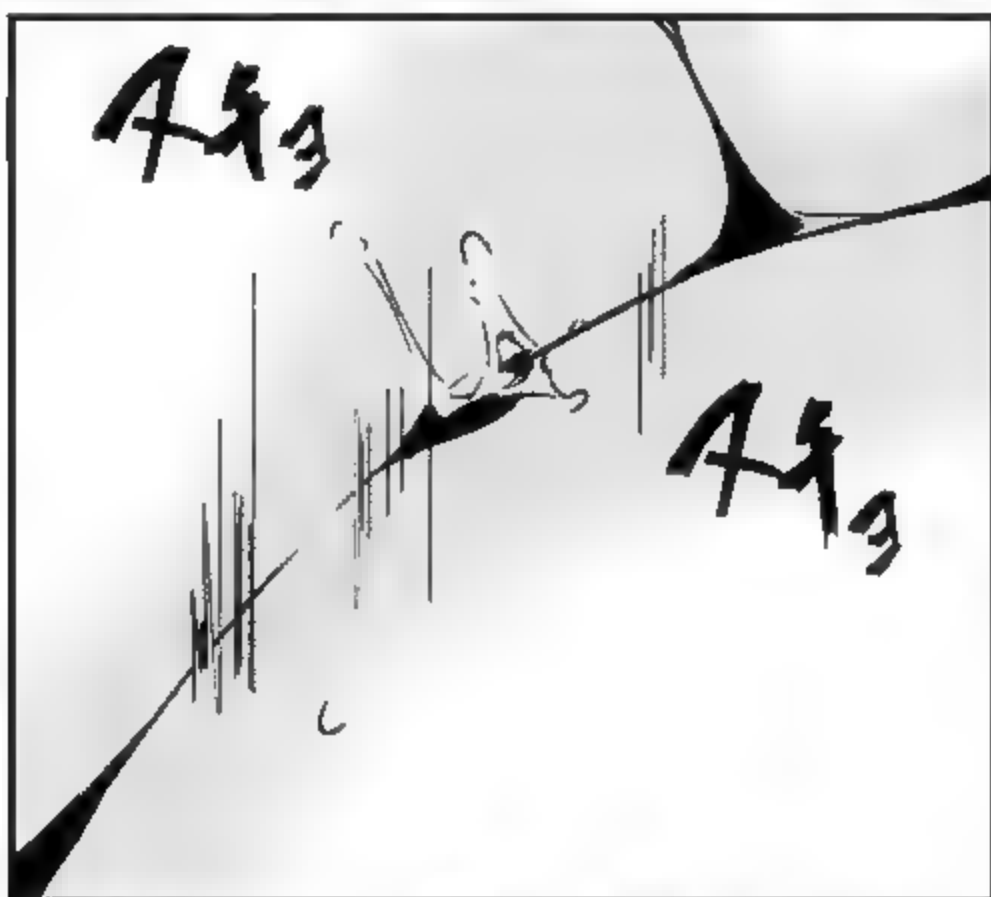


スマタねえ……

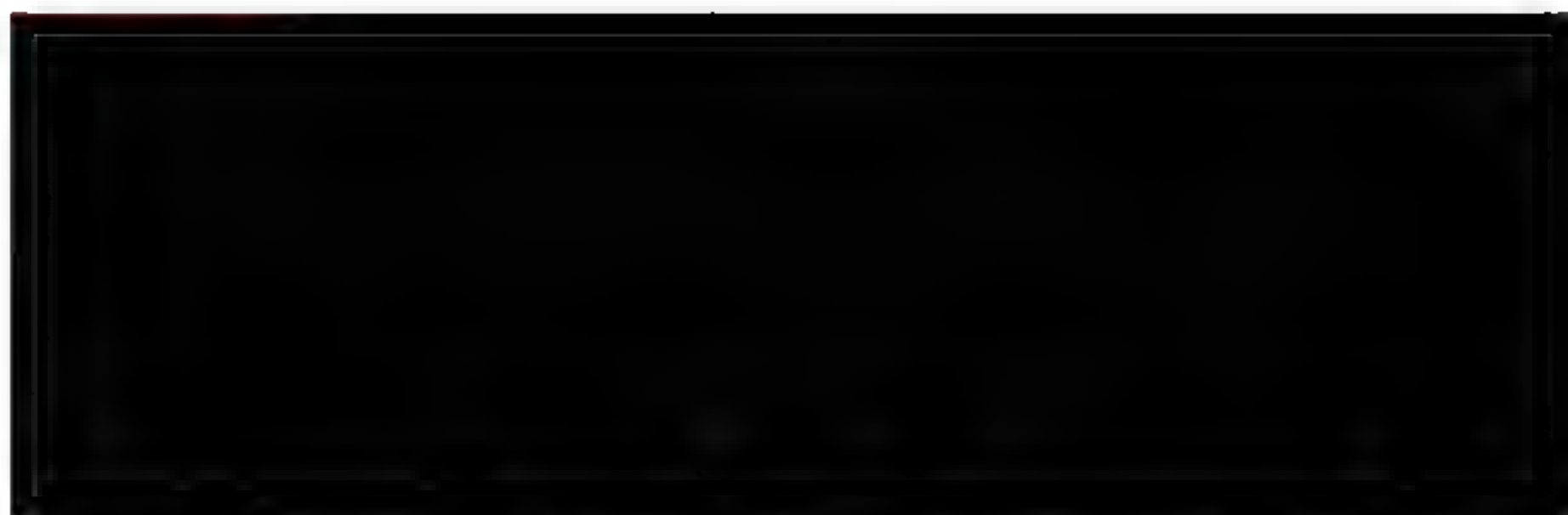
第20話 俺のモノになれ

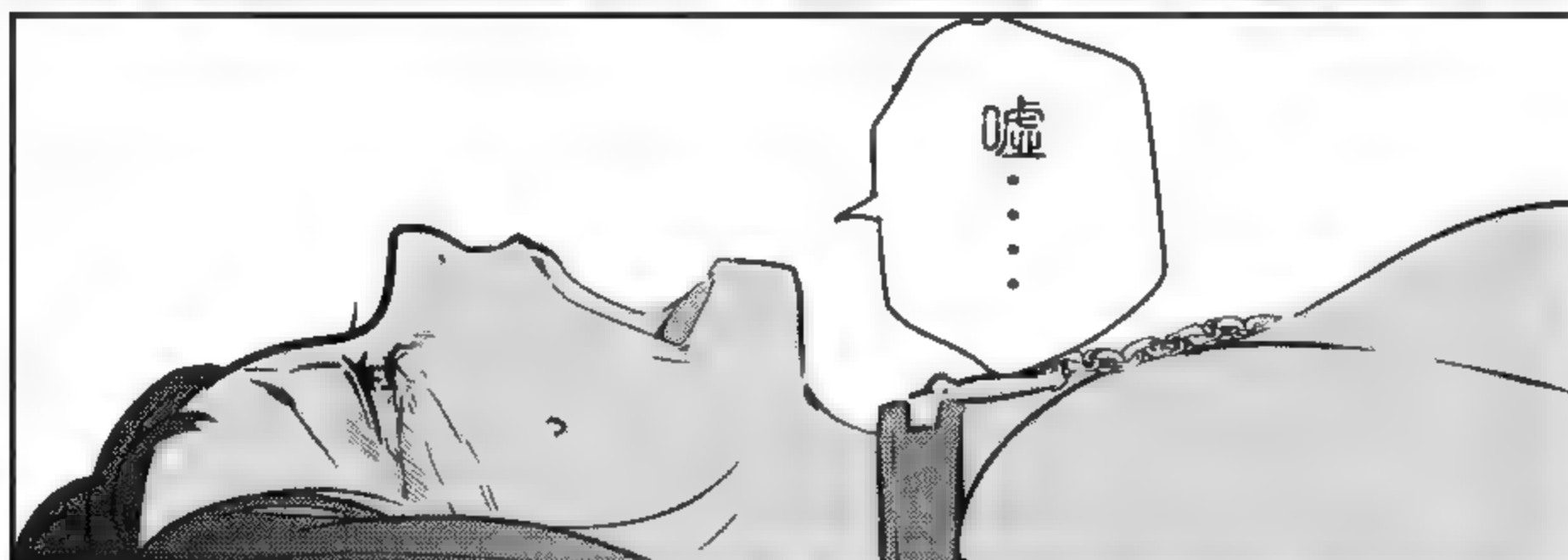




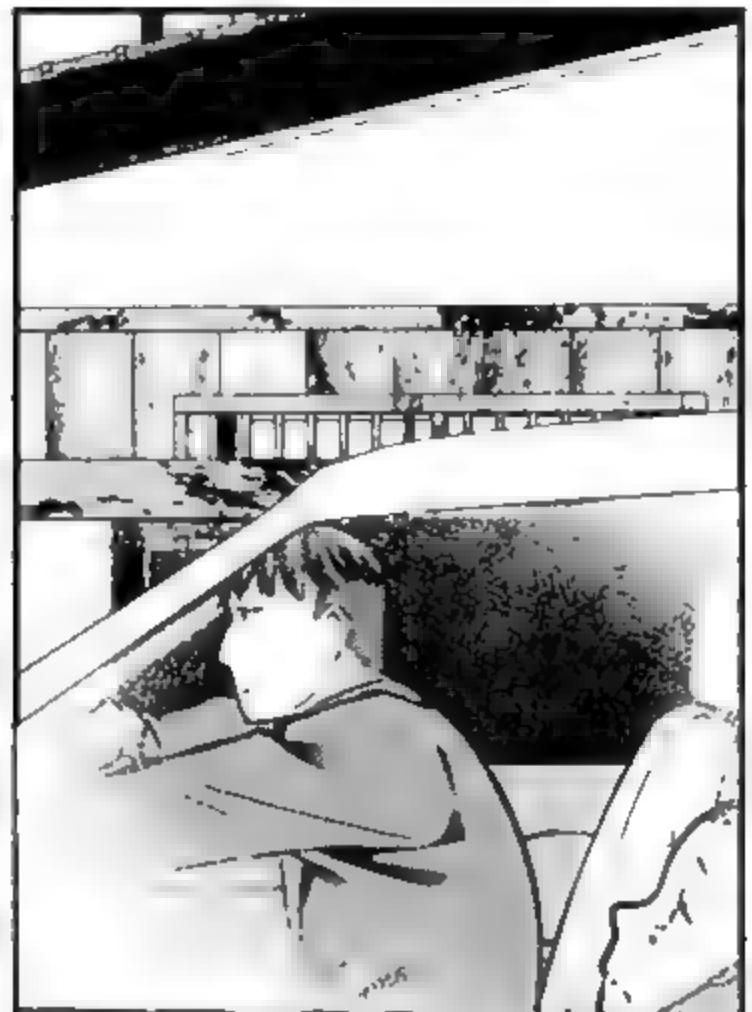


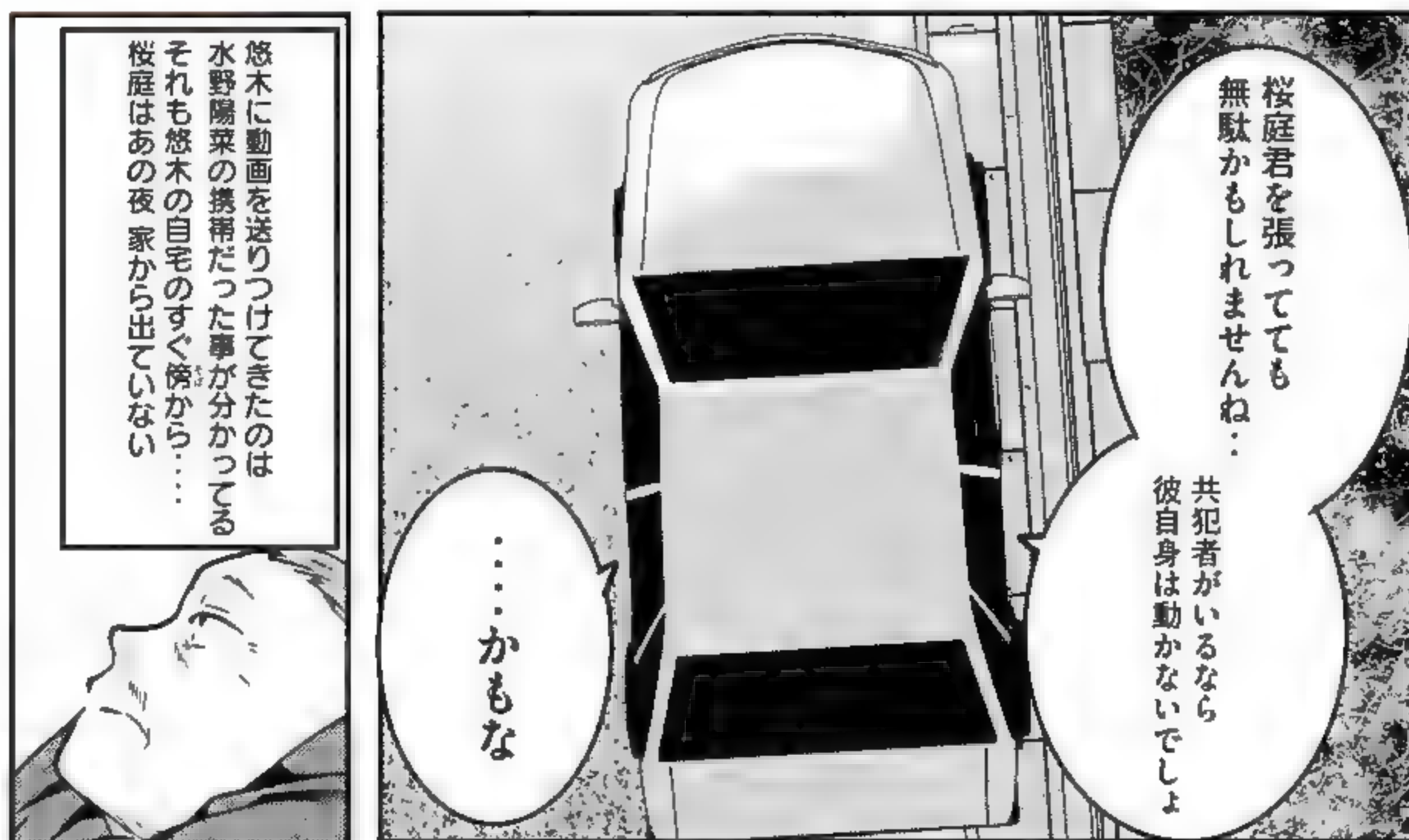


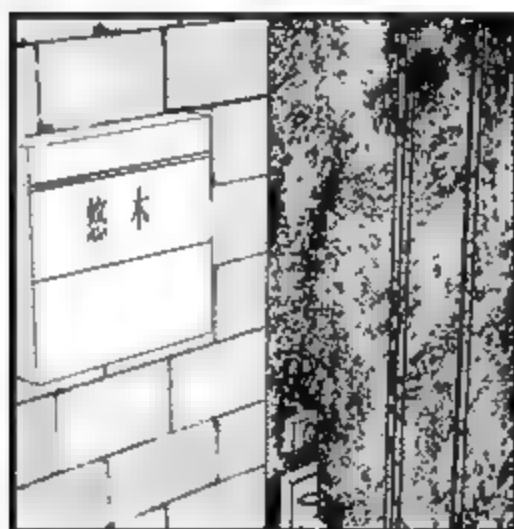
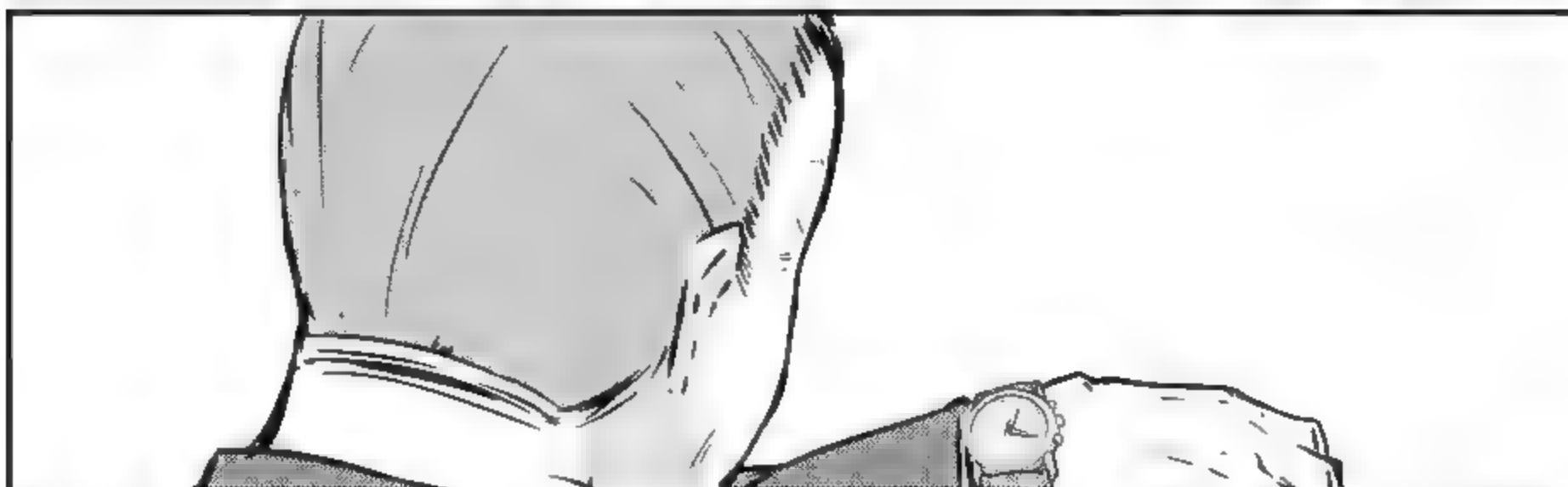








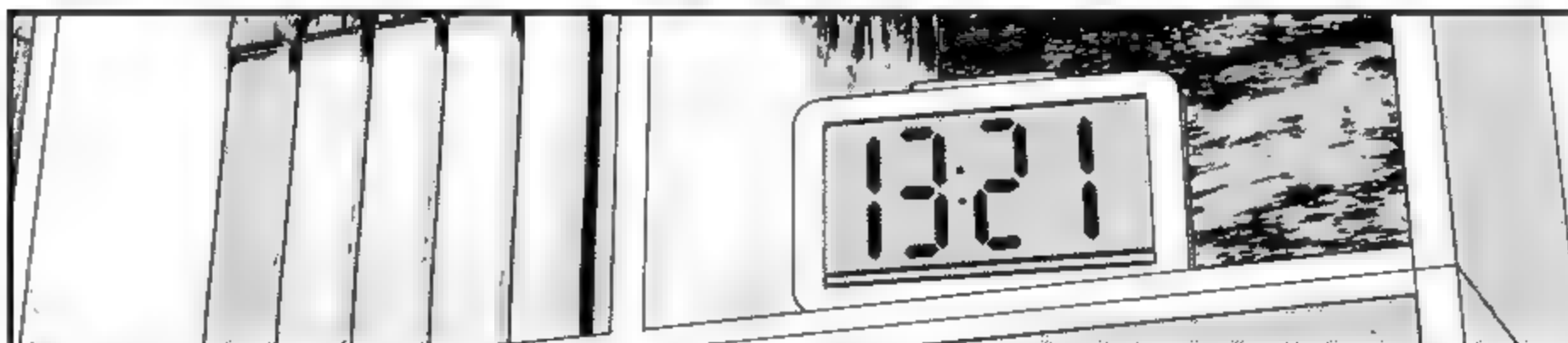


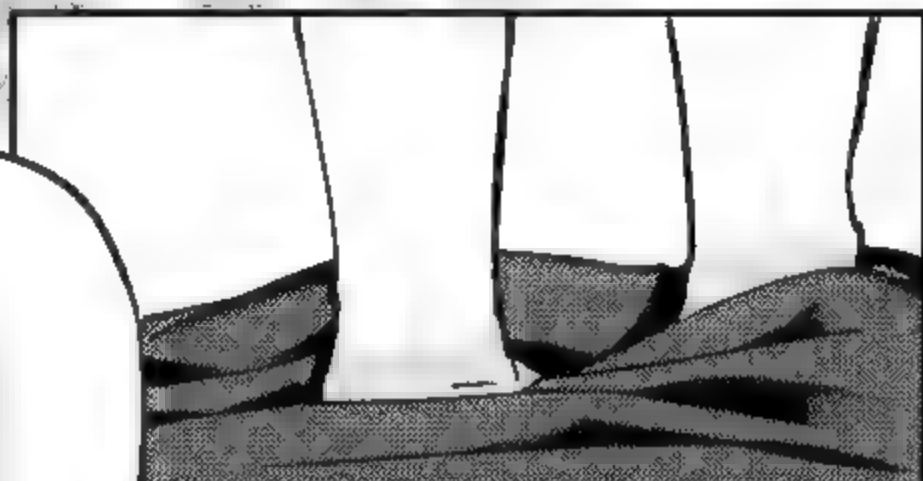
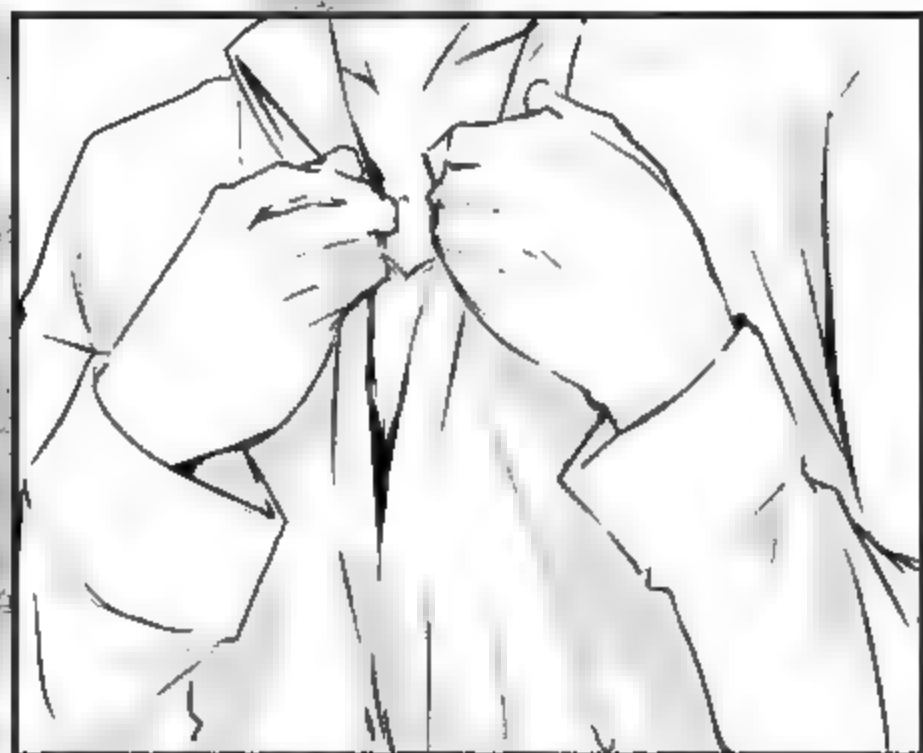






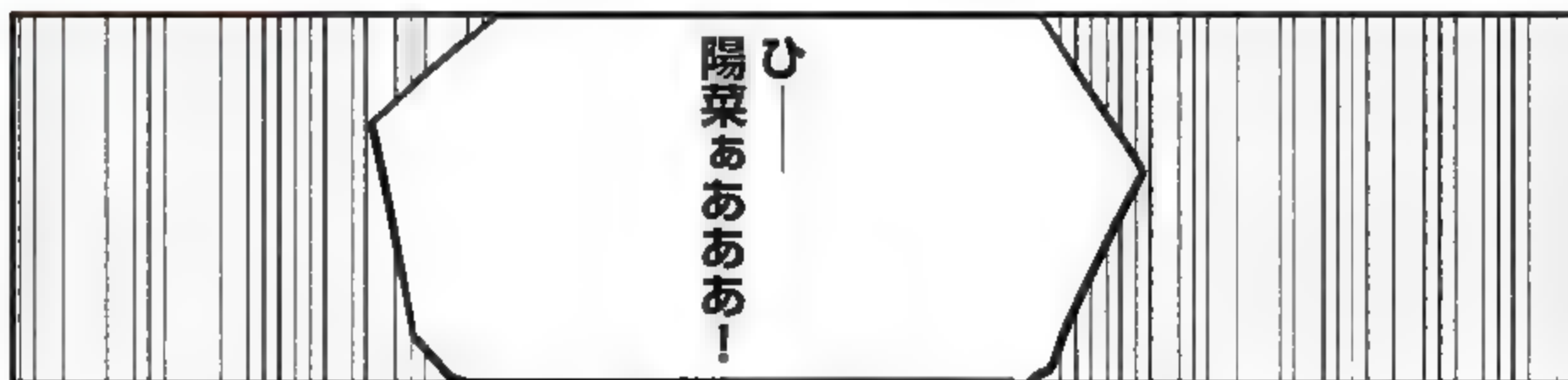
ひ・陽菜!!



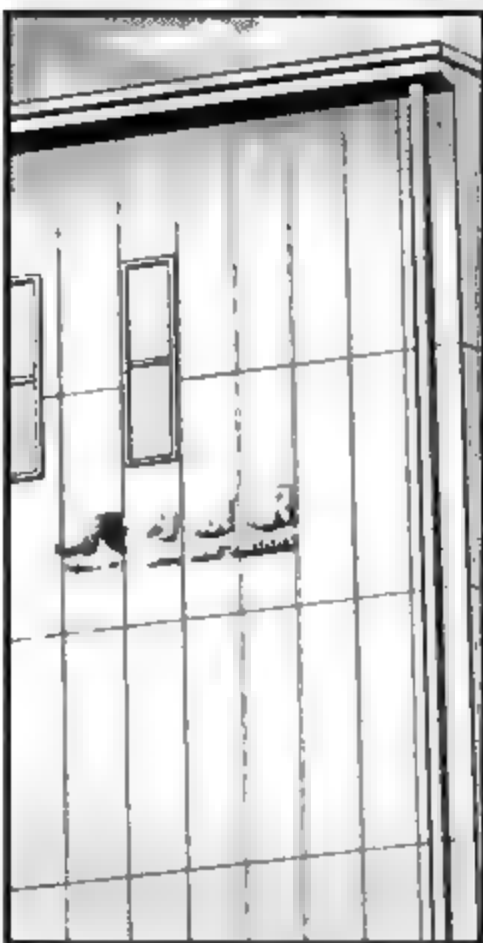
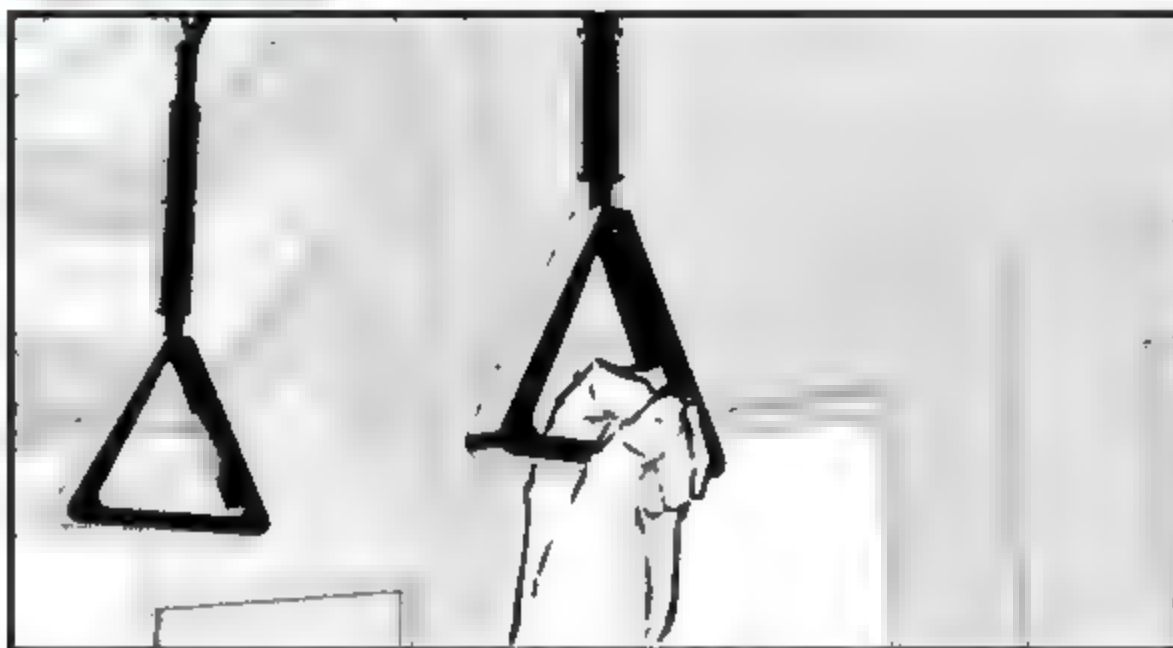


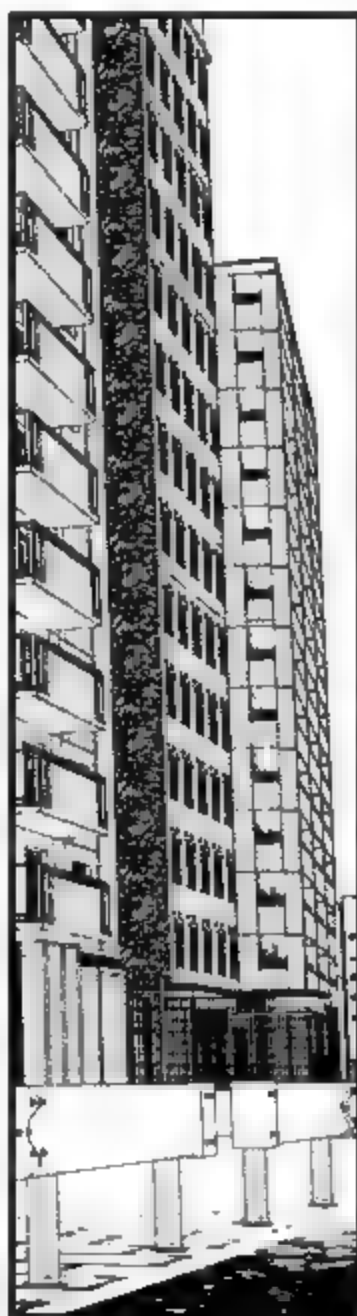
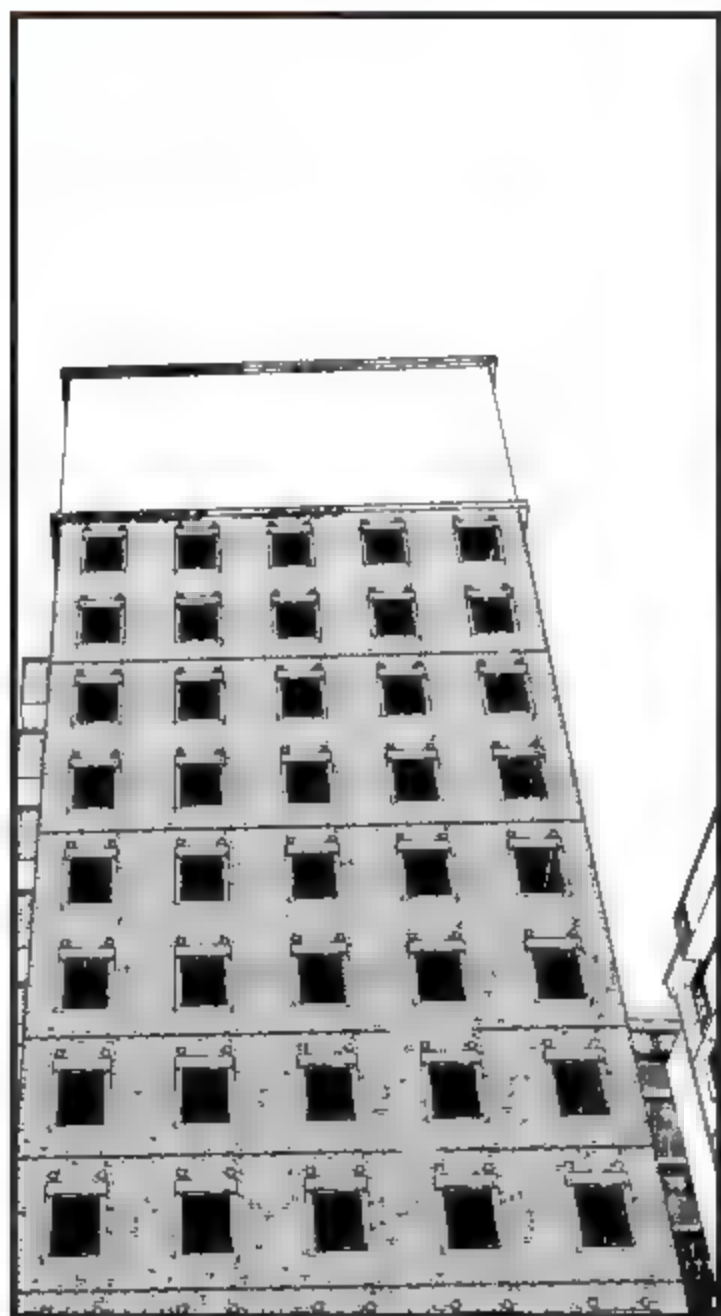
抱^だいて



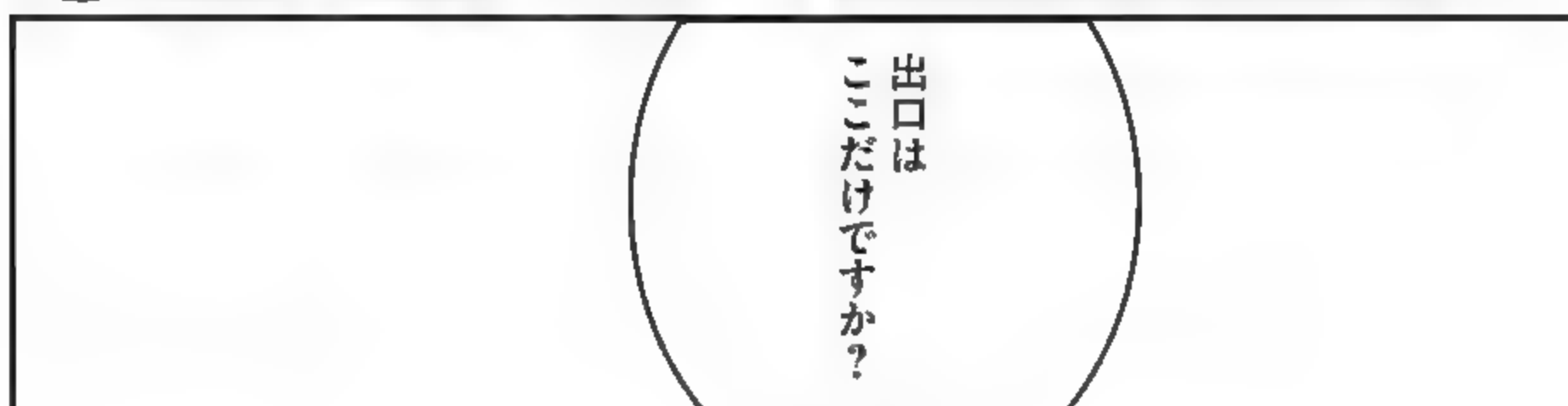


第21話 暗躍





ビジネスホテル？







あんっ

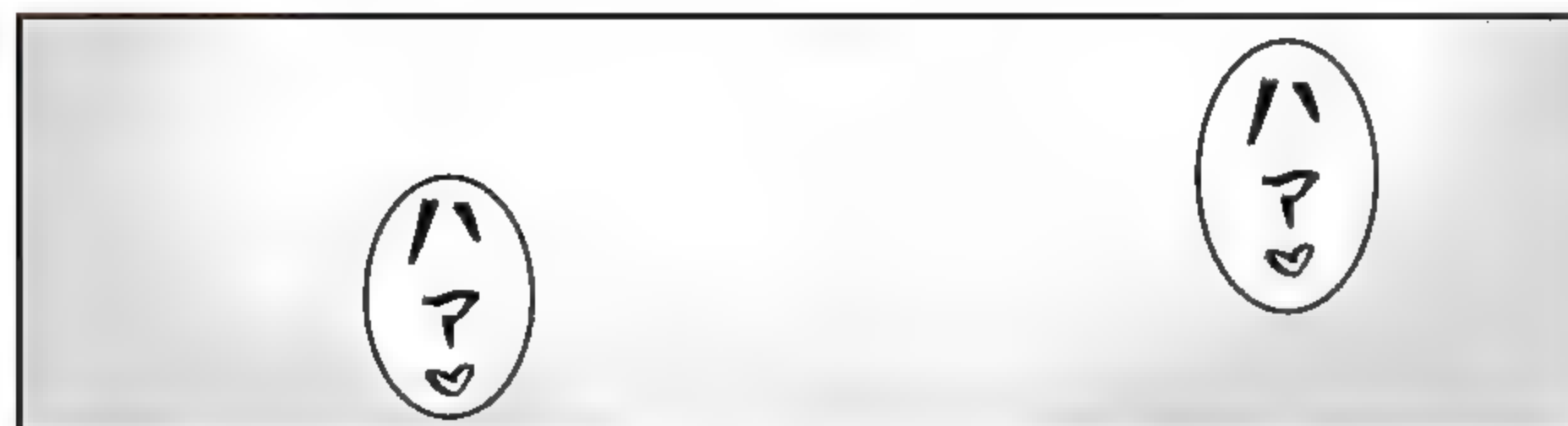
あんっ

昌隆っ……
もっとな……もっとなっ

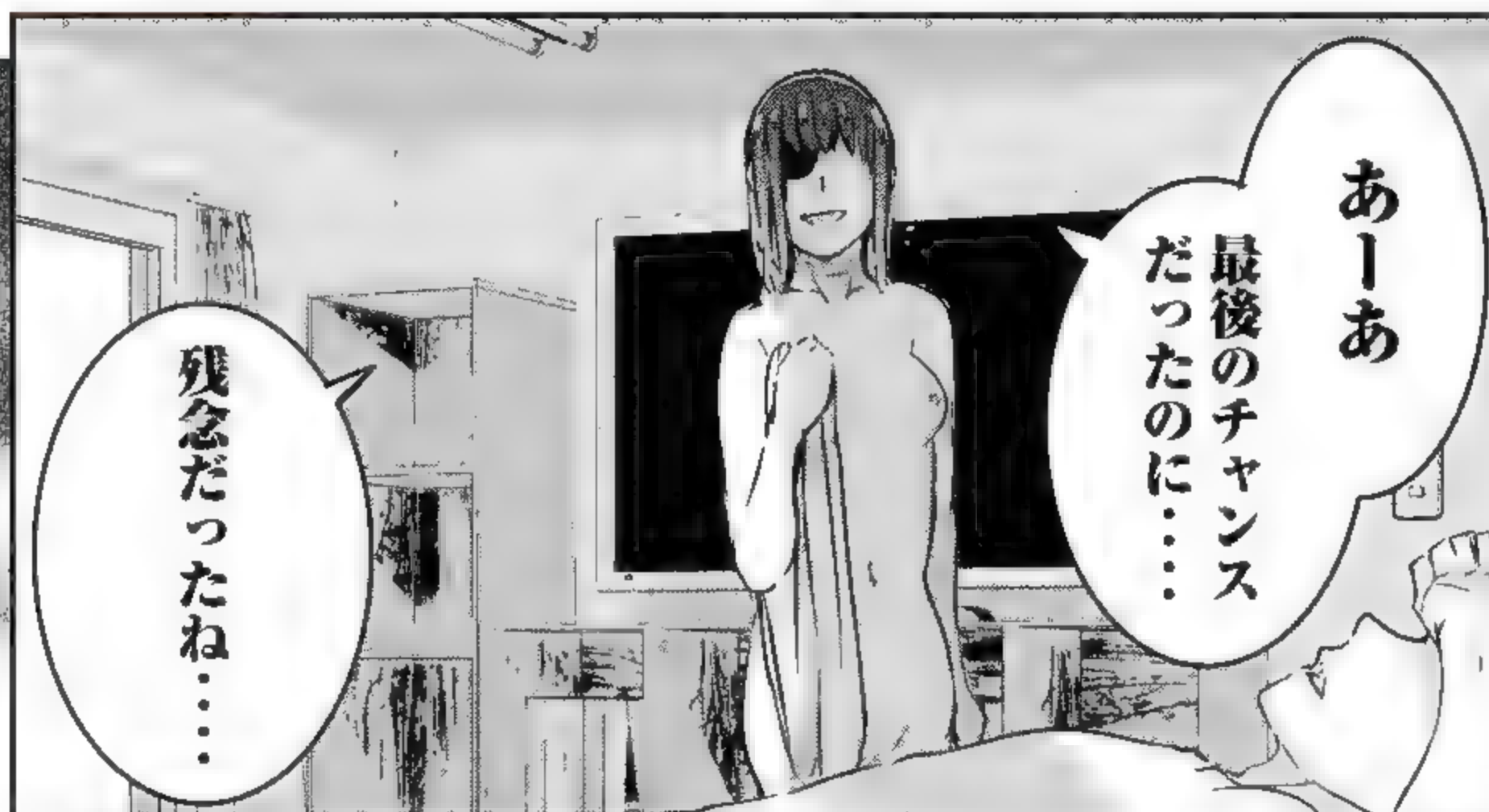
陽菜あ！

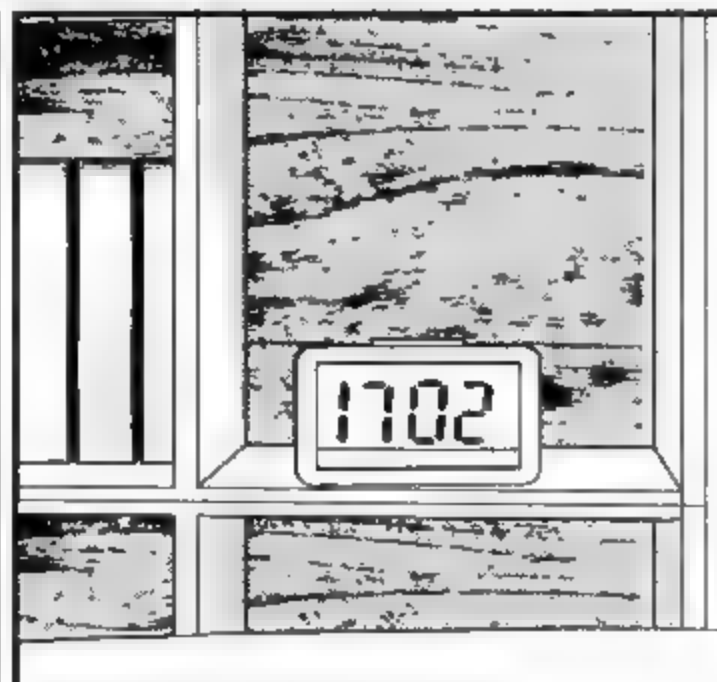
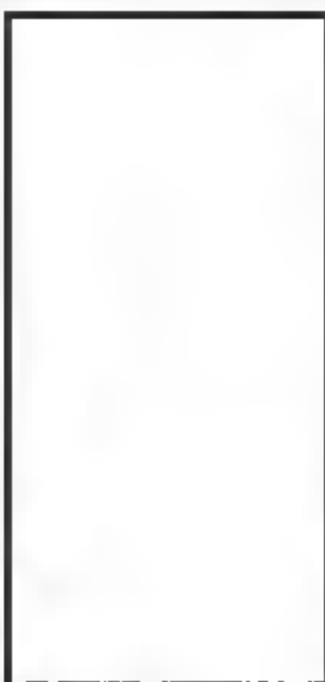
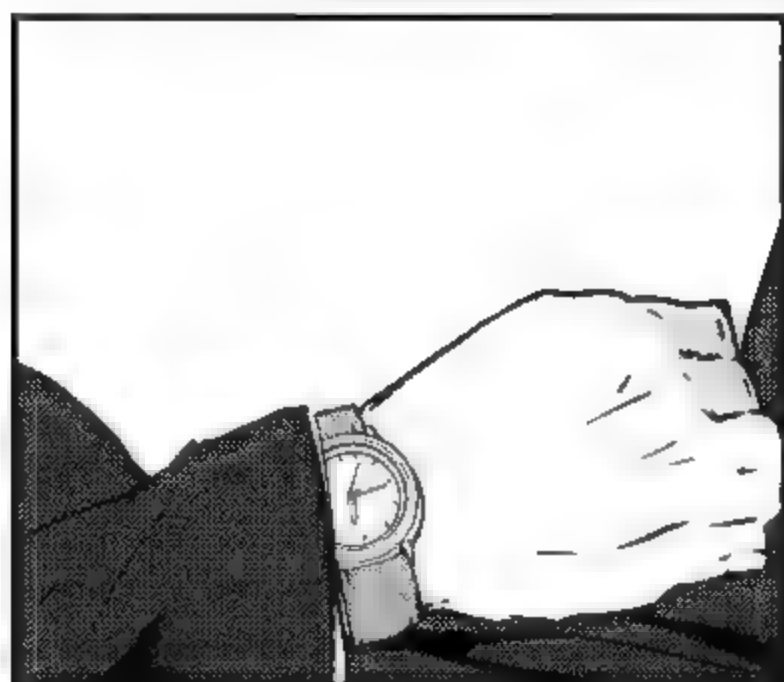
陽菜めめっ……

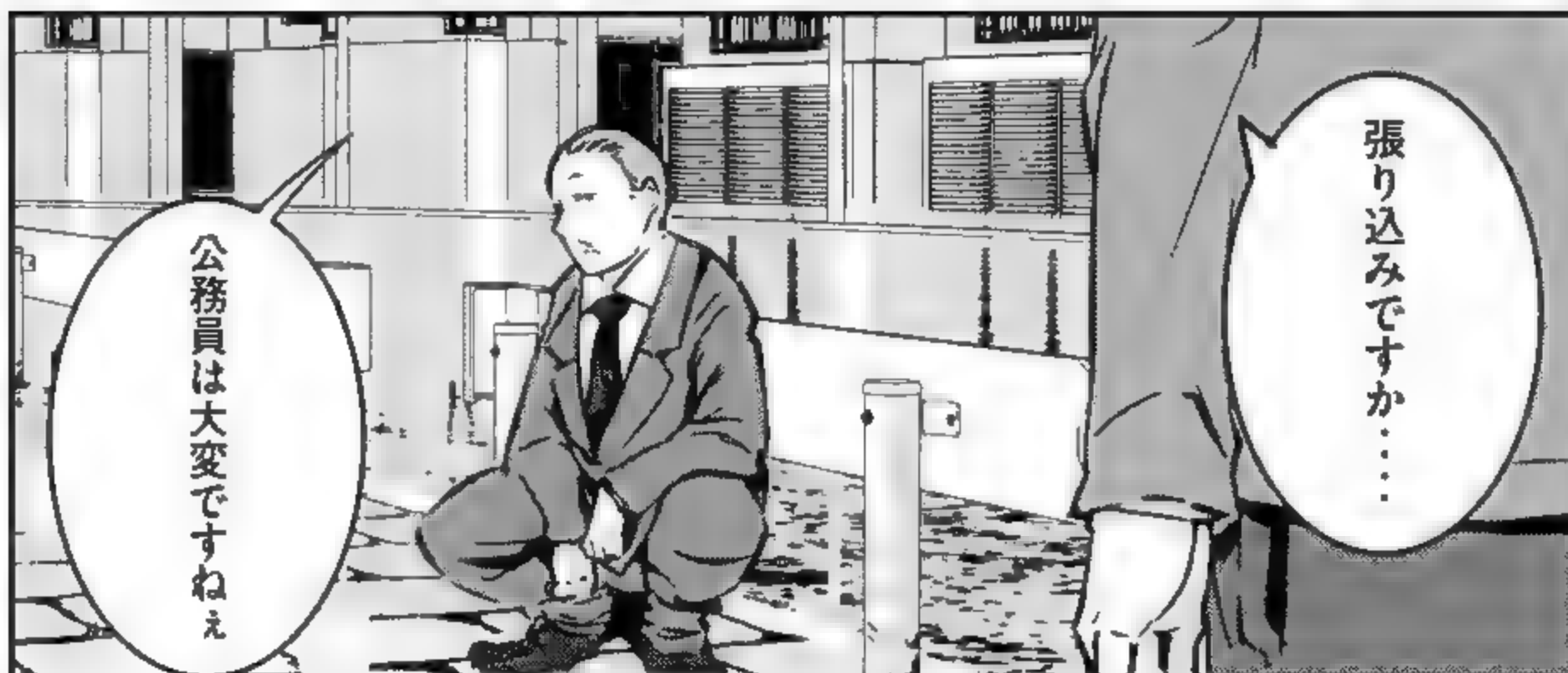
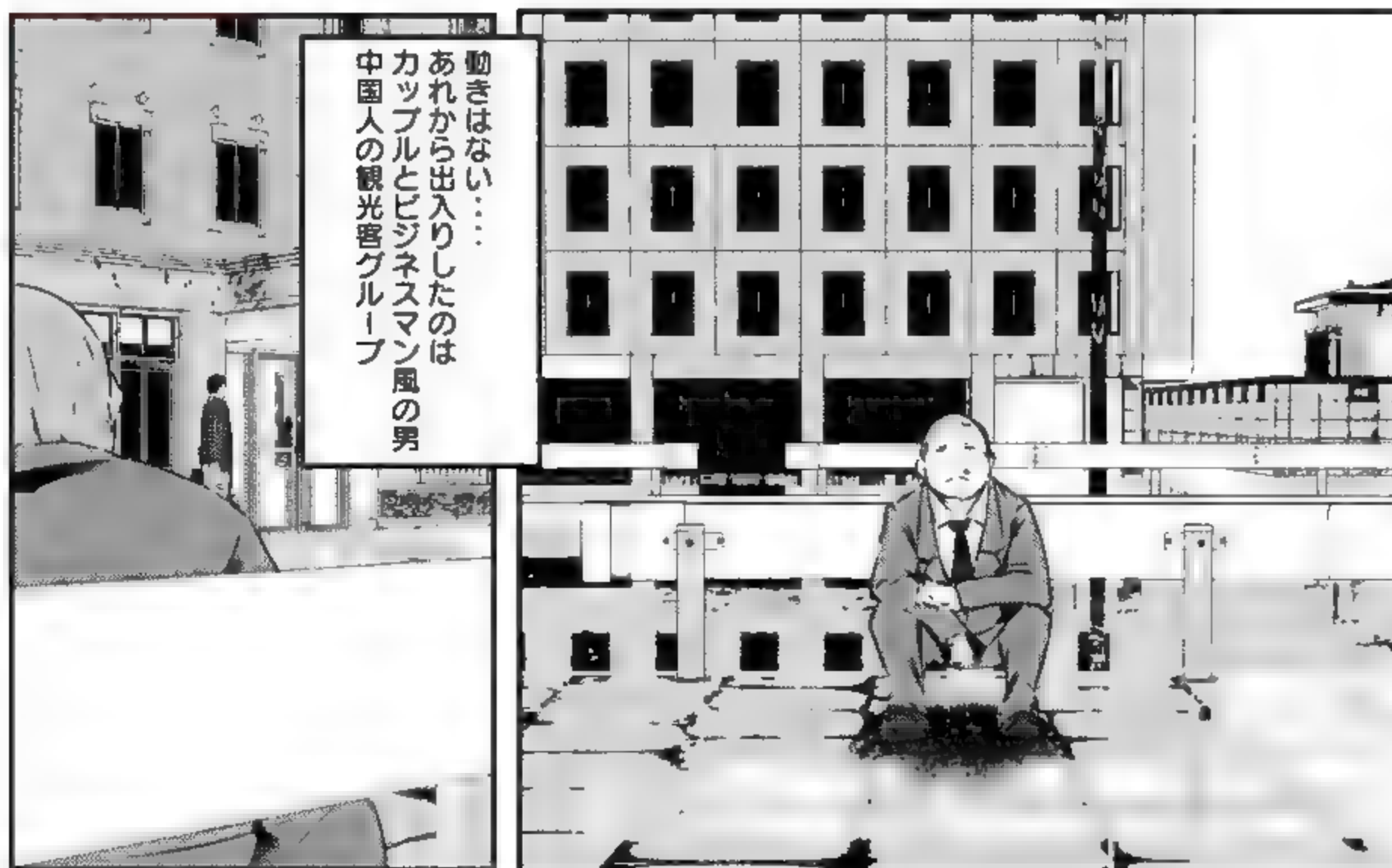
くっ……！



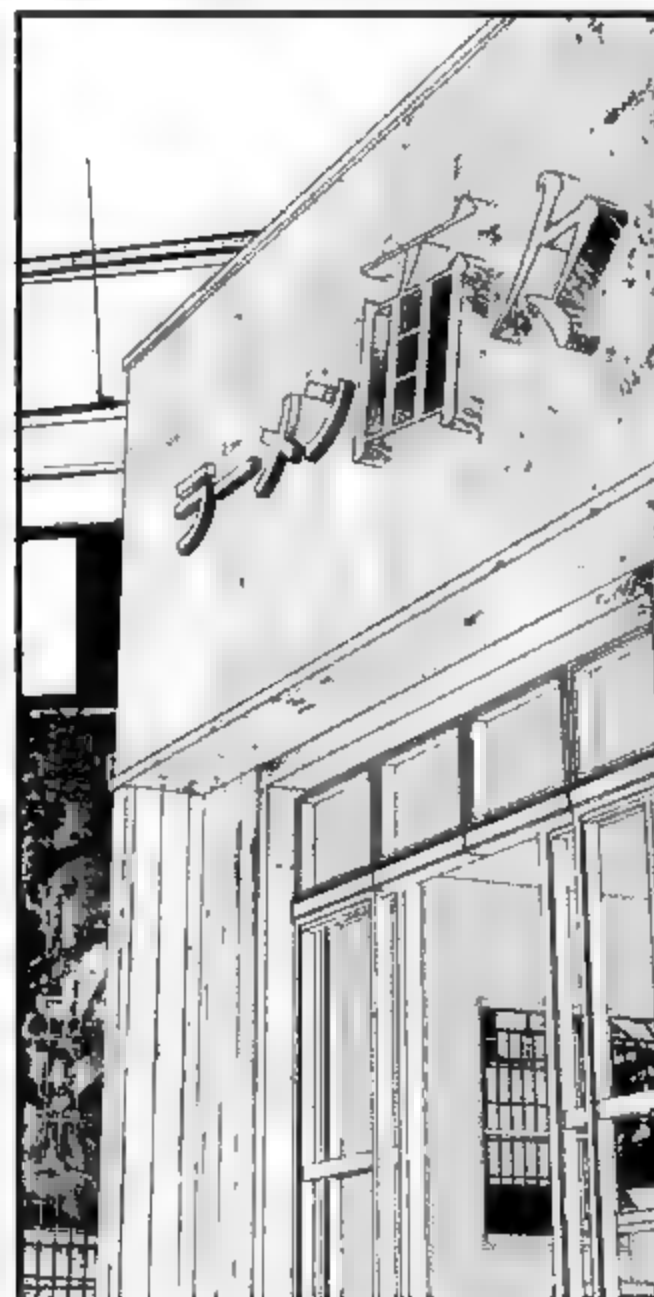
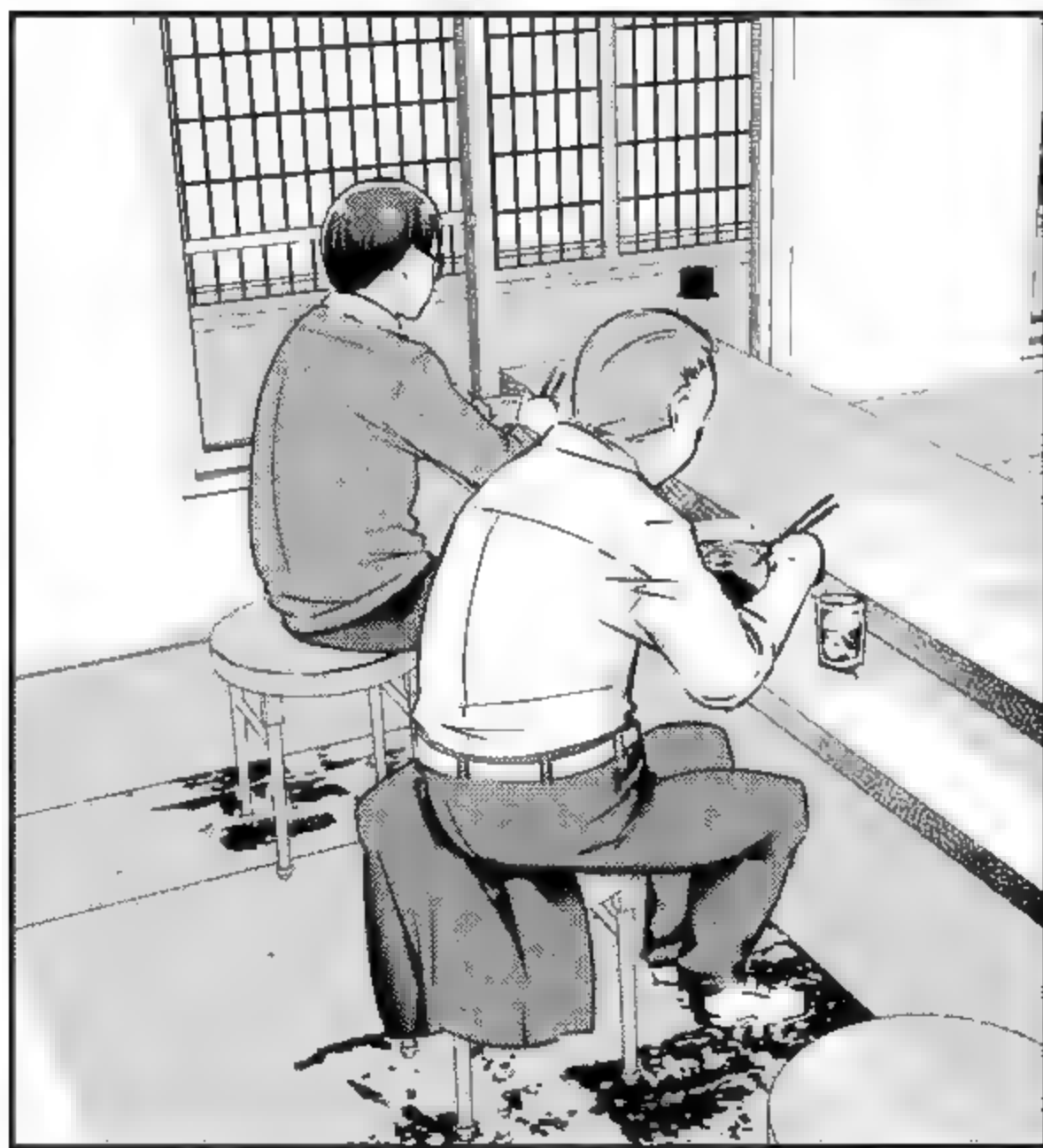




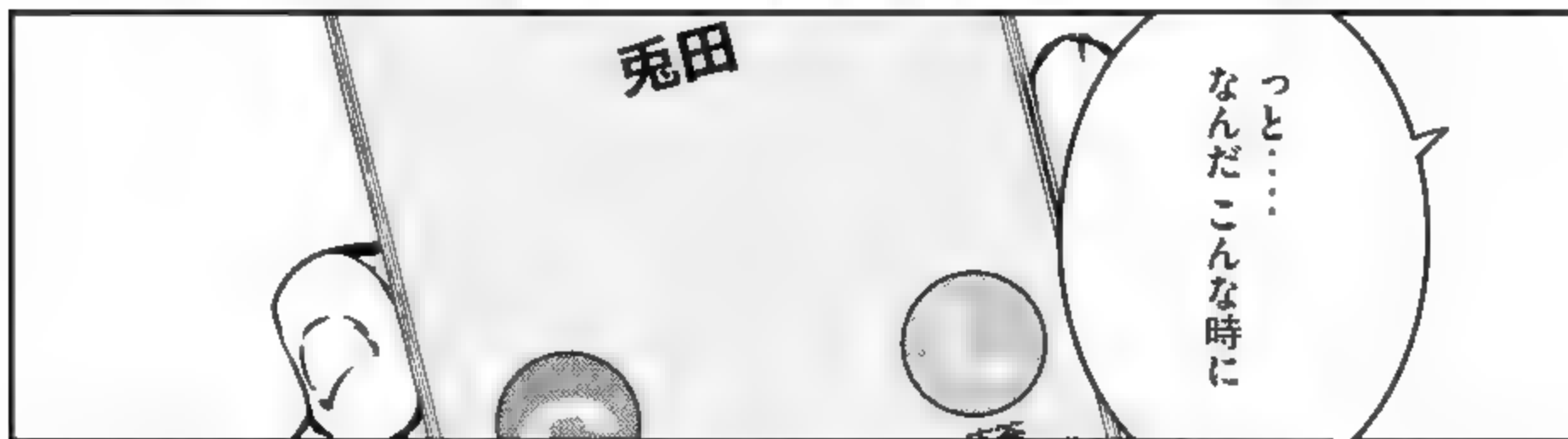


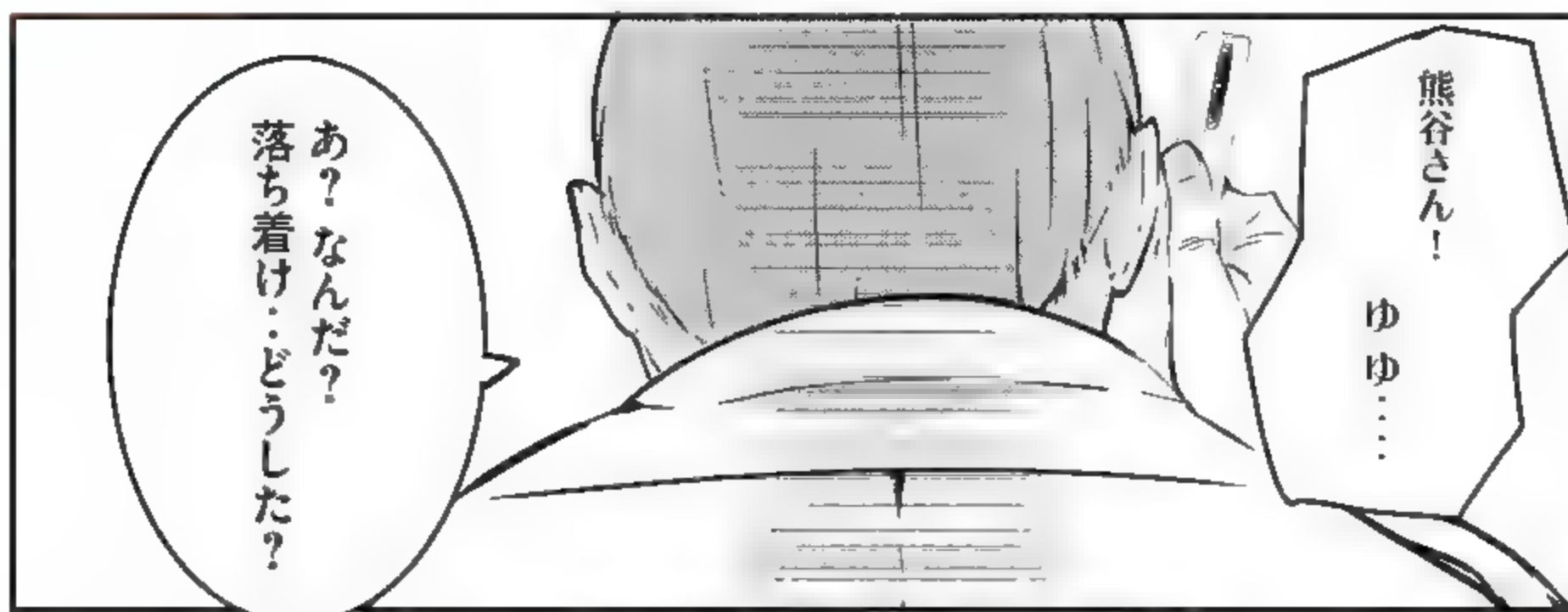










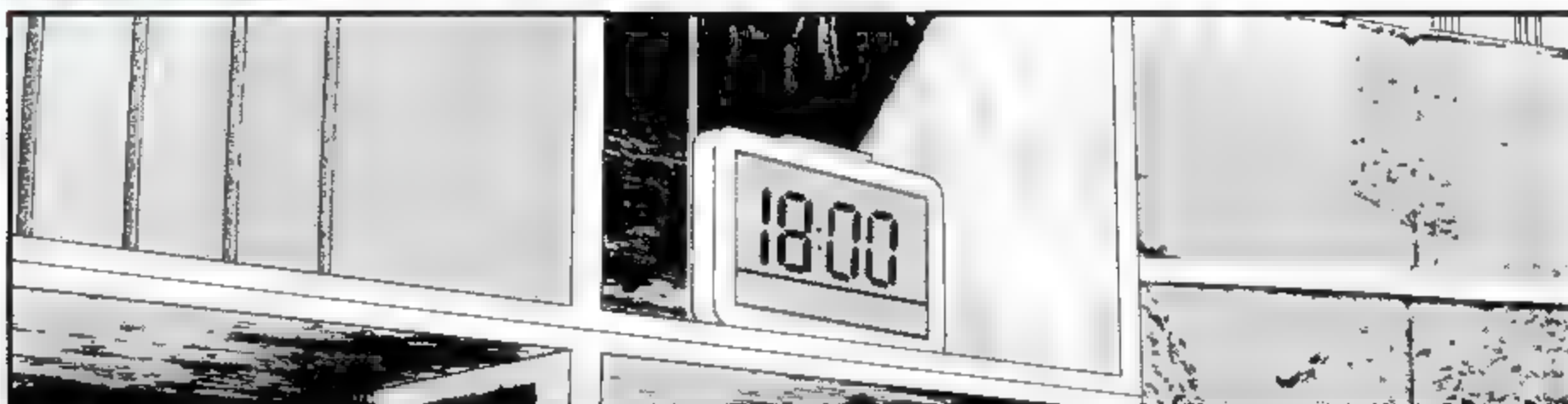


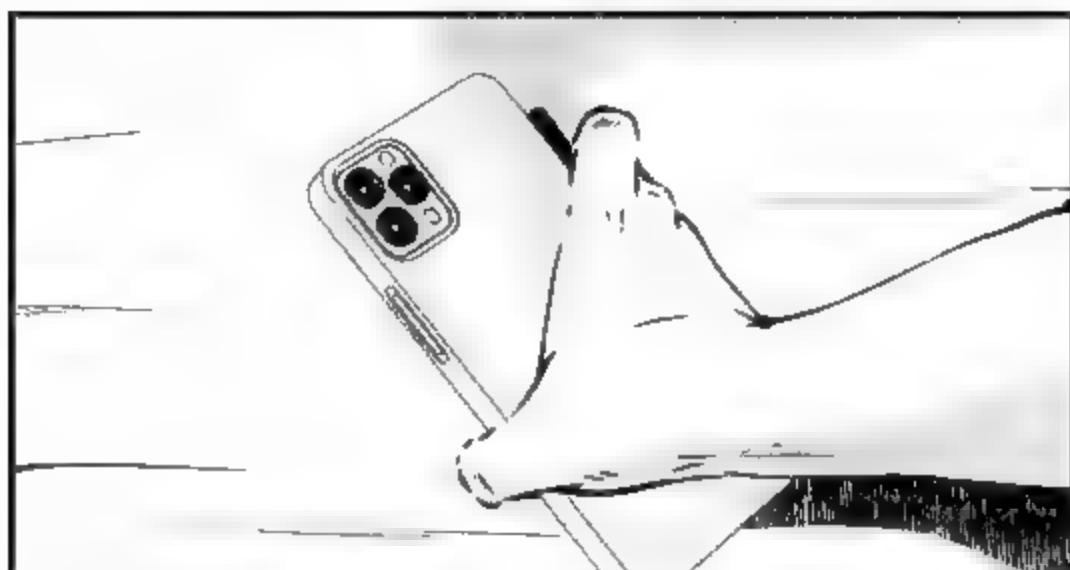
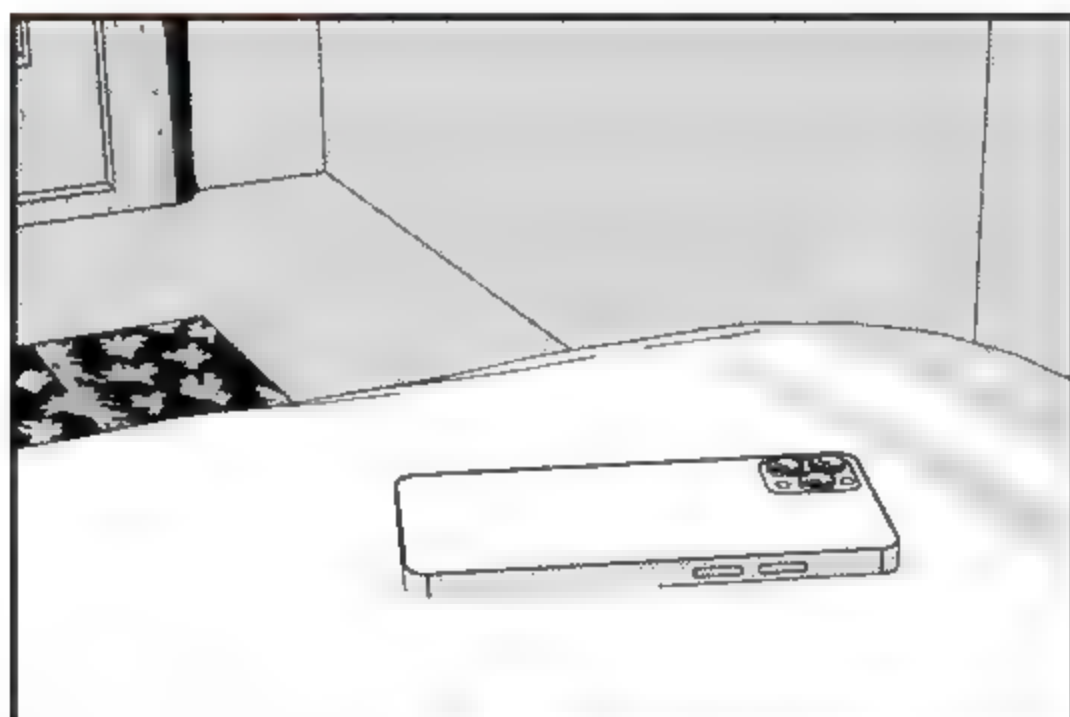




第22話

NTR動画







しう映くるの？



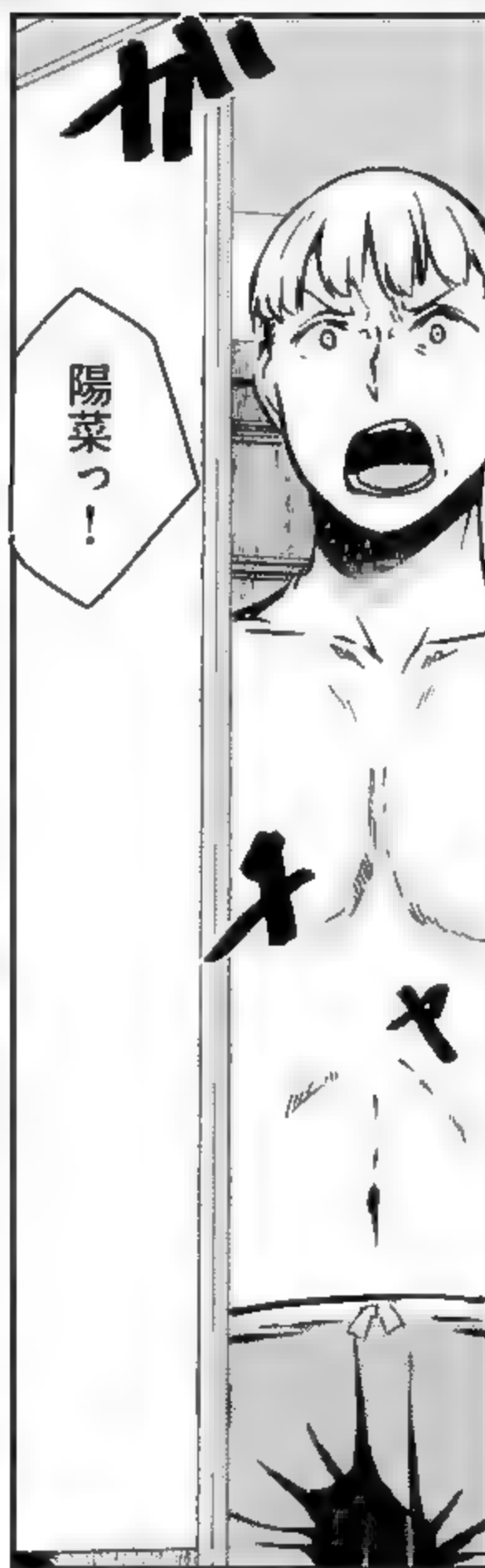
RawLe

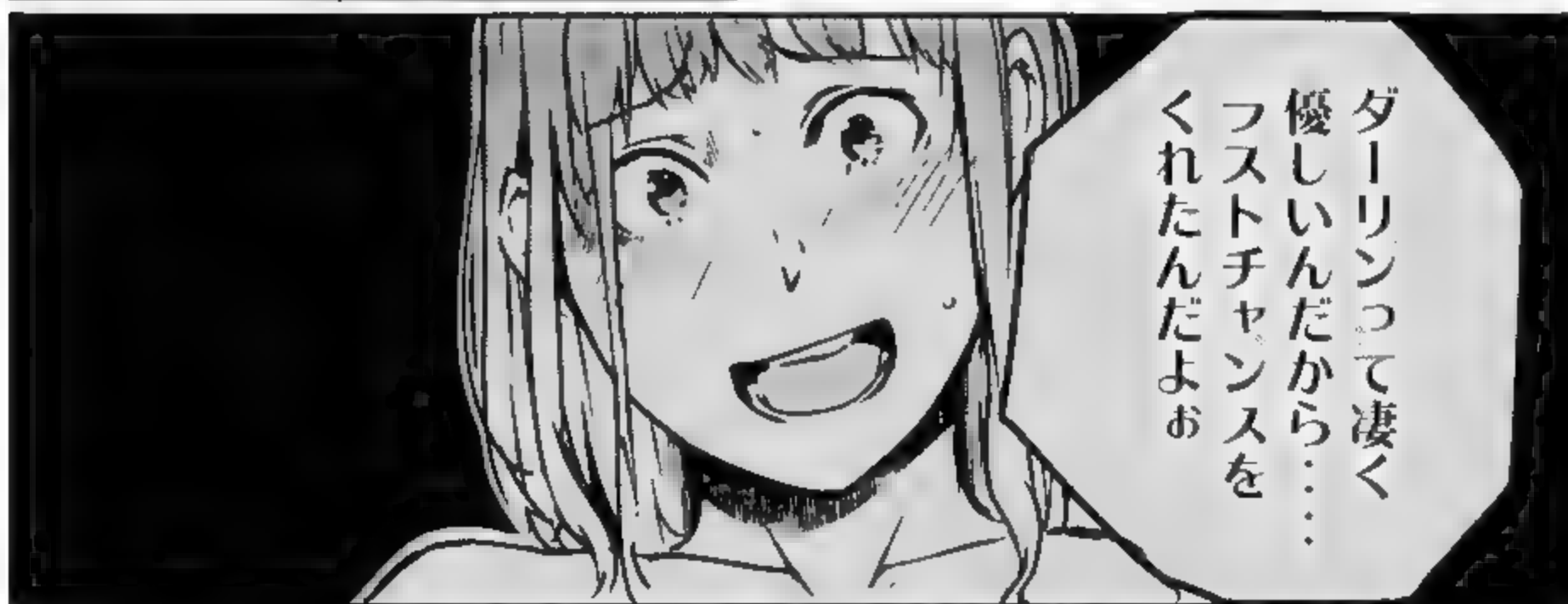
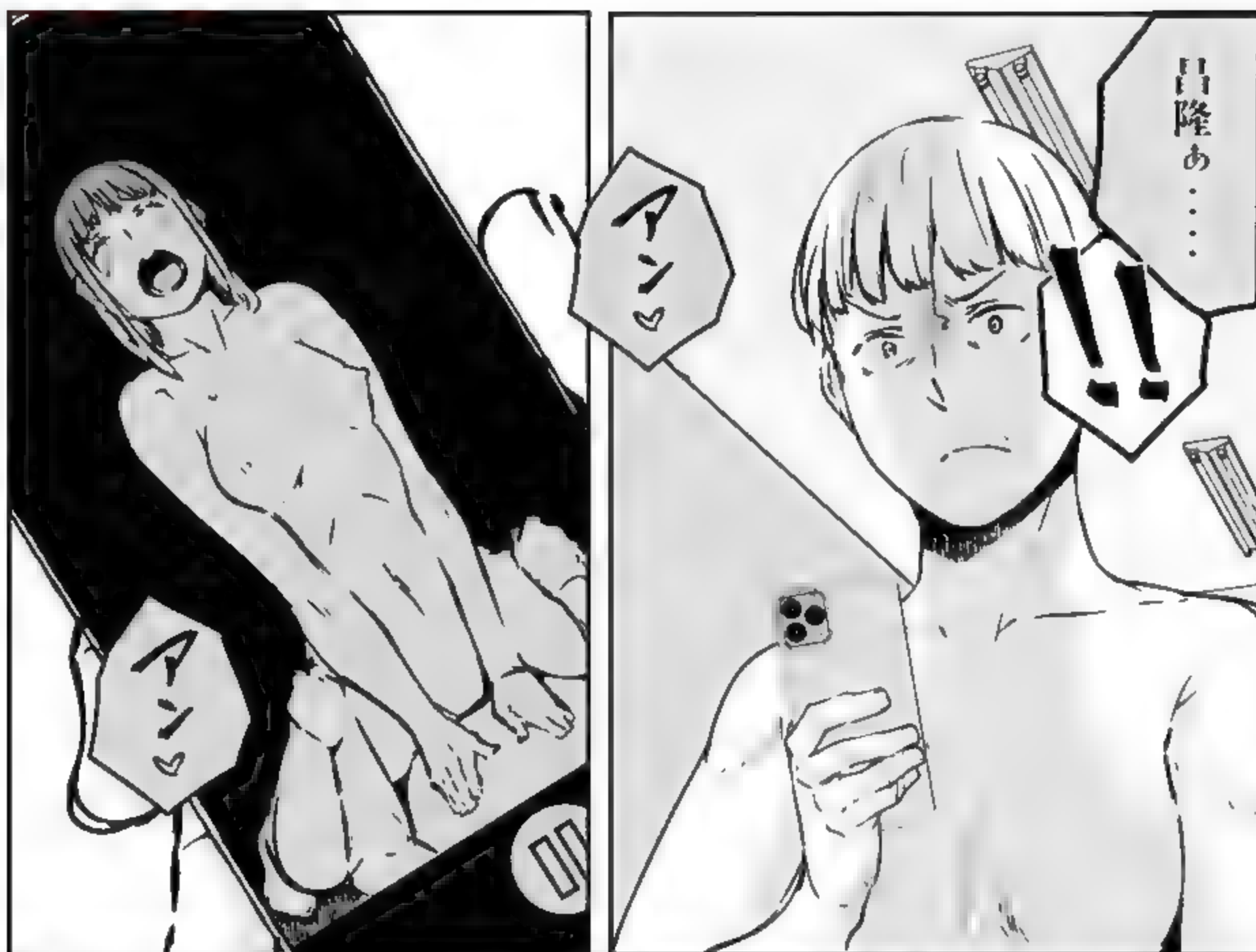
SA

SA

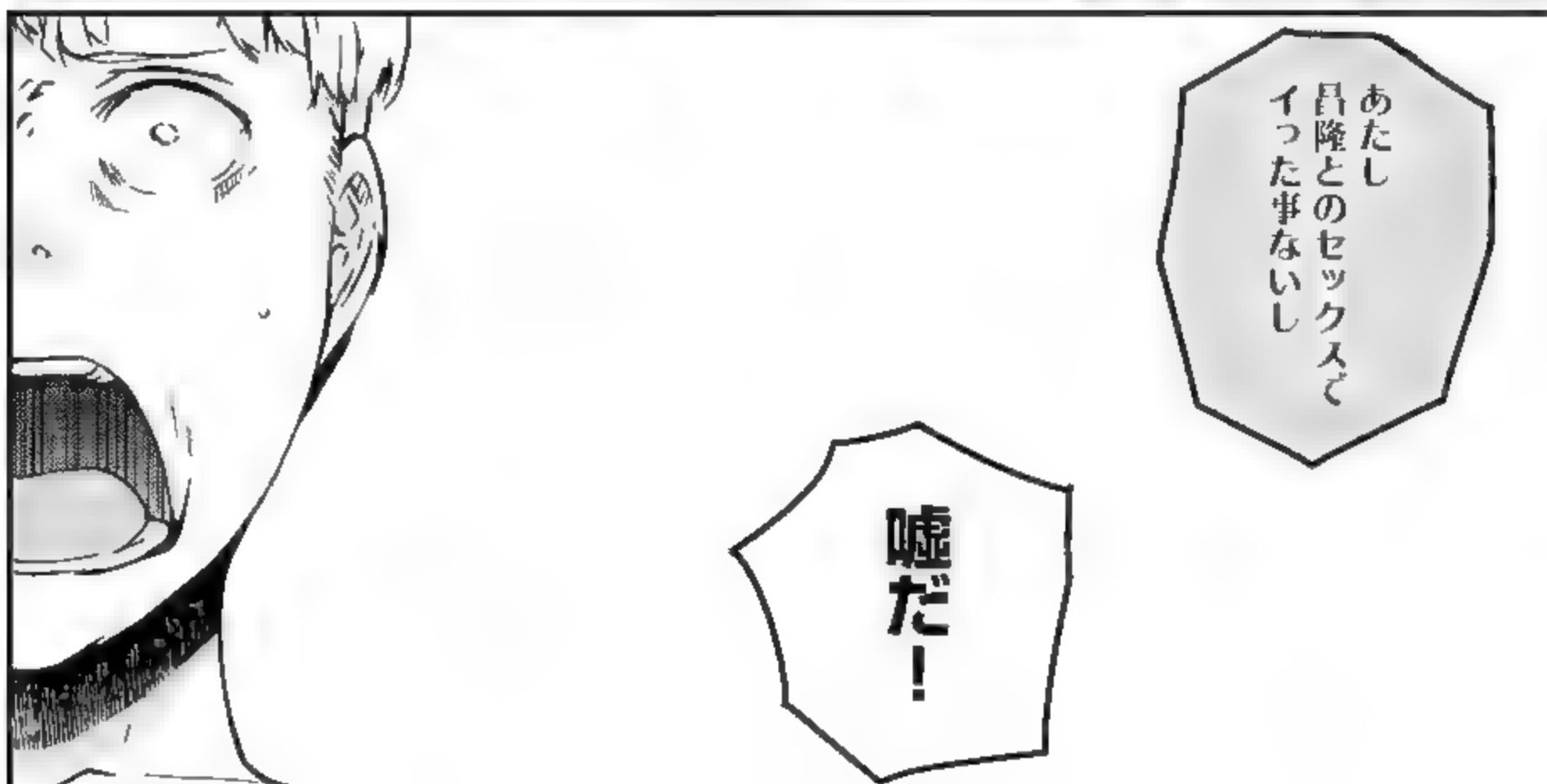
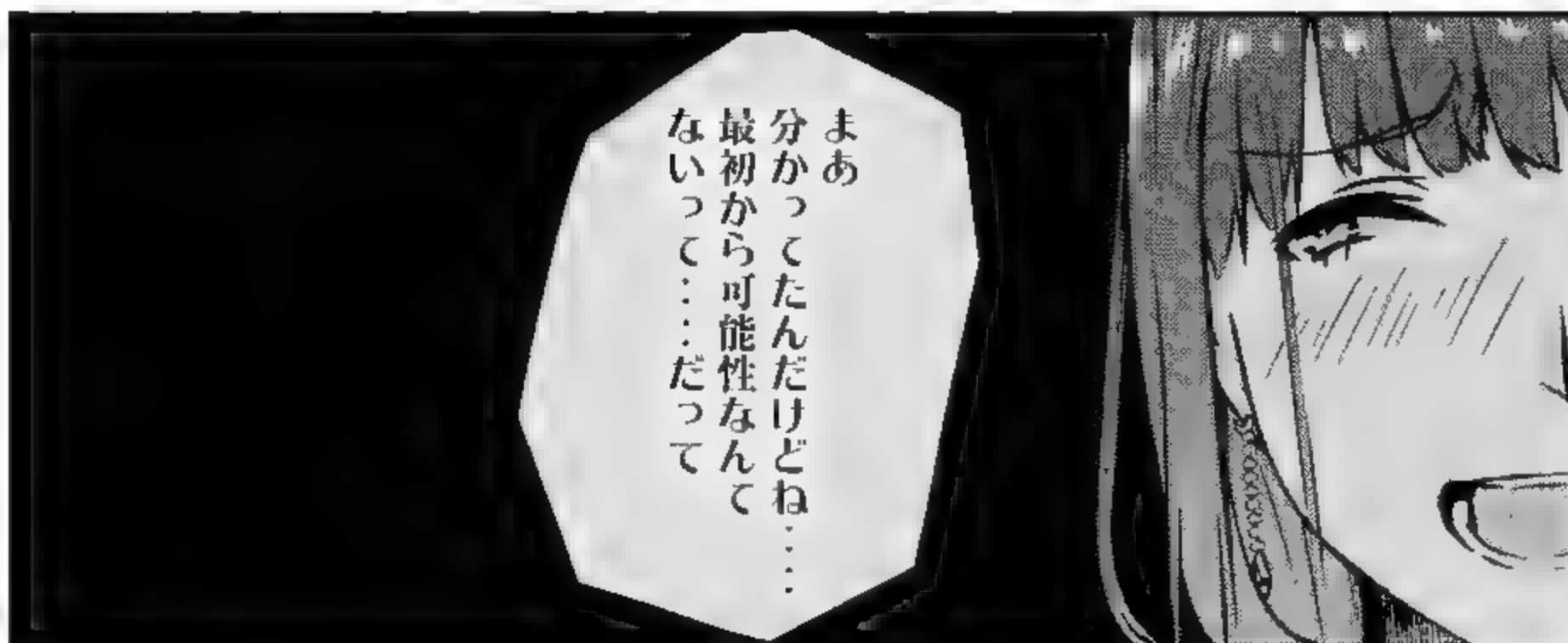
SA

DL-Base











言っただじゃないか！

ひ：陽菜も
気持ちいいって

おおおおあッ!!



ひ：…陽菜無理矢理
言わされてるんだよね？

ホント最悪

昌隆みたいなザ○チ○ポの
相手させられて…

人生損しちゃった
お金払ってほしいわ
マジで…

お：…俺が助けてやる！
俺が助けてやるから！

どうせ
この動画見て

ア○ホ大さく
しちゃってるんでしょ？

変態——



っ!?

いいんだよ

ア○ホの昌隆は



や...やめろっ!!
陽菜もうやめてくれっ!!

あんっ...自分の彼女か
他の男にやらん
やめせられるところ...

最高に惨めなイキ顔
見せてあげるから...

ああんっ!
あイクうううっ!

なんだこれ? なんの冗談だ?
ある訳ない...

こんな事
ある訳...





はあ!?
な：なっ——
!?



REVENGE

To be continued in the NEXT REVENGE.

単行本特別収録

N T R E V E N G E エピソード「水野」

大親友の「大」が示す 人間関係の薄っぺらさについて

マサイ

背中に触れる冷たい石壁が、私の体温を奪

い続けている。

淀んだ空気の蟠る部屋に、じゅぽじゅぽと

湿度の高い擦過音が響いていた。

神経を逆撫でするノイズ。聞くに堪えない

気色の悪い音。薄暗い視界の内側で、桜庭の

脚の間に跪いた千秋が肉棒を咥え込んで、必

死に頭を上下させている。

そして、この場にいるもう

玖は桜庭の傍に寄り添い、はだけた胸を彼の

頬に押し当てながら、時々壁際に座り込んで

いる私の方をちらちらと見ていた。

まるで、反応を窺うかのように。

私のいる場所からでは、千秋の表情はわか

人の女「美

私は悪魔

「らない。だが、わざわざ確認するまでもない
七つたるうんどうせこのカヤンキーは、ゴール直

前のマラソン選手みたいな切羽詰まったブサイ
ク面を晒しているに決まっている。

「んっ ふはっ ねえ、桜庭くん、気持ち

いい？」

色欲を司る

しばらくして顔を上げた千秋が、似合いも

しない媚び媚びの甘え声を洩らした

「きつしよ」

思わず私が胸の内ですっ吐き捨てるのとは

は同時に、桜庭が不愉快げに眉根を寄せる。

勝手に止めるな、メス豚」

「「めんなさい」 んっんじゅっしゅるっ

じゅぽっんあ」

慌てて、自分の唾液でベトベトになった肉

竿を咥え直す千秋 私は胸の内で彼女を嘲

笑った。

女子力最底辺の腐れヤンキーが牝の顔をし

て、牝声で媚びる姿は滑稽としか言えようが

ない。笑える。こんなクソ女の相手をするの

は罰ゲームみたいなもの。こんなのが相手じゃ、

いくら桜庭でも可哀想だ。

「私だったら、もっと上手くでき……」

そう考えかけたところで、浮かび上がってきた

思考を慌てて振り払う

「待て待て！ 何であんな奴に媚びる……とな

んで考えなきやいけないのよ！」

おそろく空腹のせいで真面に頭が回ってない

のた。そうに違いない。そうじゃなきや

の私がそんなこと、しなきゃだつて考えるわけが

ない。

当然だ。そのキモい眼鏡が王様でいられる

のは、この狭い部屋の中だけ。格好良くもな

ければ、金持ちってわけでもなし。

喧嘩だつて

悪魔ですわ

真面にしたこともないだろう。昌隆に、一方的にポコポコにされる姿は、本当に惨めとしか言いようが無かった。

もし、桜庭みたいなのと付き合ってる女子がクラスにいたら、きつと晒し上げて玩具にしている。そんなキモ眼鏡に媚を売るほど、私はバカでも安い女でもない。

(でも……)

一方で、自分の心が萎れていく感覚も確かにあった。限界は近いと感じていた。

既に日時の感覚は失われ、自分がここに囚われてから、いったいどれくらい経ったのかと思ひ起こす気力もない。身体中痛いし、空腹すぎて胃も痛い。指先を動かすだけでも億劫だ。助けがくると無邪気に信じていられる時間は、とつくに過ぎてしまった。

栄養が足りなければ、水分も足りない。

息をすれば喉がひゅうひゅうと隙間風のような音を立て、かさかさに乾いた唇が割れて痛かった。汚れた髪。汚れた肌。ああ嫌だ。一度荒れた肌をケアするのがどれだけ大変か。あのキモ眼鏡に徹底的に言い聞かせてやりた

い。そう思う。

(イジメたぐらいでマジになってホント 恥ずかしい男。将来私が有名になったら、クラスメイトだったとか、友達だったとか言つて、周りにドヤ顔できるんだから、身の程知つてちよつとぐらい我慢しろつての)

そんな私の胸の内などお構いなしに、私以外の3人はいやらしい男女の営みを続けていた

「ねえ、桜庭くん、おち○ちんしゃぶるの、私が代わりましょうか？」

「この子、ちつとも」

「美玖がそう口にする」と、千秋がイヤイヤと

私は悪魔

七つの罪

首を振りながら、慌ててストロークを速める。

ほっ、じゅるるるっ、んっ、んっ、んっ！

必死になって肉幹を扱き上げる千秋の姿を

目にして、美玖がニヤリと口元を歪めた。最

初から代わるつもりなんてないのは丸わかり

彼女はまだ、千秋にプレッシャーを掛けただけ

だ。

「まあ、もうちょっと待て」

桜庭がそう口にする。千秋のホッとした表情

したような気配が漂う。

「ほんと惨めなヤツ、見てるこっちが恥ずか

しいわ」

今、世界で一番嫌いな人間は誰かと聞か

れたら、私はたぶん桜庭や美玖ではなく、こ

の惨めな馬鹿ヤンキーの名を挙げる。

「この女は最悪だ、いつの間にか私を裏切つて

美玖に取り入っていたのだ。そして、美玖の

機嫌を取るために私を散々殴り、足蹴にし

貶める言葉を吐きかけた。それも執拗に何

度も何度も。

それだけじゃない。このバカヤンキーのせい

で、水や食べ物を与えられる量も激減した。

私の分の大半をコイツが奪っていくのだ。

千秋が必要以上に私を貶めるのは、従って

いるフリをしているだけではないかと、美玖に

そう疑われるのを恐れているからだろう。

このヤンキーは良くも悪くもバカだから裏

表がない。従っているフリなんかできるほど

器用じゃないのは、きつと美玖もわかってい

千秋だけが勝手に焦って、私がそのとばかり

を受けている。そう思えば、最悪以外の言葉

が見当たらなかった。

「飼犬に手を噛まれたって感じ……」

悪魔ですわ

「いったい、誰のお陰でクラスのトップグループにいられたと思っているのだろうか？」

私が構ってやらなきや、千秋みたいなヤンキーはクラスでも腫れもの扱いで、速攻ハブラれてたに決まっている。

もちろん、私にもメリットが無かったわけじゃない。一緒にいれば私の可愛さが引き立つし、千秋怖さで、私の人気に嫉妬して、ちょうかいかけてくるような勘違い女もいなくなった。

どうせ、人間関係なんて卒業と同時にリセットされるのだ。今だけ仲良くしてやってるだけなのに、大親友だと口に出して言ってるだけでその気になる単純バカ。ホントの親友なら、わざわざ「大」なんて一字を付けて強調する必要もないことに気付かない。

誰にも大事にされたことがないから、構って欲しさにグレたくせに、近寄る者には威嚇す

るしかコミュニケーションの取り方を知らないんだから笑える。

そんなヤツが今さら男に媚びて、上手くいくわけなどあるわけがなかった。そんなことを考えていると――

「んごっ!? んぽっ!? んんっ!? ほたっ!? んおっ!」

いきなり千秋の声が苦しげな呻きへと変わって、私は思わず視線を上げる。

見れば、桜庭が彼女のくすんだ金髪を鷲掴みにして、力任せに頭を前後させていた。

（うわ……エグっ……）

喉奥へと突きこむ凄惨なロケストロー。

ヘタクソな口唇奉仕にもどかしくなったのだから、もはや、ち○ぽを扱くための道具扱いである。桜庭は、容赦なく千秋の顔面へと腰を叩きつけていた。

私は悪魔

七つの大罪

やがて――

「くほっ、ほえっ、とほっ、んぶっんんっ……」

桜庭が短い呻きとともに身体を強張らせる

と、千秋の濁点だらけの汚い声がそれに被さ

る。今にも溺れ死にそうな声を漏らしながら、

彼女の指が激しく宙を掻いた。

「うわ……口の中に射精されるとか、キモ過

ぎ……」

喉の奥にあの粘りっ液体を注ぎ込まれる

ところを想像すると、知らず知らずのうちに

眉間に皺が寄る。そんなの、たとえ昌隆ので

もコメた

「零したら許さないから」

必死に逃れようとする千秋の顔を覗き込

んだ美玖が、威圧するように低い声を出した

それで観念したのか、ゴクン、ゴクンと喉を鳴

らして、千秋は出されたモノを飲み下し始める

やがて、桜庭が満足げにちゅぽを引き抜

と、千秋は口元を押さえて身を震わせながら、

えずきそうになるのを必死に堪えていた。

飼った成り下がった猛犬は実に惨めなも

のだ。

もつとも、ボロボロになっている私とどっちが

惨めかはわからないけれど。

悪魔ですわ

NEXT REVENGE

カラダも ココロも

2024年9月発売予定

な……なんだこれ？

アタタのモリ。

ああの……
さ……桜庭君？

千秋……たぶん今

アタシ……
世界で一番アタタが嫌い

嫌い過ぎて……
殺しちゃうかも

どうです？
したくて
したくて……
仕方がないでしょう？

アスモデの力により……
心身ともに
宗一のトリコとなった陽菜。
千秋、美玖ら3人と
宗一の愛憎入り混じる
「監獄ゲーム」は、さらに
熾烈さを増していく――

NETR REVENGE 4

ネトリベンジ

[原作] マサイ [漫画] 奇仙 VOL.

DL-hawke

読み始めたら止まらない、極限サスペンス！

「ねずみロワイアル」

佐々木順一郎

かわいくみえて、くらしいます
ねずみデスゲーム開幕。

1



「満州アヘンスクワッド」

門馬司／鹿子

極上のアヘンが
満州を狂わせる。
麻薬密売クライムサスペンス！！

原作：門馬司 漫画：鹿子



ヤンマガKC NOW ON SALE!!

『ゴールデンドロップ』

上月亮／津覇圭一
草下シンヤ／神里純平

500億円分の覚○剤を売り、
人生を買い戻せ！



『離婚しない男 CASE 2』

大竹玲二

「愛する妻は托卵妻でした」
サレ夫の逆襲が今、始まる——！！



桜庭宗一が開始した
“監獄ゲーム”は続く。

看守役を命じられ、
戸惑いの中にあった**竹内美玖**も、
次第に権力を利用し、
囚人役の**水野陽菜・関戸千秋**を
追い詰めていく。

衰弱した2人は、その身体と心を、
じわじわと桜庭に弄ばれる。
一方、女子高生3名の行方を搜索する
刑事・熊谷と兎田は、
怪しい動きを続ける
桜庭を追うが――。

淫靡な復讐劇、緊迫の第3巻!!







N
T
R
E
V
E
N
G
E

ネトリベンジ

REVENGE
03
ROUND

原作
マサイ
STORY MASAI

漫画
奇仙
MANGA KISEN



NTR REVENGE

ネトリベンジ

revenge
03
ROUND
原作
マサイ
STORY MASAI
漫画
奇仙
MANGA KISEN

NTREVENGE(3)

2024年5月1日発行(01)

原作
著

マサイ
奇仙

© マサイ・奇仙 / 講談社

発行者

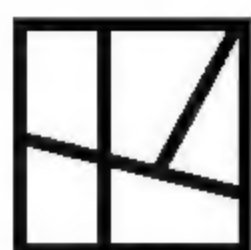
森田浩章

発行所

株式会社 講談社

〒112-8001

東京都文京区音羽 2-12-21



KODANSHA